

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
フレッシューズセミナー	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、松原 孝俊					講義	

授業概要

新入生全員を対象とした初年次教育講座と位置づけ、高等学校時代とは異なる大学生として、大学とは如何なるところで何をどのように学ぶのか目的を明確にして、様々な学修課題を解決するためにSNSや図書館での検索方法を学ぶ。医療に携わる職種を選択した学生同士として討議を通して仲間づくりを行い切磋琢磨する意識やチームワーク力や表現力を学び、個々のキャリアについても思考し、4年間の大学生活を有意義に実りあるものとして過ごせるような基盤づくりを行う。

到達目標

1. 大学で学ぶ意義を理解できる
2. 学修課題の解決方法を理解し検索できる
3. レポートの書き方を理解し意図が伝わるように表現できる
4. チームで課題に取り組みメンバーと協働できる

事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP

評価

最終講義日に実施する記述試験

教科書

講師資料

参考図書

留意事項

オフィスアワー等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室

実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
フレッシューズセミナー	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、松原 孝俊					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	大学について知る - 1	大学で学ぶことの意義、本大学の特色、科学的なものの考え方	西村 泰治
2	カリキュラムマップ	3学科のカリキュラムポリシー、教育課程（授業科目、単位等）とカリキュラムツリー	辻 慶子 近藤 敏 永崎 孝之
3	臨地・臨床実習の学び方	対人援助職、医療職（学生を含む）に対する社会の厳しい目（挨拶、マナー等）、先輩への敬意、患者さんの接しかた、倫理観。	稲川 利光
4	大学について知る - 2	科学的なものの考え方；ワクチンの有効性と、その社会的意義を例に挙げて	西村 泰治
5	学習法について	五感を使って記憶する、医学の基礎知識の反復学習、読解力をつける、自己研鑽	近藤 敏
6	レポートの作成法 ノートの取り方	レポートの形式（表紙 本文 文献）、本文（序論 本論 結論）の書き方、ノートの取り方	宮里 邦子
7	将来展望（キャリアデザイン）	10年後のキャリアを考える（自己実現に向けて） 医療機関、福祉施設、老人保健施設、通所施設、訪問、行政職、研究職（大学教員等）、一般企業、起業（NPO法人、株式会社）、大学院進学、JICA海外協力隊	辻 慶子 近藤 敏 永崎 孝之
8	振り返りとまとめ	1～7のレビュー、ディスカッション	西村 泰治

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
心理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					演習	

授 業 概 要

本科目では基礎心理学と応用（臨床）心理学の知識を学び、心理学を日常生活に応用できるようになることを目的とする。人間の生活基盤としての「個人・集団」の関係形成、心理および行動について理解する。人間は人との関係の中で生活しているが、人間の「心」の在りようは複雑で、その在りようが身体にも他者との関係にも影響する。心理学の伝統的方法と行動的方法をもとに人間理解の具体的方法を学ぶ。心理学は人のこころの動きや、そこから生じる行動について探究する学問である。心理学を日常生活に活用できるように学修する。

到 達 目 標

1. 心理学の全体像について説明できる
2. 人のこころの基本的な仕組みと働きについて理論を用いて説明できる
3. 本科目での学びを日常生活に活用できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

ミニレポート（40%）と定期試験（60%）により評価する。

教 科 書

はじめてふれる心理学 [第3版]

参 考 図 書

授業中に適宜紹介する。

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	心理学とは	オリエンテーション 心理学の分野、心理学の全体像	山口雄介
2	知覚	人間の視覚の仕組みについて、錯視図形（「図と地」「ゲシュタルト」）の概念について	山口雄介
3	学習	人間が学習する仕組み「古典的条件づけ」、「オペラント条件づけ」、「観察学習」、「学習された無力感」の概念	山口雄介
4	記憶	記憶のメカニズム（「記銘」・「保持」・「再生」）や記憶の変容など記憶力をアップさせる記憶方略	山口雄介
5	発達	エリクソンの「発達漸成説」、人間の生涯にわたる発達段階と発達課題について	山口雄介
6	青年（1）	青年期の区分 青年期の心理的特徴（「自己意識の高まり」、「劣等感と理想の追求」、「友情と恋愛」）	山口雄介
7	青年（2）	青年期の鍵概念である「アイデンティティ」について 「アイデンティティ・ステイタス」、「モラトリアム」、「時間的展望」	山口雄介
8	性格	性格を分類・記述する理論として「類型論」と「特性論」や各種心理療法に関連する人格理論心理テスト体験	山口雄介
9	自己「自己とは何か？」	「自己概念」、「主体としての自己」、「物語的文脈としての自己」の3つの見地	山口雄介
10	家族	家族心理学の観点、「家族の発達段階」と「家族関係の病理（家庭内暴力、DV）」	山口雄介
11	心の病理と健康（1）心の健康性	「適応と不適応」、「欲求階層説」、健康な人間像に関する理論の一つとして、ロジャーズの「十分に機能している人間」について	山口雄介
12	心の病理と健康（2）精神障害	「外因性」、「内因性」、「心因性」の病因論による分類 思春期・青年期の心理的問題（不登校、引きこもり、自殺など）について	山口雄介
13	心の病理と健康（3）ストレス理論	「ストレスマネジメント」によって健康を回復・維持する必要性 ワークを交えながらストレス対処力の向上	山口雄介
14	社会	対人認知とコミュニケーションと対人行動（人間の行動は社会的な文脈や文化に影響を受ける）	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	授業全体の振り返り、要点のまとめ	山口雄介

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
法学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
鎌田 厚志					講義	

授 業 概 要

日本国憲法は「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの柱から成り立っている。日本国憲法の基本的な考え方を知り、憲法が国家や社会の基礎をなしていることを理解する。「基本的人権は」侵すことのできない永久の権利であるが、基本的人権が法の下にどのように保障されているか学び、現在起こっている身近なものと結び付け現実的に考えられるようにする。また「患者の権利」について具体的に検討し、臨地（床）の場で生じる様々な問題についても学修する。

到 達 目 標

1. 憲法とは、立憲主義とはどのようなものか説明できる。
2. 人権の保障がどのように発展してきたか説明できる。
3. 法が担う役割について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

毎回の授業への出席状況および定期試験などに基づいて総合的に成績を評価する。

教 科 書

池田真朗『プレステップ法学 第5版』（弘文堂、2023年）

参 考 図 書

1. 初宿正典ほか『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣アルマ、2020年）
2. 手嶋豊『医事法入門』（有斐閣アルマ、2022年）
3. 初川満『実践 医療と法 医療者のための医事法入門』（信山社、2016年）

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問は授業の前後に受け付ける。

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
法学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
鎌田 厚志					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	法学への招待	授業ガイダンス、法とはどういうものか？ 日常生活と法、法は自分を守り他人を守るもの	鎌田 厚志
2	契約は絶対に守るべき？	民法（契約法）について 契約ってどういうこと？	鎌田 厚志
3	身近な生活と法	消費者法および過失責任について クーリングオフなど、知っていると役に立つ法律の知識	鎌田 厚志
4	民法と刑法はどう違う？	刑法および法的責任について 刑罰とは何か？どのような場合に刑罰を受けることになるのか？	鎌田 厚志
5	性的トラブルにまきこまれたら	刑法について、および関連する法律、人権について セクハラ等、何をやってはいけないと法は定めているのか。	鎌田 厚志
6	憲法で人権を保障するということ	憲法について、人権および国のしくみ 法の中で一番大事な憲法は何を定めているのか	鎌田 厚志
7	バイトも正社員も労働者	労働者の権利について、労働法について 働いている人々の身を守るための法律について	鎌田 厚志
8	患者の権利について	最近の事例から医療者と法、患者の権利について考える 授業の振り返り、最近の事例から医療者と法について考える、まとめ	鎌田 厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間関係論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

授 業 概 要

人間は幼少期から成長する過程で様々な人間関係を経験する。その経験は個々の心と体の「健康」に大きな影響を与える。現代社会は常に変化しており、そこで生じる多様な人間関係も複雑化している。人間関係論はホーソンの実験により、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その因果関係を体系化した理論で人間関係の重要性を示したものである。医療に携わる学修者として人間関係づくりの基礎的知識を理解し、対象者となる人間理解と自己理解を深め、人々の健康課題に寄与できるように学修する。

到 達 目 標

1. 自己と他者の関係を説明できる
2. 発達に関わる人間関係の問題を説明できる
3. 現代の人間関係の諸問題について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

レポート60% 授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題）40%

教 科 書

系統看護学講座基礎分野 人間関係論 医学書院

参 考 図 書

その他、参考となる書籍、文献については適宜授業にて紹介します

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間関係論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人間関係の諸相	授業ガイダンス 社会的動物としての人間と人間関係の発達	松尾和代
2	自己の仕組みと働き	自己認知, 自己評価, 自己開示, 自己呈示が人間関係にもたらす影響	松尾和代
3	対人認知と対人関係	対人認知と対人魅力 人間関係の維持と崩壊	松尾和代
4	態度と説得	態度と態度変化の理論 説得的コミュニケーション	松尾和代
5	援助と攻撃	攻撃のコントロール 援助行動	松尾和代
6	集団	集団での課題遂行 集団での問題解決と意思決定	松尾和代
7	職場の人間関係	リーダーシップとチームワーク	松尾和代
8	保険医療における人間関係	保健医療チームの人間関係 患者を支える人間関係	松尾和代

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
コミュニケーション論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
松尾 和代					講義	

授 業 概 要

コミュニケーションは私たちの生活のあらゆる場面に存在し、人間社会を成立させる重要な手段であり、人間の「考え・感情」を表現し、理解しあうことにつながる。健康課題を持つ対象に対応する医療関係者にとってこの能力は重要となる。本科目では多様なコミュニケーションにおいて、双方向の情報を正しく読み取り、適切に伝え、よりよいコミュニケーションをはかる手立てを探る力をつけることを目的に、医療に関する職業に携わる学修者として実践に活かせるように学修する。

到 達 目 標

1. コミュニケーションの概念について説明できる
2. 対人コミュニケーションの基礎について説明できる
3. コーチングについて説明できる
4. カウンセリングについて説明できる
5. コミュニケーションが社会に与える影響を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

レポート60% 授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題）40%

教 科 書

系統看護学講座基礎分野 人間関係論 医学書院

参 考 図 書

その他、参考となる書籍、文献については適宜授業にて紹介します

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
コミュニケーション論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	コミュニケーションとは	授業ガイダンス コミュニケーションとは マスメディアとソーシャルメディアの社会的影響	松尾和代
2	気持ちを分かち合う コミュニケーション	信頼関係を築く人の話の聴き方 会話を弾ませる質問と答えの仕方	松尾和代
3	仕事を進める論理的 コミュニケーション1	仕事に必要な論理的な話の組み立て方	松尾和代
4	仕事を進める論理的 コミュニケーション2	わかりやすい説明の技法	松尾和代
5	コーチングとは	コーチングの技法	松尾和代
6	カウンセリングとは	カウンセリングの技法	松尾和代
7	アサーションとは	アサーティブ コミュニケーションの技法	松尾和代
8	医療チームにおける コミュニケーション	チームエラーを防ぐためのコミュニケーション	松尾和代

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
アジアの文学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
今井 明					講義	

授業概要

アジアの文学と一口に言っても、アジアは非常に広大な地域なので、地域が辿ってきた歴史によって根付く文学の特徴にも違いがある。ここではアジアの世界から日本・中国を取り上げ、二つの地域における古典文学と近代文学について学ぶ。作品を通して時代背景とともに人間の生きざまや考え方、思想が日本、中国の文学にどのように影響しているか、それぞれの文学の特徴や関連について学修することで、時代背景や各地の文化が人間に及ぼす影響について深く理解する。

到達目標

1. 日本における古典文学と近代文学の特徴を説明できる。
2. 中国における古典文学と近代文学の特徴を説明できる。
3. 作品の背景を理解し、東アジアの文学の関連について説明できる。

事前学修・事後学修

対応DP

評価

試験（50%）＋課題レポート（50%）

教科書

なし

参考図書

講義中に指示する

留意事項

オフィスアワー等

授業終了後しばらく時間を設けるので、質問・相談はその時間を利用してください。

実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
アジアの文学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
今井 明					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	文学入門	授業ガイダンス 文学入門-文学を味わう前に知って欲しいこと 文字のない日本と文字のある中国	今井 明
2	「世界」の捉え方	『今昔物語集』インド・中国・日本が世界だった「世界観」の文学。	今井 明
3	歴史と文学	『史記』と『大鏡』。歴史を人間を通して描く。現代の歴史小説にもつながる方法。司馬遼太郎生誕100年に寄せて。	今井 明
4	物語と小説	「小説」と「物語」は同じか？日本の平安時代の物語と日本の近代小説を較べて考えよう。	今井 明
5	中国の近代文学	中国近代文学の父 魯迅の作品	今井 明
6	中国文学と日本文学へ	『長恨歌』を知っておこう。そして中国の悲運の女性を主題にした日本の古典和歌。	今井 明
7	死と文学	父俊成の死を看取る歌人・藤原定家。そして、北条民雄の『いのちの初夜』	今井 明
8	まとめ	授業内容の振り返りとまとめ。	今井 明

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
福岡の歴史と文化	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
寺坂 禮治					講義	

授 業 概 要

福岡市の歴史、特に博多の成り立ちを学ぶ。福岡市は九州の玄関口として、またアジアに開かれた都市として、近年とみにグローバル化している。保健医療に携わる者としてこれから大学生活をおくる福岡の歴史、生活する人々の暮らしや地域で行われている習慣を知ることが、地域の環境や文化の理解、地域で生活する人の理解につながる。地域に対する誇りを確認することにもなり大切な要素となる。自らも福岡の魅力を発信できるように多方面から学修する。

到 達 目 標

1. 福岡の歴史を知り、古代から近代までの概要を説明できる。
2. 福岡の多文化共生社会の中で人権について説明できる。
3. 福岡の多文化共生社会における在日外国人の現状や課題について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を理解し、理解を深める。

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。

評 価

定期試験（マークシート）

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

高山倫明：メールで相談すること。
 宮井善郎授業後1時間
 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
福岡の歴史と文化	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
寺坂 禮治					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	福岡の先史編	アジアから流入した先史文化	宮井善郎
2	福岡の中世編	中世博多にチャイナタウンがあった！！--福岡地下鉄空港線が貢献した博多学	田上勇一朗
3	九州方言と福祉言語学	医療従事者と患者、災害救援隊と被災者、ネイティブと在日外国人、等々の間に起こりがちな、方言に起因するコミュニケーション阻害について考える。	高山倫明
4	福岡方言の歴史	日本語史の観点から福岡県内諸方言の来歴を考える。	高山倫明
5	福岡の古代編	古代日本の玄関口 大宰府と筑紫館と鴻臚館	菅波正人
6	福岡の食文化編1	福岡市の承天寺境内にある石碑「饅頭（うどん）蕎麦発祥之地」。麵王国博多「うどん」を紹介しながら博多の麵文化を講義する。	小川洋平
7	万葉筑紫歌壇1	福岡にゆかりの万葉歌（博多港編）	高山倫明
8	万葉筑紫歌壇2	福岡にゆかりの万葉歌（大宰府編）	高山倫明

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学入門	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、永崎 孝之、稲川 利光、辻 慶子、溝田 勝彦、中山 広宣					講義	

授 業 概 要

日本は世界に先駆けて高齢社会となり、国民が健康でよりよく生きるかということは大きな命題でもある。「健康」とは何か、人々のより良い健康を支援する職業に携わるものとして、看護、理学療法、作業療法、各々の視点から健康を深く理解し、人間の「健康」を支える「科学」とは何かを思考する。健康科学を支える学問は多岐にわたっており、人々の健康の実現を目指していく実践的な科学である。ここでは各学科の専門基礎分野・専門分野への導入として、その礎となる「健康科学」について学修する。

到 達 目 標

1. 自分が学ぶ領域における健康とはどのようなものか説明できる
2. 科学とは何か説明できる
3. 健康を科学するとは自分が学ぶ領域でどのようなことが考えられるか自分なりに説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

講義日以外の日程で実施する記述試験

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学入門	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、永崎 孝之、稲川 利光、辻 慶子、溝田 勝彦、中山 広宣					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	健康とは1	授業ガイダンス 健康とは何か、科学する心、健康を科学する	西村 泰治
2	健康とは2	医学領域からみた健康	稲川 利光
3	健康とは3	理学療法領域からみた健康	永崎 孝之
4	健康とは4	作業療法領域からみた健康	近藤 敏
5	健康とは5	看護領域からみた健康	宮里 邦子
6	健康を科学する1	健康を科学する；看護学の研究より	辻 慶子
7	健康を科学する2	健康を科学する；理学療法学の研究より	溝田 勝彦
8	健康を科学する3	健康を科学する；作業療法学の研究より	中山 広宣

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
医療と情報リテラシー	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
藤村 直美、山下 貴範					演習	

授 業 概 要

激しく変化している社会の中で生きていくためには生涯学習が必須となり、各自がそれぞれの方法を身につけるためには情報リテラシー能力の獲得が必要である。本科目ではインターネットの概要について学び、その上で動くアプリケーションの仕組みや基礎技術を理解し、適切に使いこなせるように学ぶ。医療の現場はICT (Information and Communication Technology) の発達によって大きく変化している。しかしその一方では様々な問題や課題がある。ICTを用いた新しい医療としては遠隔での診療が可能になったり、情報の共有ができたり、災害時に活用できたりなど現在の状況や、これから充実していく5G (高速、大量の通信が可能) での医療の活用について学ぶ。さらに医療倫理的側面から、医療に関わる人々が知っておくべき課題について学修する。

到 達 目 標

1. インターネットで使える機能の仕組みを理解して、適切に使用できる
2. セキュリティについて理解し、安心・安全にインターネットとアプリを使用できる
3. インターネット上で入手できる様々なコンテンツの探索方法、活用方法を理解して活用できる
4. コンピュータの基礎知識を説明できる
5. 医療情報のリテラシーについて説明できる
6. 病院情報システムの構成について理解し、説明できる
7. ICTや情報技術、通信技術発達による医療への影響、IoT (Internet of Things) と生活の関連について説明できる
8. 個人情報の取り扱いについて説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
 ○ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

毎回の課題で評価する。（藤村）

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
藤村 直美、山下 貴範					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	授業ガイダンス iPadの使い方	授業ガイダンス（出席、課題、評価、成績、連絡方法） iPad、Office（Word, Excel, PowerPoint, OneDrive, Moodle）の操作	藤村直美
2	電子メールについて	電子メール（配送の仕組み、利用上の注意） セキュリティ（ウイルス、詐欺メール、フィッシング）	藤村直美
3	コンピュータとデータベース	種類、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、 クラウド（仕組み、特徴、利用方法）	藤村直美
4	インターネットの概要	インターネットの概要（構成要素、接続形態、IPアドレス、ドメイン名）	藤村直美
5	WWWとは	WWW（サーバー、クライアント、HTTP/HTTPS、検索の仕組み）	藤村直美
6	移动通信	固定電話、携帯電話、仕組み、料金	藤村直美
7	電子決済について OERについて	電子決済（仕組み、種類と特徴、メリット/デメリット） OER(Open Education Resources)（OCW、MOOC、世界の学習教材）	藤村直美
8	医療情報リテラシー	医療の情報化、医療情報の種類	山下貴範
9	情報セキュリティ	情報セキュリティにおけるリスクと対策	山下貴範
10	病院情報システム1	病院情報システムの歴史、概要、構成	山下貴範
11	病院情報システム2	医事会計システム、オーダーリングシステム、電子カルテシステム、各部門システム、様々な医療システム構成 システム開発、導入、管理、運用	山下貴範
12	病院情報システム3	医事会計システム、オーダーリングシステム、電子カルテシステム、各部門システム、様々な医療システム構成 システム開発、導入、管理、運用	山下貴範
13	医療情報標準化	医療情報標準化	山下貴範
14	個人情報保護とガイドライン	医療現場における個人情報の扱い、個人情報保護法・次世代医療基盤法・医療情報ガイドライン	山下貴範

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
藤村 直美、山下 貴範					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	これからの医療情報	近未来の医療情報を考える、授業のまとめ	山下貴範

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
論理的思考法	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
国越 道貴					講義	

授 業 概 要

今日、どのような職業においても「根拠（エビデンス）にもとづいた思考と行動」が求められている。医療の領域も例外ではない。ここでは「エビデンスにもとづく治療（医療）」という言葉をよく耳にするようになった。しかし、根拠にもとづいて結論を導き出すとはいかなることなのか。ある結論をエビデンスによってサポートするとはどのようなことなのか。こうした根本的な問いを考えるのが、この講義の目的である。この講義では、「論証」の構造およびその評価の仕方を、演繹と帰納の観点から体系的に検討することによって、これらの問いにアプローチする。論理的思考を修得することは、大学におけるアカデミックスキルを身につける際にも基本となるだろう。

到 達 目 標

1. 論証とは何か説明できる
2. 様々なタイプの論証に関する評価基準について説明できる
3. 身近な場面から自分自身で説得的な論証をつくらることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

平常点（授業への積極的な参加）と学期末試験の点数によって評価する。

教 科 書

倉田 剛『論証の教室〔入門編〕 インフォーマル・ロジックへの誘い』（新曜社、2022年3月）

参 考 図 書

適宜推薦する。

留 意 事 項

とくになし。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

事前にメール等で連絡することが望ましい。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
論理的思考法	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
国越 道貴					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	論証とは何か	授業ガイダンス なぜ論理的思考が大切なのか	国越道貴
2	論証の構造	前提と結論	国越道貴
3	論証のタイプ	演繹と帰納、主な論証のタイプを区分する	国越道貴
4	論証の評価	妥当性と帰納的強さとの区別	国越道貴
5	仮説形成型論証	仮説の形成とその確証の仕方	国越道貴
6	帰納的一般化	サンプル（部分）から母集団（全体）の様子を推測する	国越道貴
7	因果推論	確からしい原因を特定する論証	国越道貴
8	まとめ	授業のまとめ	国越道貴

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生物学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
照屋 輝一郎					演習	

授 業 概 要

医療職に必要な不可欠な生物学の基本事項を学修し、生命とは何かを考える。初めに生命の基本となる細胞の構造と機能を理解し、生体を構成する分子や恒常性維持のメカニズムについて学ぶ。また発生・分化、遺伝と生物進化、生命誕生と死に関する事項の学びを通じて、「生きるとは何か」という生命の本質を理解する。ここでは医療の基礎となる生物学を学ぶことで、私たちの生命がどのような仕組みで維持されているのかを理解し、それを専門分野に応用できる基礎的能力を養う。

到 達 目 標

1. 細胞を構成する物質の特徴を説明できる
2. 遺伝の仕組みについて説明できる
3. エネルギー代謝、細胞の増殖、細胞の死について説明できる
4. 脳神経、免疫の仕組みについて説明できる
5. 生命のしくみについて説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

成績は主に学期末テストの結果で評価するが、課題などの提出状況も含めて評価する。

教 科 書

西沢いづみ 著 看護系で役立つ 生物の基本 第2版 化学同人 ISBN 978-4-7598-2065-2

参 考 図 書

田村隆明 著 医療・看護系のための 生物学（改訂版） 裳華房 ISBN 978-4-7853-5233-2
 南雲 保 編著 やさしい基礎生物学 第2版 羊土社 ISBN 978-4-7581-2051-7
 中村桂子、松原謙一 監訳 Essential細胞生物学原書第4版 南江堂 ISBN 978-4-524-26199-4

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
照屋 輝一郎					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	生物の最小機能単位	授業ガイダンス 生命の誕生、細胞の働き、細胞膜	照屋輝一郎
2	体液のしくみと働き	水、人体の構成成分、細胞内液、細胞外液、電解質、浸透圧	照屋輝一郎
3	遺伝情報とDNA	DNA、遺伝子、セントラルドグマ、複製、RNA、転写、翻訳	照屋輝一郎
4	遺伝情報の伝え方	細胞分裂、染色体、減数分裂	照屋輝一郎
5	遺伝と遺伝性疾患のしくみ	形質と遺伝、遺伝子型と表現型、遺伝子の変異、遺伝性疾患、DNA多型、SNP	照屋輝一郎
6	化学エネルギーと代謝	化学エネルギー、異化、同化、エネルギー代謝、ATP	照屋輝一郎
7	化学反応と酵素	酵素、活性化エネルギー、触媒、基質特異性、補酵素、フィードバック阻害	照屋輝一郎
8	糖質の代謝	グルコース、解糖系、グリコーゲン、血糖値、糖新生	照屋輝一郎
9	脂質の代謝	脂質、脂肪酸、 β 酸化、リポタンパク質、ケトン体、コレステロール	照屋輝一郎
10	タンパク質・アミノ酸の代謝	タンパク質、アミノ酸、アミノ基転位反応、 α -ケト酸（炭素骨格）、アミノ基、尿素回路	照屋輝一郎
11	内分泌系による情報伝達	内分泌腺、ホルモン、ホルモン受容体、フィードバック調節	照屋輝一郎
12	神経系による情報伝達	ニューロン、活動電位、神経伝達物質、中枢神経、末梢神経	照屋輝一郎
13	血管系とリンパ系	血管系、循環系、体循環、血液の役割、リンパ系、リンパ循環	照屋輝一郎
14	免疫系のしくみ1	免疫とは、自己と非自己、物理・化学的防御、自然免疫	照屋輝一郎

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
照屋 輝一郎					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	免疫系のしくみ2	獲得免疫、免疫担当細胞の誕生、アレルギー	照屋輝一郎

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
物理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
黒木 昌一					演習	

授 業 概 要

物理学は、科学技術のベースとなる重要な分野であり、さまざまな自然現象を考える上で基礎的な学問となる。本科目の目的は、力学の基本的な原理について正しい理解を得ること、看護師、理学療法士、作業療法士に必要な物理学に関連する知識を得ること、科学的または論理的な考え方を養うことである。人体の運動と物理の法則の関係を理解し、科学的な思考で人間の動きを捉えられるように学ぶことで、無理のない体の動きや力の使い方についても日常的に重力や摩擦など考えながら行動し、各分野に活かせるように学修する。

到 達 目 標

1. 人体の運動と物理法則の関係を理解し、科学的な見方を身につける
2. 臨床場面における科学的思考の基礎を身につける

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：当該テーマについて自主的に調べて授業に臨む
事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

レポート・授業中の小テスト30% と期末試験（筆記試験）70%で評価する。

教 科 書

特に指定しない。（プリント配布等で対応）

参 考 図 書

- 1) 廣岡秀明・崔東学・古川裕之・吉村玲子・山本洋 共著「医療系の基礎としての物理」 学術図書出版社
- 2) 横田俊昭著 「看護と医療技術者のためのぶつり学」 第2版 共立出版
- 3) 藤城敏幸/佐藤幸一著 「医療系のための物理」 第2版 東京教学社

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黒木 昌一					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	物理学基礎で学習すること 物理量とその表し方(1)	物理学とは、看護学・理学療法学・作業療法学と物理学 物理量、国際単位系（基本単位と組立単位）、ベクトル量とスカラー量	黒木昌一
2	物理量とその表し方(2)	大きい数、小さい数の表し方、指数の計算、有効数字とその計算	黒木昌一
3	物理学で使うグラフと関数 (1)	数式とグラフ、三角関数	黒木昌一
4	物理学で使うグラフと関数 (2)	変化率と微分、ベクトルの計算	黒木昌一
5	いろいろな運動(1)	位置と変位、速度、加速度、等速直線運動	黒木昌一
6	いろいろな運動(2)	等加速度直線運動、自由落下、鉛直投げ上げ、水平投射	黒木昌一
7	さまざまな力(1)	力とは、力の単位、重力、張力	黒木昌一
8	さまざまな力(2)	垂直抗力、摩擦力、弾性力、圧力	黒木昌一
9	力のつり合いと運動の法則 (1)	力の合成と力のつり合い、慣性の法則、遠心力	黒木昌一
10	力のつり合いと運動の法則 (2)	運動方程式、作用反作用の法則	黒木昌一
11	物体の重心と回転運動(1)	剛体の回転運動、力のモーメントのつり合い、重心と重心の求め方	黒木昌一
12	物体の重心と回転運動(2)	剛体の運動と剛体にはたらく力、力のモーメントと3つのでこ	黒木昌一
13	運動量、仕事とエネルギー (1)	運動量と力積、仕事と仕事率、運動エネルギー	黒木昌一
14	運動量、仕事とエネルギー (2)	位置エネルギー、エネルギー保存の法則	黒木昌一

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黒木 昌一					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	波、音と光	波の特徴、縦波と横波、照度と光度	黒木昌一

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I (医療英語)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Aleles Jonathan					演習	

授 業 概 要

“Medical English 1” is the first in a series of two courses intended for 1st year students in the Faculty of Health Sciences as part of their integrated English curriculum. Through the medium of English, students will integrate listening & notetaking, vocabulary building, controlled practice, reading, and role-playing by exploring common healthcare scenarios in a Japan-specific context.

到 達 目 標

By the end of this semester, students will be expected to:

- Understand short, level-appropriate audio texts of English dialogues in healthcare scenarios and take accurate notes
- Achieve relative mastery of the most common English vocabulary likely to appear in non-specialist healthcare contexts
- Achieve control of basic- and intermediate-level English grammatical forms and constructions
- Orally communicate basic ideas and requests using English in a comprehensible fashion, particularly in healthcare scenarios
- Understand and complete basic medical forms that includes patient information
- Participate in simple role-plays from both healthcare professional and patient viewpoints using English
- Navigate a variety of cultural obstacles likely to be encountered when dealing with non-Japanese patients

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

対 応 D P

評 価

Quizzes & tests 70%
Participation/homework 30%

教 科 書

Vital Signs by Vivian Morooka & Terri Sugiura (Nan' un-do) (ISBN978-4-523-17868-2)

参 考 図 書

Additional materials may be made available online.

留 意 事 項

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

Study help:
Your Teacher will share contact details during the Class Introduction

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
英 語 I (医 療 英 語)	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1単 位	30時 間	必 修	1年 前 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
Aleles Jonathan					演 習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	1. Introduction / Unit 1		Aleles Jonathan
2	2. Unit 2		Aleles Jonathan
3	3. Unit 3		Aleles Jonathan
4	4. Unit 4		Aleles Jonathan
5	5. Test 1		Aleles Jonathan
6	6. Unit 5		Aleles Jonathan
7	7. Unit 6		Aleles Jonathan
8	8. Unit 7		Aleles Jonathan
9	9. Unit 8		Aleles Jonathan
10	10. Test 2		Aleles Jonathan
11	11. Unit 9		Aleles Jonathan
12	12. Unit 10		Aleles Jonathan
13	13. Unit 11		Aleles Jonathan
14	14. Unit 12		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
英 語 I (医 療 英 語)	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1単 位	30時 間	必 修	1年 前 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
Aleles Jonathan					演 習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	15. Test 3		Aleles Jonathan

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ理論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
小西 裕之					講義	

授業概要

学生の健康管理の一環ともなるようスポーツについて学修する。人間にとって体を動かすことがどのような意義があるのか、スポーツがもたらす心や体への影響を考え、体力づくりや健康づくりや、スポーツ理論について学ぶ。さらに障害者のスポーツに関しても学修する。障害には身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などがある。初めてスポーツに参加する障害者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ活動の導入を支援できるように学修する。

到達目標

1. スポーツが身体・精神に及ぼす影響について説明できる
2. 健康と体力づくりの関係について説明できる
3. スポーツに取り組む際の安全への配慮について説明できる
4. 障がい者スポーツの概要を説明できる

事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP

評価

テストの結果により評価（テストは8回目授業内で行う）

教科書

なし

参考図書

適宜配布する。

留意事項

携帯電話等モバイル機器の無断使用を禁止する

オフィスアワー等

授業終了後、もしくはメールにて問い合わせること

実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ理論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
小西 裕之					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	スポーツの意義と役割	授業ガイダンス 健康の概念 運動・スポーツが健康に及ぼす影響	小西裕之
2	ライフステージによる 運動・スポーツ	ライフステージ別にみた運動・スポーツ及びそれらの健康に及ぼす影響	小西裕之
3	スポーツと メンタルヘルス	運動・スポーツがメンタルヘルスに及ぼす影響	小西裕之
4	安全管理	安全管理の考え方、安全上の約束と指導、レクリエーションの工夫	小西裕之
5	運動処方	運動処方の原則、運動処方についての留意点	小西裕之
6	障害別指導の特徴	身体別障害、知的障害、精神障害、発達障害	小西裕之
7	障がい者スポーツ	障がい者スポーツ振興の経過	小西裕之
8	まとめ	ノーマライゼーションの考え方、授業の振り返り	小西裕之

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学 I (筋骨格系、神経系)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中島 民治					講義	

授 業 概 要

人体を構成する器官・器官系のうち、動物性機能に関係の深い筋骨格系（骨・関節・筋）と神経系（脳・脊髄・感覚器）の基本的構造について学ぶ。人体の基本構造の知識に基づき、理学・作業療法と関連のある臨床症例の概要を理解し、人体解剖学とリハビリテーションの関連性についての理解を深める。

到 達 目 標

1. 人体の骨と筋について、名称、起始、停止、神経支配、作用を述べることができる。
2. 神経系に属する各器官の名称や解剖学的区分、特徴等を説明することができる。
3. 理学・作業療法を行うにあたり人体解剖学を学ぶ意義について理解する。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当箇所を読んでおく
事後学修：授業内容を復習し、整理する

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版（野村 嶺 編 医学書院）
2. 講義ノート（パワーポイント）

参 考 図 書

解剖生理学ワークブック 坂井建雄・岡田隆夫・宇賀貴紀 編 医学書院

留 意 事 項

教科書の熟読を求める。

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学Ⅰ（筋骨格系、神経系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
中島 民治					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	解剖学総論	解剖学とは（定義・目的）、解剖学用語と人体の区分、人体の構成、人体の発生	中島民治
2	骨格	骨格総論、骨格各論（頭蓋・脊柱・上肢の骨・下肢の骨）	中島民治
3	関節と靭帯	関節靭帯総論、関節靭帯各論（頭蓋の連結・脊柱、脊柱と頭蓋および胸郭の連結・上肢の連結・下肢の連結）	中島民治
4	筋系（運動器）1	筋系総論、筋系各論（体幹の骨格と筋）	中島民治
5	筋系（運動器）2	筋系各論（上肢の骨格と筋）	中島民治
6	筋系（運動器）3	筋系各論（下肢の骨格と筋）	中島民治
7	筋系（運動器）4	筋系各論（頭頸部の骨格と筋）	中島民治
8	筋系（運動器）5	筋の収縮による運動	中島民治
9	神経系1	神経系総論	中島民治
10	神経系2	中枢神経系（脊髓・脳）	中島民治
11	神経系3	中枢神経系（神経路）	中島民治
12	神経系4	末梢神経系（脊髓神経・脳神経）	中島民治
13	神経系5	末梢神経系（自律神経系）	中島民治
14	感覚器系1	外皮、視覚器の構造と機能	中島民治

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学 I (筋骨格系、神経系)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中島 民治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	感覚器系 2	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器の構造と機能	中島民治

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
吉田 和弘、角田 孝行、東 華岳					実習	

授 業 概 要

人体模型や3D教材を用いた実習および献体解剖の見学を通して、人体（運動器系・神経系）の構造を立体的に理解する。

到 達 目 標

1. 上肢・下肢・頭蓋・体幹を構成する骨と筋の基本的形態について説明することができる
2. 消化器系、循環器系、呼吸器系、神経系の基本的な構造について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に示された課題について個人学修しておくこと
 事後学修：実習およびグループ学修で学んだことをまとめ、記録する

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

筆記試験（50%）、課題レポート（50%）

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版（野村 嶺 編 医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

吉田和弘：メールにて事前に予約すること。
 角田孝之：メールにて事前に予約すること。
 東華岳：質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
吉田 和弘、角田 孝行、東 華岳					実習	

回数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	オリエンテーション	模型・3D教材を用いた実習の目的と方法	東華岳 吉田和弘 角田孝行
2	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習①）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
3	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習②）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
4	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習③）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
5	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習④）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
6	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習⑤）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
7	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習①）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
8	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習②）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
9	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習③）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
10	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習④）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
11	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習⑤）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
12	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習①）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
13	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習②）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
14	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習③）	東華岳 吉田和弘 角田孝行

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
吉田 和弘、角田 孝行、東 華岳					実習	

回数	単元	内 容	担当教員
15	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習④）	東華岳 吉田和弘 角田孝行
16	解剖見学	献体の解剖見学①（上肢の筋骨格と神経）	東華岳
17	解剖見学	献体の解剖見学②（上肢の筋骨格と神経）	東華岳
18	解剖見学	献体の解剖見学③（上肢の筋骨格と神経）	東華岳
19	解剖見学	献体の解剖見学④（下肢の筋骨格と神経）	東華岳
20	解剖見学	献体の解剖見学⑤（下肢の筋骨格と神経）	東華岳
21	解剖見学	献体の解剖見学⑥（下肢の筋骨格と神経）	東華岳
22	解剖見学	献体の解剖見学⑦（頭蓋・体幹の筋骨格と神経）	東華岳
23	解剖見学	献体の解剖見学⑧（頭蓋・体幹の筋骨格と神経）	東華岳

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学 I (動物性機能)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

授 業 概 要

人体を構成する器官・組織のうち、動物性機能に関係が深い筋骨格系（骨・関節・筋）と神経系（脳・脊髄・末梢神経）の基本的な生理機能について学ぶ。また、理学・作業療法と関わりが深い筋骨格系および神経系の代表的な障害（疾患）の概要について学び、生理学とリハビリテーションの関連について理解する。

到 達 目 標

1. 筋骨格系と神経系に属する各器管の名称について説明することができる。
2. 筋骨格系と神経系に属する各器管の生理機能について説明することができる。
3. 感覚に関わる器官と需要のしくみについて説明することができる。
4. 理学・作業療法を行うにあたり生理学を学ぶ意義について理解する。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通し、理解を深めておくと同時に、難解な箇所をまとめておき講義にのぞむこと。
事後学習：教科書と配布資料による復習を行ない、関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認を行うこと。

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）
最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。
評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

学習の理解度は、次回授業にて指名して確認する場合もあるので、スライドや資料で<ポイント>とした項目、キーワードについては、自己の言葉で論述できるようまとめておくこと。

オ フィ ス ア ワ ー 等

オフィスアワー：講義日昼休み。これ以外の時間帯を希望する場合は、メールにて事前連絡の上訪ねること。
連絡先メール：配布資料に記載。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学 I (動物性機能)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	組織・器管・器管系、ホメオスタシス	中川和憲
2	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能、物質の移動、静止電位と活動電位	中川和憲
3	筋と骨	筋の種類と分類、骨格筋の構造と神経支配、骨格筋の収縮、筋紡錘とGolgi器官	中川和憲
4	筋と骨	心筋の活動電位と興奮収縮連関、収縮経過と不応期、長さ-張力関係、収縮性	中川和憲
5	筋と骨	平滑筋の機能、張力の発生と収縮、骨の成長と老化	中川和憲
6	運動生理	筋力と筋持久力、筋収縮のエネルギー源	中川和憲
7	神経系	神経細胞の構造、興奮の発生と伝導、神経の種類、体性神経	中川和憲
8	神経系	自律神経、シナプスにおける興奮の伝達	中川和憲
9	神経系	中枢神経系の構成と機能、脊髄の構造と反射、脳幹の構造と機能	中川和憲
10	神経系	小脳の構造と機能、小脳への入出力、運動学習、視床および視床下部の構造と機能	中川和憲
11	神経系	大脳皮質の構造と機能、高次脳機能	中川和憲
12	神経系	大脳基底核と脳梁、大脳辺縁系、脳室と脳脊髄液、血液脳関門	中川和憲
13	感覚	体性感覚、内臓感覚	中川和憲
14	感覚	特殊感覚1	中川和憲

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学 I (動物性機能)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	感覚	特殊感覚2	中川和憲

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
人間発達学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 紀一					演習	

授 業 概 要

人間は生涯にわたり心身の構造、機能が変化していく。人間の各発達段階、特に乳幼児期の特徴と発達課題について知的側面（言語、認知等）、身体的側面（原始反射、姿勢反射、腹臥位・背臥位での運動等）、情緒的側面（信頼、内発的動機等）、社会的側面（遊び等）などに焦点をあてて論じる。さらにライフサイクルにおける成熟と衰退という観点を踏まえて、医療技術者としていかに人間関係を深め、援助活動に生かしていくのか学修する。

到 達 目 標

1. 知的・身体的・情緒的・社会的側面における発達について理解を深める
2. ライフサイクルにおける成熟と衰退という観点を踏まえ、援助活動にどう生かすかを学修する。
3. ヒトの発達プロセスについて、人と作業の相互関係性及び対象操作技能の観点から、理解を深める

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に配布資料がある場合があります。また、次の講義で行う内容を提示した場合は予習に取り組む
 事後学修：レポート課題が出される場合があります。また、講義の内容を復習しておくこと

対 応 D P

評 価

40%レポート課題、60%を随時行う小テストにて判定します

教 科 書

シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 人間発達学テキスト

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（10:40～14:00）研究室
 上記以外の時間帯でもアポイントをとってもらえれば対応します。できればリモートが助かります。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
人間発達学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 紀一					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人間発達学総論	人間発達の様々な理論について、また生涯発達について	小西紀一
2	身体・姿勢・動作の発達1	身体活動の基本となる動作の発達について	小西紀一
3	身体・姿勢・動作の発達2	姿勢や上肢機能の分離・発達について	小西紀一
4	身体・姿勢・動作の発達3	移動動作や協調動作の発達について	小西紀一
5	認知機能・言語・社会性の発達1	認知機能の発達について	小西紀一
6	認知機能・言語・社会性の発達2	言語機能の発達について	小西紀一
7	認知機能・言語・社会性の発達3	社会性の発達について	小西紀一
8	社会生活活動の発達1	日常生活における諸活動の発達	小西紀一
9	社会生活活動の発達2	遊び・仕事をする能力の発達について	小西紀一
10	発達の諸段階と発達課題 胎生期～乳児期	胎生期から乳児期の発達の諸段階と発達課題について	小西紀一
11	発達の諸段階と発達課題 幼児期～児童期	幼児期から児童期の発達の諸段階と発達課題について	小西紀一
12	発達の諸段階と発達課題 青年期～老年期	青年期～老年期の発達の諸段階と発達課題について	小西紀一
13	対象操作機能と言語発達の関係1	系統発生的視点	小西紀一
14	対象操作機能と言語発達の関係2	個体発生的視点	小西紀一

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間発達学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 紀一					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	人間発達学 まとめ	人間発達学のまとめを行う	小西紀一

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
医学概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
富永 隆治					演習	

授 業 概 要

医学を「心身の病気をなおし、健康を増進させる学問」と定義し、人間と病気の歴史や健康との関係を知ることにより、医療観や倫理観、医療を担う人材の教育や診断技術、治療の進歩、今日の我が国の医療システムなどについて学ぶ。さらに、代表的な診療科の対象となる主な疾患や医師の仕事について学び、チーム医療の一翼を担い、信頼される医療専門職としての将来の自身の在り方について考える。

到 達 目 標

1. 健康と病気の定義、病気と老化との違いについて説明することができる
2. 病院で標榜できる診療科の対象となる代表的な疾患をあげることができる
3. 医療従事者として必要な倫理観について自身の考えを述べるることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

対 応 D P

評 価

筆記試験（100%）

教 科 書

1. 医学概論：中島泉 著 南江堂
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア フ ー 等

富永隆治 火、木、金曜日（15時～16時）研究室

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
医学概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
富永 隆治					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	医学の基本①	医学とは何か（定義、医道、サイエンスとアート、医療）、人間の生命を考える（医の倫理、生命倫理）	蒲池真澄理事長 鶴崎直邦
2	医学の歴史②	医学の起源、医学の展開、我が国における医学の発展	中山茂春
3	環境・文化と人間の健康④ 病気の基本⑤	環境と人間、人間の本質：文化の構築、健康の概念 病気の概念、病気の分類、病気の主要症状、病理学総論	藤井茂
4	病因・病態別の病気の分類⑥	国際疾病分類、遺伝子病、外傷、中毒、感染症、アレルギー、腫瘍、代謝疾患	上野道雄
5	病気の診断⑧	診断学総論、診断学の基本、診断学各論、画像診断、病理診断	山永義之
6	病気の治療と予防⑨⑬	治療学総論、治療学各論、病気の予防、健康診断、人間ドック	山永義之
7	医療の基本⑩	医療の担い手、医療専門者間のチームワーク、課題対応チーム医療の実際	富永隆治
8	社会の医療情勢と医療体制⑭	現在の医療情勢、我が国の医療体制、諸外国の医療体制、医学教育	寺坂禮治
9	医療法規と医療行政⑮	医療法規、社会保障制度、電子カルテ、医療情報	上野道雄
10	医療の現場（1）⑦⑪	内科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	有田武史
11	医療の現場（2）⑦⑪	整形外科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	蒲池 浩文
12	医療の現場（3）⑦⑪	整形外科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	半仁田勉
13	医療の現場（4）⑦⑪	脳神経外科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	福山幸三
14	医療の現場（5）⑦⑪	産科・婦人科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	林広典

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医学概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
富永 隆治					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	まとめ	富永隆治

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
リハビリテーション概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中山 広宣					講義	

授 業 概 要

リハビリテーションの歴史や理念、医療人としての基本的事項を論説し、リハビリテーションの対象となる障害とリハビリテーションの流れを教授する。そして、リハビリテーションに関わる各種専門職とその職務内容を説明することで、関連職種が協働する専門職連携（チーム医療）の重要性とリハビリテーションを取り巻く社会や社会保障制度から障害者の支援を考える。

到 達 目 標

1. リハビリテーションの定義、障害の概念、ノーマライゼーションやQOLについて説明できる
2. 代表的な障害分類について説明できる
3. リハビリテーションの過程を説明できる。
4. リハビリテーションの関連職種と役割について概説できる
5. 各種専門職が連携するチーム医療の重要性について述べるができる
6. リハビリテーションに関連する社会保障制度を説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストと資料を読んで、疑問点を整理しておくこと。
事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の応用的動作能力または社会適応能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。
- 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、作業療法の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価

小テスト，定期試験

教 科 書

1. 医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論 改訂第4版（永井書店）ISBN：978-4-8159-1922-1
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

遅刻3回は欠席1回とする。
私語はしない。

オ フィ ス ア フ ー 等

在室時随時

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単 位 数	時 間 数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中山 広宣					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論：医療人の構え	リハビリテーションにおける医療人の構え（在り方）：グループ討議	中山広宣
2	患者理解と支援	障害者の理解と支援，コミュニケーション，傾聴・受容・共感・支持：グループ討議	中山広宣
3	リハビリテーションの歴史	欧米・日本の歴史（身体障害・精神障害・肢体不自由児）	中山広宣
4	リハビリテーションの定義	リハビリテーションの定義と目的，リハビリテーションの4分野，地域リハビリテーション	中山広宣
5	障害の分類	国際障害分類（ICIDH），国際生活機能分類（ICF），	中山広宣
6	障害と心理機制	心理的障害と障害受容，防衛機制	中山広宣
7	チームリハビリテーション	各専門職の役割とチームアプローチ	中山広宣
8	リハビリテーションの過程	評価，治療計画，ゴール	中山広宣
9	身体障害リハビリテーション	身体障害の特徴と評価：中枢神経障害，肢体不自由、内部障害	中山広宣
10	精神障害リハビリテーション	精神障害・発達障害の特徴と評価：統合失調症、躁うつ病，うつ病など	中山広宣
11	リハビリテーションの管理	記録・管理・組織運営	中山広宣
12	リハビリテーションと社会保障制度	社会福祉と公的扶助制度、保健医療制度、社会保険制度、介護保険制度，精神保健福祉法	中山広宣
13	リハビリテーションと作業療法1	生活、人生における作業の意義	中山広宣
14	リハビリテーションと作業療法2	リハビリテーションにおける作業療法の領域	中山広宣

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中山 広宣					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	リハビリテーションと倫理	中山広宣

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
カウンセリング論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					講義	

授 業 概 要

カウンセリングの基本的なテクニックについて、具体的な事例や技法を通して学ぶ。
また、リハビリテーション医療におけるカウンセリングの重要性について理解する。

到 達 目 標

1. カウンセリングの意義と過程について説明することができる
2. カウンセリングに用いられる基本的なテクニックについて説明することができる
3. リハビリテーションにおけるカウンセリングの重要性について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当する配布資料に目を通しておくこと
事後学修：授業の内容について理解できるよう、整理しておくこと

対 応 D P

評 価

ミニレポート（40%）と定期試験（60%）により評価する。

教 科 書

1. 配布資料

参 考 図 書

1. カウンセリング・テクニック入門 プロカウンセラーの技法30（金剛出版）

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問などは、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
カウセリング論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					講義	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	総論	カウセリングとは何か、カウセリングのプロセス	山口 雄介
2	総論	カウセリングの基本（傾聴・観察・アセスメント）	山口 雄介
3	カウセリング・テクニク	傾聴のテクニク（パラフレーズ・リフレクト・サマライズ）	山口 雄介
4	カウセリング・テクニク	観察のテクニク（非言語コミュニケーション）	山口 雄介
5	カウセリング・テクニク	アセスメントのテクニク（学習理論と認知モデル）	山口 雄介
6	カウセリング・テクニク	カウセリングの新潮流（マインドフルネス）	山口 雄介
7	カウセリング・テクニク	カウセリングの多様性（グループ・アプローチ）	山口 雄介
8	まとめ	クライアントの体験、カウンセラーの人間性	山口 雄介

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
保健医療福祉制度論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西 貴 倫					講義	

授 業 概 要

医療福祉分野の専門職として知っておくべき基本的な法令の概要とその役割について学ぶ。また、我が国における国民の健康維持・増進に寄与する各種法令と社会資源について学び、医療を取り巻く現状の諸問題や将来展望について理解する。

到 達 目 標

1. 医療福祉に関する法令の名称を挙げ、その概要について説明することができる
2. 自身が目指す資格（職種）に関する法令の名称を挙げ、その概要について説明することができる
3. 国民の健康のために各種法令が果たす役割について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと
 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）

教 科 書

1. 府川哲夫・磯部文雄（著）『保健医療福祉行政論 [改訂版]』ミネルヴァ書房、2022年1月刊
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
保健医療福祉制度論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西 貴 倫					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	法の概念	法の概念、衛生法の概念・沿革・分類、厚生労働行政のしくみ	西 貴 倫
2	医療従事者資格と関連法規	目的と定義、試験、養成課程、業務、義務、罰則、他	西 貴 倫
3	医事法	医療法、医師法・歯科医師法・薬剤師法・医療関係資格法・保健衛生福祉資格法	西 貴 倫
4	医事法	医療・介護の提供体制に関する法、移植医療に関する法、人の死に関する法、緊急時の医療に関する法①	西 貴 倫
5	医事法	医療・介護の提供体制に関する法、移植医療に関する法、人の死に関する法、緊急時の医療に関する法②	西 貴 倫
6	保健衛生法	共通保健法、分野別保健法、感染症に対する法①	西 貴 倫
7	保健衛生法	共通保健法、分野別保健法、感染症に対する法②	西 貴 倫
8	薬務法	薬事一般に関する法律、人などの組織を用いた医療関連法、薬害被害者の救済、麻薬・毒物などの法	西 貴 倫
9	環境衛生法	営業、環境整備に関する法	西 貴 倫
10	社会保険法	健康保険法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、国民年金法、厚生年金保険法	西 貴 倫
11	福祉法	社会福祉法、生活保護法、児童分野・高齢分野・障害分野の法	西 貴 倫
12	労働法と社会基盤整備	労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、雇用保険法、その他①	西 貴 倫
13	労働法と社会基盤整備	労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、雇用保険法、その他②	西 貴 倫
14	環境法	環境保全の基本法、公害防止の法、自然保護法	西 貴 倫

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
保健医療福祉制度論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西 貴 倫					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	まとめ	西 貴 倫

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法学概論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏					講義	

授 業 概 要

作業療法を学ぶ学生のための道標となる科目である。最初に作業療法のルーツとアーツアンドクラフツ運動、パラダイム理論に基づく米国作業療法の歴史、そして、わが国の作業療法の歴史について学修する。次に作業療法実践の事例、作業療法における「作業」の意義、「作業」と健康との関係、作業療法の対象と場所、作業療法のプロセス、作業療法モデル論、作業療法の進化について学修する。本授業科目は豊富な臨床経験をもつ作業療法士が担当する。

到 達 目 標

1. 作業療法の発展に尽くした国内外の先達を10人あげることができる
2. パラダイム理論で作業療法の歴史を説明できる
3. 作業療法における作業の意義について説明できる
4. 作業療法のプロセスを説明できる
5. 日本作業療法士協会のホームページにアクセスし、その活動について知ることができる
6. 作業療法を家族や友人に分かりやすく説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：必ず教科書を読んで授業に臨んで下さい

事後学修：作成したノートや配布した資料及び確認テストを一元的にファイル化して下さい

対 応 D P

◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

筆記試験（毎回授業終了時に行う確認テスト50%、定期試験50%）100%

教 科 書

鎌倉矩子・著：作業療法の世界、三輪書店、978-4-89590-205-2

参 考 図 書

日本作業療法士協会・監修：作業療法概論、協同医書、978-4-7639-2118-5

矢谷令子・監修：作業療法学概論、医学書院、978-4-260-02535-5

留 意 事 項

確認テストは各授業の終了前に行います。教科書や配布資料、自身のノートをみて回答してかまいませんが、他人と相談してはいけません。欠席は0点となります。定期試験は実施した確認テストから出題しますが持ち込みは禁止します。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

作業療法士としての実務経験（身体・発達・高齢期の臨床経験）は数十年です。

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法学概論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
近藤 敏					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	作業療法の生い立ち 1	序、古代養生法としての作業	近藤敏
2	作業療法の生い立ち 2	作業療法の源流～18・19世紀の道徳療法、ピネルの功績、米国における隆盛と衰退	近藤敏
3	作業療法の生い立ち 3	作業の再発見～アーツアンドクラフツ運動、作業療法の創始者達	近藤敏
4	作業療法の生い立ち 4	米国における作業療法の成立～第一次世界大戦と「再建助手」、作業療法の認知と拡大	近藤敏
5	わが国における作業療法の発展 1	黎明期～精神科医と作業療法、結核の作業療法、肢体不自由児の療育	近藤敏
6	わが国における作業療法の発展 2	作業療法の再生と新生、新しい作業療法の始まり、「作業療法士」の誕生	近藤敏
7	わが国における作業療法の発展 3	国試受験の特例措置、作業療法の診療報酬化、新たな保健政策と作業療法	近藤敏
8	作業療法の現在 1	作業療法実践例～作業と健康との関係	近藤敏
9	作業療法の現在 2	作業療法実践例～作業と健康との関係	近藤敏
10	作業療法の現在 3	作業の意義、作業の範囲、作業療法士の役割、集団の利用	近藤敏
11	作業療法実践の枠組み 1	作業療法の前提概念～創始者の思想、ライリーの作業行動パラダイム	近藤敏
12	作業療法実践の枠組み 2	作業療法の対象者、行われる場所、作業療法実践のプロセス	近藤敏
13	作業療法実践の枠組み 3	作業療法評価と介入の技術、臨床思考過程（クリニカル・リーズニング）	近藤敏
14	作業療法モデル論	人間作業モデル、カナダ作業遂行モデル、AOTAの公式見解、作業科学の参入	近藤敏

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法学概論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
近藤 敏					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	作業療法の進化	作業療法の効果の検証、量的研究と質的研究、まとめ	近藤敏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業学実習Ⅰ（手工芸等・作業分析）	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

授 業 概 要

作業療法で活用頻度の高い織物、手工芸、絵画、木工、陶芸を学修者が実際に経験することにより、それが身体的(生理的)・精神的(心理的)に与える影響を分析するとともに、各種の作業に用いる素材や材料が持つ特性を知り、それらの応用方法も考えていく。さらに、各作業の作業分析を行い、作業の特徴・作業中の姿勢・作業工程・動作分析・治療効果・障害に対する適用等を学修する。

到 達 目 標

1. 臨床において使用する代表的な作業活動の手順や工程について自分の言葉で説明ができる
2. 臨床において使用する代表的な作業活動について、作業分析ができる
3. 臨床において使用する代表的な作業活動について、基本技術を修得できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各講義の内容に該当する活動につき、テキストに目を通しておくこと
 事後学修：講義ごとにレポート形式の課題の提出を求めます。各期限を守り、提出してください

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

作業分析ノート60%、筆記試験40%で判定する

教 科 書

古川宏 作業活動実習マニュアル 医歯薬出版

参 考 図 書

留 意 事 項

- ・各講義におけるレポートの提出期限や形式は、各教員に確認してください。
- ・2グループに分けて開講される予定です。講義順は前後するので、初回の講義は必ず出席してください。

オ フィ ス ア ワ ー 等

メールにて事前に予約すること。
 角田：t.kakuda@rhs-u.ac.jp

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業学実習Ⅰ（手工芸等・作業分析）	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション		角田 永井 吉田 太田
2	革細工（1）		角田
3	革細工（2）		角田
4	革細工（3）		角田
5	スプールウィービング （1）		角田
6	スプールウィービング （2）		角田
7	絵画（1）		永井
8	絵画（2）		永井
9	マクラメ（1）		永井
10	マクラメ（2）		永井
11	手工芸（1）	*変更される可能性があります	永井
12	手工芸（2）	*変更される可能性があります	永井
13	陶芸（1）		吉田
14	陶芸（2）		吉田

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業学実習Ⅰ（手工芸等・作業分析）	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	陶芸（3）		吉田
16	陶芸（4）		吉田
17	陶芸（5）	*他種目に変更される可能性あり	吉田
18	陶芸（6）	*他種目に変更される可能性あり	吉田
19	木工（1）		太田
20	木工（2）		太田
21	木工（3）		太田
22	木工（4）		太田
23	木工（5）		太田

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
教育学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
木村 菜太					講義	

授業概要

教育は歴史・社会・文化のすべての全体的な関連の中で営まれる。そこで、教育の目的と内容を理解し、近代の学校の成立と西欧や日本の歴史の変遷を概観し、「人間のための教育」という視点から、そこに見られる主な問題、とりわけ現代的課題である貧困や福祉の現状、医療と教育について検討していく。さまざまな具体的な教育思想や実践事例などを紹介しながら医療教育についても現状や課題などを考える。本科目では教育学の基本的な概念や知識、現代の教育における問題について学修する。

到達目標

1. 教育の基本概念が理解できる
2. 人間の成長と教育の意義・目的について説明できる
3. 教育の抱える現代的課題について具体的に説明できる

事前学修・事後学修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP

評価

受講態度、提出レポート類、学期末試験から総合的に勘案して評価します。

教科書

なし

参考図書

授業中に適宜紹介します。

留意事項

オフィスアワー等

質問等は授業時に行うこと。

実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
教育学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
木村 葉太					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	オリエンテーション	授業概要の説明、看護と教育の関係	木村 葉太
2	教育学の基礎概念①	近代化に伴う教育と子ども概念の変化	木村 葉太
3	教育学の基礎概念②	社会構造と教育の関係	木村 葉太
4	教育を構成する要素①	教授と学習の関係	木村 葉太
5	教育を構成する要素②	福祉と教育の現状	木村 葉太
6	教育の現代的課題①	不登校	木村 葉太
7	教育の現代的課題②	社会教育・生涯学習、シティズンシップ教育	木村 葉太
8	まとめ	まとめ	木村 葉太

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
発 達 心 理 学	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1 単 位	30 時 間	選 択	1 年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄 介					演 習	

授 業 概 要

既修の「心理学」と関連させながら、心はいつからどのように変化していくのか。受精から死を迎えるまでのライフサイクルを視野にいれながら、ここでは胎児期から乳児期、幼児期、児童期、青年期までを中心に時間の経過とともに質的及び量的に変化するさまざまな発達の特徴を理解する。発達心理学という学問大系を学ぶだけでなく、身近な子育て、教育、人としての生き方等を考える機会とし、医療の対象である人間の誕生から老年期に至る生涯発達の過程において、各期の発達と課題を学ぶことで、医療に還元できる知識や探索の仕方を学修する。

到 達 目 標

1. 人間の生涯発達の理論について説明できる
2. 幼児期の発達と課題について説明できる
3. 児童期の発達と課題について説明できる
4. 思春期の発達と課題について説明できる
5. 成人期の発達と課題について説明できる
6. 中年期の発達と課題について説明できる
7. 老年期の発達と課題について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
 ○ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

ミニレポート（40%）と定期試験（60%）により評価する。

教 科 書

発達心理学 15講 北大路書房

参 考 図 書

授業中に適宜紹介する。

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
発達心理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	発達心理学の基礎	授業ガイダンス 「発達概念」、「人間発達の特異性」、「発達段階と発達課題」について	山口雄介
2	発達心理学の理論①	人間の成長と成熟の過程、「学習理論」、「認知発達理論」、「社会的関係の中での発達理論」の観点	山口雄介
3	発達心理学の理論②	発達のプロセスと発達課題に関する「ライフサイクル論」と「ライフコース論」について	山口雄介
4	胎生期から新生児期まで	胎生期から新生児期までの発達 「個体発生のメカニズム」、「胎児への環境からの影響」「誕生と新生児の特徴」	山口雄介
5	乳児期の発達	乳児期の発達 「乳児期の特徴と身体発達」、「乳児期の認知的発達」、「対人関係の始まりと母子関係」について	山口雄介
6	幼児期の機能と発達	幼児期における基本的生活習慣の獲得 「知能」と「情動」と関連付けながら学習	山口雄介
7	幼児期の社会性	幼児期の社会性 「ことばの発達」や「親子関係から仲間関係」への対人関係の広がりに関連付けながら学習	山口雄介
8	児童期の発達	児童期における他者との関わりを通じた発達の様相 「身体的変化と成熟」、「学校生活の始まり」、「対人関係の発達」の観点から	山口雄介
9	乳児期から幼児期に生じる発達に関わる問題	乳児期から幼児期に生じる「発達障害」 発達障害に含まれる精神障害の分類や発達障害児への「合理的配慮」の実際について	山口雄介
10	青年期の発達	青年期の特徴と「自我同一性の獲得」について、青年期の「友人関係」「恋愛関係」	山口雄介
11	成人期の発達	青年期から成人期への移行に伴う「キャリア発達と社会生活」「キャリア発達理論」「家族の形成」	山口雄介
12	青年期以降のメンタルヘルスと精神保健	思春期・青年期の問題行動（「いじめと不登校」など）や精神病理 成人期の危機と職場のメンタルヘルス（「バーンアウト」など）	山口雄介
13	中年期の発達と危機	中年期の発達課題、「中年期のライフイベント」、そして「老い」の兆候が表れることによる心理過程	山口雄介
14	老年期の発達	老年期の発達に関して、「老いの特徴」、「老年期のパーソナリティと適応」、「老年期の不適応と障害」	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
発達心理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	「死」への対応、まとめ	「死に対する態度の発達」、「死の受容」、「残されたものの悲嘆」、「幸福な老いと最期」について 授業のまとめ	山口雄介

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
ジェンダー論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮崎 聖子					講義	

授 業 概 要

多様性に富むグローバルな文化・社会を理解する上でジェンダーは重要な視点の一つである。医療、健康、保健に関わる人材は、人間の生と性に関するジェンダーへの深い理解が求められる。ここでは文化・社会的なありようとしてのジェンダーがどのように構築されてきたか、具体的な歴史やトピックをとりあげながら、ジェンダーに関わる諸相を理解する。自己のジェンダー観に気づき理解を深め、人権問題、社会問題にも広く対処できるような素養を身に着けることを目的とする。

到 達 目 標

1. 人間の生と性の歴史や現状について知る
2. 人間の生と性の多様性について理解し、自らの専門性との関連について考えることができる。
3. 現代のジェンダーをめぐる課題を知り、それについての対応を考えることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
事後学修：当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
○ 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

評 価

授業中に提出する小レポート5割、レポート5割で評価する。

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

伊藤公男、牟田和恵編；ジェンダーで学ぶ社会学（全訂新版） 世界思想社 2015

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

授業の後、またはメールによる。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
ジェンダー論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
宮崎 聖子					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	ジェンダーとは	ガイダンス、ジェンダー研究の課題、性をめぐる概念、歴史について考える。	宮崎聖子
2	近代家族の歴史	近代家族の歴史について理解し、それが現代社会とどのように繋がっているか理解する。	宮崎聖子
3	多様な性と生	セクシャリティ、LGBT	宮崎聖子
4	ドメスティック・バイオレンス1	ジェンダーと暴力の現状について理解する。	宮崎聖子
5	ドメスティック・バイオレンス2	DV防止法	宮崎聖子
6	リプロダクティブ・ヘルス・ライツ	リプロダクティブ・ヘルス・ライツの概念、その歴史的経緯について考える。	宮崎聖子
7	グローバル化とジェンダー	グローバル化の中でどのようなジェンダーの問題が出現しているのか、アジアなどの具体的事例を通して考える。	宮崎聖子
8	まとめ	これまでの振り返りとレポートの提出。	宮崎聖子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
社会学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山下 亜紀子					講義	

授 業 概 要

社会学の理論と手法について体系的に学び、社会的なものの方や考え方を理解できるようになる。また集団、都市、農山村、家族、福祉の領域において展開されてきた概念や分析を検討し、社会的視点から現代社会の諸事情を読み解く力を身につける。さらに現代社会におけるさまざまな社会問題について検討し、社会学の見地から、これらの問題を理解し説明できる力を習得する。

到 達 目 標

1. 社会学の理論を説明できる。
2. 現代社会の人口変動がもたらす問題を説明できる。
3. 現代社会の福祉的課題や家族について説明できる。
4. 現代社会の課題や諸問題を説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

平常点（出席+受講態度）、課題提出状況、レポートにより総合的に評価する。
 出席は毎回とることとする。また欠席3回以上の者は、その後の受講資格を失うものとする。

教 科 書

山本努編；現代の社会的解読 新版—イントロダクション社会学— 学文社 2016年

参 考 図 書

講義中に提示する。

留 意 事 項

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

授業中。あるいはE-mail(yamashita.akiko.078@m.kyushu-u.ac.jp)にて連絡すること。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
山下 亜紀子					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	社会学とは	授業ガイダンス 社会学とは何かその概要	山下亜紀子
2	現代社会1	集団・組織—集団や組織の何が問題か、その視点・論点	山下亜紀子
3	現代社会2	家族—その普遍性・多様性・現代性—	山下亜紀子
4	現代社会3	都市—都市の見方、都市の姿	山下亜紀子
5	現代社会4	農山村—過疎化と高齢化の波	山下亜紀子
6	現代社会5	福祉—生活を支え合う社会—	山下亜紀子
7	現代社会6	社会問題・社会病理	山下亜紀子
8	社会学的方法論 まとめ	社会調査—方法を理解する，作品を味わう— ・ 授業まとめ	山下亜紀子

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
倫理学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
国越 道貴					講義	

授業概要

現代は科学技術と医療技術の進歩が人間の生存に関してさまざまな倫理的問題を提起している。これから人々の健康に関わる学生にとって、人間の存在そのものや、生きる意味など、状況によっては多くのジレンマにも遭遇することが考えられる。その状況をどのように捉え、考え、対応していけばいいのか。倫理学の理論、学説、方法の基本を学び、倫理的に困難な問題に突き当たったときに考え対処する力を養う。

到達目標

1. 倫理とは何か説明できる
2. 倫理判断の基準と根拠について説明できる
3. 倫理的観点から具体的な事例を通して判断し説明できる

事前学修・事後学修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP

評価

平常点（授業への積極的な参加）と学期末試験の結果によって評価する。

教科書

加藤尚武『現代倫理学入門』（講談社学術文庫）1997.

参考図書

適宜推薦する。

留意事項

とくになし。

オフィスアワー等

事前にメール等で連絡することが望ましい。

実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
倫理学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
国越 道貴					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	倫理学とは	授業ガイダンス なぜ倫理学を学ぶのか、倫理学の起源	国越道貴
2	倫理的判断の基準と根拠	事例を用いて善悪の判断と基準がどこにあるか	国越道貴
3	代表的な倫理理論1	代表的な倫理理論について具体的に考える、人格の倫理、義務論	国越道貴
4	代表的な倫理理論2	代表的な倫理理論について具体的に考える、功利主義	国越道貴
5	代表的な倫理理論3	代表的な倫理理論について具体的に考える、徳倫理学	国越道貴
6	代表的な倫理理論4	ケアの倫理について	国越道貴
7	正義について	正義（公正）についての考え方を学ぶ	国越道貴
8	まとめ	授業のまとめ	国越道貴

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
国際関係論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 健至					講義	

授 業 概 要

グローバル化が急速に進行している現在、世界各地で発生している問題は1国のみの問題ではなく、複数の国々や組織などの関係の上で成り立っている。他国や他地域で起きた様々な問題は、自分の身近なところに直結し生活に影響している。こうした状況を踏まえて、本科目では、国際関係論の理論的背景、歴史的経緯を理解し、紛争問題や貧困と格差など具体的な国際問題を検討することを通して、世界で起きている問題や日本の果たす役割について学修する。

到 達 目 標

1. 国際社会の仕組みや国際機関の役割を説明できる
2. 世界が抱える紛争問題について説明できる
3. 世界が抱える貧困と格差について説明できる
4. 国際的な人の移動について説明できる
5. 世界の抱える問題と日本が抱える問題の相互関連について説明できる
6. 問題解決の取組みにおける日本の役割について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の講義の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

期末レポート（80％）、出席などの平常点（20％）

教 科 書

毎回レジュメを配布します。

参 考 図 書

1. 佐渡友哲他編著『国際関係論 第3版』弘文堂
2. 藤原帰一他編著『平和構築・入門』有斐閣
3. 福田保編『アジアの国際関係』春風社
4. 坂本治也編『市民社会論』法律文化社

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
国際関係論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
山根 健至					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	国際関係論概要	授業ガイダンス 国際関係論とは、国際社会の成立、国際社会を形成するアクター	山根健至
2	国際機関とその役割	国際連合の組織と役割、その他の国際機関	山根健至
3	世界が抱える紛争問題	紛争多発地の状況・テロ（事件）の事例を通して	山根健至
4	世界が抱える貧困と格差	各国が抱える貧困と格差、日本の抱える貧困	山根健至
5	国際的な人の移動	国際労働力移動、移民、難民、日本の外国人労働者	山根健至
6	アジアの地域情勢	中国の台頭、米中の対立とアジア	山根健至
7	平和構築と日本の役割	紛争と平和構築、PKOの仕組みと活動状況、日本の取組み	山根健至
8	国際協力とODA	ODAの仕組みと日本の国際協力、授業のまとめ	山根健至

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
文化人類学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮崎 聖子					講義	

授 業 概 要

「国際化」や「グローバル化」が進む中、自文化と異文化の理解は私たちにとって必須なものとなっている。世界各国との交流が活発な現在、医療に関わる人材には、文化による考え方や価値、生活習慣の違いなど理解し対応する必要があり、特にその能力が必要とされている。文化人類学はそのための有力なツールである。本科目では、「文化とは何か」「人間とは何か」を、多様で具体的事象や理論を紹介しながら考えていく。それにより文化理解に必要な総合的な知識を学修し、今日の世界を洞察する力を身につける。

到 達 目 標

1. 文化の多様性を理解することで、他者理解の姿勢を持つことができる
2. 家族の捉え方の視点を説明できる
3. 病気や死の捉え方の普遍性と多様性を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

授業中に提出する小レポート5割、レポート5割で評価する。

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

波平恵美子編：文化人類学 カレッジ版 3版 医学書院 2011
 医療、看護に関連する文化人類学のテキストはたくさんあります。色々探してみてください。

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

授業の後、またはメールによる。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
文化人類学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
宮崎 聖子					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	文化と文化人類学	ガイダンス、文化人類学とは	宮崎聖子
2	家族と親族	諸文化における家族、親族のありようとその多様性について考える	宮崎聖子
3	人生と通過儀礼	諸文化における人生と通過儀礼理解し、医療との関わりについて考える	宮崎聖子
4	身体と病	諸文化における身体、病のあり方について理解する	宮崎聖子
5	死と葬送	諸文化における死や葬送のあり方について考える。	宮崎聖子
6	科学技術、宗教、医療	科学技術や宗教が医療とどのように関わるのか考える	宮崎聖子
7	グローバル化とフィールドワーク	グローバル化とフィールドワークの関連、現場で考えることの意味を考える	宮崎聖子
8	まとめ	まとめ、レポートの提出	宮崎聖子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
統計学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山下 貴範、奥井 佑					演習	

授 業 概 要

本科目は基礎的な話が中心となる。統計学は、1つ1つの基礎を積み上げながら自分の中でイメージを描き、理解をしていくことが大事である。特に、扱うデータの種類や性質などが分かっていないと、そこから先の統計学の理解が難しくなる。そのため、最初に医療データの種類や医療データ解析事例を説明する。そして前半は基礎となる特徴記述統計の理解を中心に解説する。後半の推測統計では標本の扱い、推定、検定の手法についての理解を中心に解説する。統計学は各分野での学修の基礎となる、今後の研究的思考に活かせるように学修する。

到 達 目 標

1. 医療データの種類、性質を理解できる
2. データを収集するための計画・立案ができる
3. データの種類を把握し、基本統計量を求めることができる
4. 統計検定の流れを把握し、正しく検定の判断ができる
5. 統計解析デザインの重要性を理解できる
6. 目的に沿った検定手法を用いることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

評 価

出席+試験結果出席

教 科 書

講師資料、基礎医学統計学改訂第7版

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア フ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山下 貴範、奥井 佑					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	概論 医療データの現状	医療データの種類、特徴	山下貴範
2	医療データ解析の目的	解析の目的（医療データ解析事例を元に）	山下貴範
3	医療データ解析の目的	統計分析の目的、基本的な用語、研究種類、解析方法の概要	山下貴範
4	記述統計1 1変量データの記述（代表値、散布度）	代表値（最頻値・中央値・平均値）、散布度（範囲・分位点、パーセンタイル、分散、標準偏差）	山下貴範
5	記述統計2 2変量データの記述	クロス表、散布図	山下貴範
6	記述統計3 2変量データの記述	2変量データの関連指標（カイ二乗値、クラメール関連指数、相関係数）	奥井 佑
7	推測統計1 確率・確率分布	確率、確率分布（離散型、連続型）	奥井 佑
8	記述統計のまとめ	記述統計および確率について、演習問題	奥井 佑
9	推測統計2 推定	母集団と標本、推定（点推定、区間推定）	奥井 佑
10	推測統計3 検定	検定（帰無仮説、対立仮説）、独立性の検定、ノンパラメトリック検定	奥井 佑
11	推測統計のまとめ	推測統計1-3について、演習問題	奥井 佑
12	推測統計4 解析手法	単変量解析～多変量解析	奥井 佑
13	統計デザイン	統計解析におけるデザインの重要性	奥井 佑
14	統計と機械学習	いままでの授業のまとめ、演習問題	奥井 佑

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山下 貴範、奥井 佑					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	統計と機械学習	機械学習手法の説明と統計手法の違い	奥井 佑

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Aleles Jonathan					演習	

授 業 概 要

“Medical English 2” is the first in a series of two courses intended for 1st year students in the Faculty of Health Sciences as part of their integrated English curriculum. Through the medium of English, students will integrate vocabulary building and recycling, reading & notetaking, controlled grammar practice, and short writing tasks via healthcare scenarios in a Japan-specific context.

到 達 目 標

- ・Understand longer (relative to spring semester), level-appropriate reading texts about healthcare scenarios and be able to understand the gist of each as well as important details.
- ・Achieve mastery of the medical vocabulary encountered in Medical English 1 and relative control of newly-introduced terms.
- ・Achieve complete mastery of basic- and intermediate-level English grammatical forms and constructions encountered in Medical English 1.
- ・Write grammatically correct paragraphs that synthesize concepts, grammar, and vocabulary in end-of-unit short writing assignments.

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

対 応 D P

評 価

Quizzes & tests	67%
Attendance	15%
Homework	18%

教 科 書

Vital Signs 2: Reading & Writing by Vivian Morooka & Terri Sugiura (Nan' un-do) (ISBN978-4-523-17755-5)

参 考 図 書

Additional materials may be made available online.

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

Contact information:

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
英 語 Ⅱ (医 療 文 献 読 解)	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1単 位	30時 間	必 修	1年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
Aleles Jonathan					演 習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	Introduction / Unit 2		Aleles Jonathan
2	Unit 3		Aleles Jonathan
3	Unit 4		Aleles Jonathan
4	Review		Aleles Jonathan
5	Test 1		Aleles Jonathan
6	Unit 5		Aleles Jonathan
7	Unit 6		Aleles Jonathan
8	Unit 7		Aleles Jonathan
9	Review		Aleles Jonathan
10	Test 2		Aleles Jonathan
11	Unit 9		Aleles Jonathan
12	Unit 11		Aleles Jonathan
13	Unit 12		Aleles Jonathan
14	Review		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Aleles Jonathan					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	Test 3		Aleles Jonathan

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 裕之、福田 潤					演習	

授 業 概 要

学生の健康管理の一環ともなるよう、様々なスポーツを経験することで体を動かし健康づくりについて考えるとともに、お互いに協力してコミュニケーション力を向上させ、生涯スポーツに取り組めるように学ぶ。スポーツ実践の際はその競技のルールに従うことや、チームで行う場合は協力し、ともに仲間の力を信じてお互いの能力を最大限に発揮できるように臨むことが必要となる。各スポーツの実践を通して協調性や、目標を共有し協力しあう楽しさも学修する。

到 達 目 標

1. スポーツの健康に対する意義について説明できる
2. 運動を通してチームと協力して目的を達成できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについてゲームのルール等調べて授業に臨む
事後学修：当日の該当テーマについて振り返りや自主的に練習する

対 応 D P

- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の応用的動作能力または社会適応能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

評 価

出席2/3以上が基本

教 科 書

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日10時～12時

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
小西 裕之、福田 潤					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	レクリエーション運動の歴史	授業ガイダンス レクリエーション（自己紹介を兼ねる）	小西裕之
2	スポーツ実技1	バレーボール・バスケットボール 1	小西裕之
3	スポーツ実技2	バレーボール・バスケットボール 2	小西裕之
4	スポーツ実技3	バレーボール・バスケットボール 3	小西裕之
5	スポーツ実技4	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 1	小西裕之
6	スポーツ実技5	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 2	小西裕之
7	スポーツ実技6	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 3	小西裕之
8	スポーツ実技7	バレーボール・ドッチボール 1	小西裕之
9	スポーツ実技8	バレーボール・ドッチボール 2	小西裕之
10	スポーツ実技9	ドッチボール・バドミントン 1	小西裕之
11	スポーツ実技10	ドッチボール・バドミントン 2	小西裕之
12	スポーツ実技11	ドッチボール・バドミントン 3	小西裕之
13	スポーツ実技12	ドッチボール・バドミントン 4	小西裕之
14	スポーツ実技13	ドッチボール・バドミントン 5	小西裕之

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 裕之、福田 潤					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	スポーツと健康 まとめ	スポーツの健康に対する意義、まとめ	小西裕之

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学Ⅱ（呼吸器系、循環器系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
王 克 鏞					講義	

授 業 概 要

人体を構成する器官・系統のうち、植物性機能に関係の深い循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系の基本的な構造について学ぶ。また、理学療法と関わりの深い各系の代表的な障害（疾患）の概要を学び、解剖学とリハビリテーションの関連について理解する。

到 達 目 標

1. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系に属する各器管の名称や解剖学的区分、特徴を説明することができる
2. 理学療法を行うにあたり解剖学を学ぶ意義について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当箇所を読んでおく
事後学修：授業内容を復習し、整理する

対 応 D P

評 価

定期試験（100％）

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版（野村 嶺 編 医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア フ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学Ⅱ（呼吸器系、循環器系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
王 克 鏞					講 義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	内臓器官の基本構造	王 克 鏞
2	循環器系	心臓の構造、循環系の分類、動脈系と静脈系、胎生期の循環系①	王 克 鏞
3	循環器系	心臓の構造、循環系の分類、動脈系と静脈系、胎生期の循環系②	王 克 鏞
4	循環器系	リンパ系の構造（毛細リンパ管、リンパ管、リンパ節、リンパ本幹、リンパ性器管）	王 克 鏞
5	呼吸器系	外鼻・鼻腔・副鼻腔の構造、咽頭と喉頭の構造	王 克 鏞
6	呼吸器系	気管と気管枝の構造、肺の構造、胸膜と縦隔の構造①	王 克 鏞
7	呼吸器系	気管と気管枝の構造、肺の構造、胸膜と縦隔の構造②	王 克 鏞
8	消化器系	口腔・咽頭・食道の構造	王 克 鏞
9	消化器系	胃・小腸・大腸の構造	王 克 鏞
10	消化器系	肝臓・胆嚢・膵臓・腹膜の構造	王 克 鏞
11	泌尿生殖器	泌尿器系（腎臓・尿管・膀胱・尿道）の構造	王 克 鏞
12	泌尿生殖器	生殖器（男性生殖器・女性生殖器）の構造	王 克 鏞
13	内分泌系	ホルモン、下垂体・松果体・甲状腺・上皮小体の構造	王 克 鏞
14	内分泌系	副腎・膵島・視床下部の構造	王 克 鏞

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学Ⅱ（呼吸器系、循環器系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
王 克 鏞					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	内分泌系	心臓・胸腺の構造	王 克 鏞

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学Ⅱ（植物性機能）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中川 和憲					講義	

授 業 概 要

人体を構成する器官・組織のうち、植物性機能に関係が深い循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系の基本的な生理機能について学ぶ。また、理学療法と関わりが深い各系の代表的な障害（疾患）の概要を学び、生理学とリハビリテーションの関連について理解する。

到 達 目 標

1. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系に属する各器管の名称について説明することができる
2. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系に属する各器管の生理機能について説明することができる
3. 理学療法を行うにあたり生理学を学ぶ意義について理解し、説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通し、理解を深めておくと同時に、難解な箇所を明確にして講義にのぞむこと。
事後学修：教科書と配布資料による復習を行ない、関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認を行うこと。

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）
最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。
評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

学習の理解度は、次回授業にて指名して確認する場合もあるので、スライドや資料で<ポイント>とした項目、キーワードについては、自己の言葉で論述できるようまとめておくこと。

オ フィ ス ア ワ ー 等

オフィスアワー：講義日昼休み。これ以外の時間帯を希望する場合は、メールにて事前連絡の上訪ねること。
連絡先メール：Moodleメッセージ機能にて連絡可能です。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学Ⅱ（植物性機能）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	血液 1	血液の組成と機能、赤血球、白血球、生体防御機構	中川 和憲
2	血液 2	血小板、凝固系、血漿、血液型	中川 和憲
3	心臓と循環 1	血液の循環、心臓の興奮と刺激伝導系、心電図、血液の拍出と血圧、心周期	中川 和憲
4	心臓と循環 2	心機能曲線、血圧の調節、微小循環と物質交換、静脈還流、臓器循環、リンパ循環	中川 和憲
5	呼吸とガスの運搬 1	外呼吸と内呼吸、気道と肺胞、呼吸運動、呼吸気量	中川 和憲
6	呼吸とガスの運搬 2	ガス交換とガスの運搬、呼吸の調節、病的呼吸	中川 和憲
7	消化と吸収 1	口腔内消化、食物輸送、胃・十二指腸の機能	中川 和憲
8	消化と吸収 2	空腸・回腸・大腸・肝臓の機能	中川 和憲
9	尿の生成と排泄 1	腎臓の機能、尿の生成、クリアランス、糸球体濾過量	中川 和憲
10	尿の生成と排泄 2・酸塩基平衡	腎血漿流量、排尿の機能、血漿の酸塩基平衡、水の出納、脱水	中川 和憲
11	内分泌 1	内分泌機能とホルモン	中川 和憲
12	内分泌 2	ホルモンの作用	中川 和憲
13	生殖と発生・成長と老化 1	男性生殖機能・女性生殖機能、受精・着床・胎児の発生①	中川 和憲
14	生殖と発生・成長と老化 2	男性生殖機能・女性生殖機能、受精・着床・胎児の発生②	中川 和憲

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学Ⅱ（植物性機能）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	代謝と体温	エネルギー代謝と体温	中川 和憲

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
江口 喜久雄					実習	実習

授 業 概 要

生体機能とその発現メカニズムについて学ぶことを目的に、各種機器を用いた実習を行う。また、実習により得られた結果（客観的データ）を正しく記録するとともに、グループディスカッションを通して考察を深め、その内容を発表する。

到 達 目 標

1. 生体に生じる現象を各種機器により定量することができる
2. 定量された結果を記録するとともに、そのメカニズムについて考察することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に表示された課題について個人学修しておくこと
 事後学修：実習およびグループ学修で学んだことをまとめ、記録する

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

課題発表（50%）、レポート課題（50%）

教 科 書

1. 配布資料

参 考 図 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版（医学書院）
2. 生理学 I・II で使用した配布資料

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火・木曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
江口 喜久雄					実習	実習

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション	各種機器を用いた実習の目的と方法	江口喜久雄 太田研吾
2	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
3	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
4	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
5	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
6	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
7	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
8	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、神経伝導速度、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
9	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
10	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
11	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
12	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
13	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
14	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
江口 喜久雄					実習	実習

回数	単元	内容	担当教員
15	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
16	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
17	各種機器を用いた計測	1) 神経筋機能 (筋電図、脳波) 2) 感覚機能 (皮膚の空間閾値、手指の触覚・圧覚・痛覚の分布、深部感覚、色覚) 3) 呼吸機能 (肺活量、%肺活量、1秒率、呼吸音) 4) 循環機能 (心電図、脈拍、血圧)	江口喜久雄 太田研吾
18	実習レポートの作成	1) ~4) の計測結果を記録としてまとめ、結果の考察 (グループディスカッション)	江口喜久雄 太田研吾
19	実習レポートの作成	1) ~4) の計測結果を記録としてまとめ、結果の考察 (グループディスカッション)	江口喜久雄 太田研吾
20	実習レポートの作成	1) ~4) の計測結果を記録としてまとめ、結果の考察 (グループディスカッション)	江口喜久雄 太田研吾
21	実習結果の発表	実習結果の発表	江口喜久雄 太田研吾
22	実習結果の発表	実習結果の発表	江口喜久雄 太田研吾
23	実習結果の発表	実習結果の発表	江口喜久雄 太田研吾

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
病理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
鬼丸 満穂					講義	

授 業 概 要

疾病の原因や生体への影響について理解を深めるために、病因や細胞の傷害に伴う生体反応（炎症・免疫・循環障害等）の基礎を学ぶとともに、遺伝・感染・環境・栄養・腫瘍・生活習慣などに起因する生体反応について学ぶ。また、代表的な疾病の進行と病理形態学的な変化に関する知識を通して、疾病の原因とその成り立ちについて理解を深める。

到 達 目 標

1. 病因の分類と老化に伴う形態的变化について説明することができる
2. 細胞・組織の形態と機能および炎症の概要について説明することができる
3. 各臓器の代表的な疾病と、その病理形態学の概要について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し理解を深めておくと同時に、難解な箇所を明確にして授業に臨むこと
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深く関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認に努めること

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）
 最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。
 評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

教 科 書

1. はじめの一步の病理学 第2版（羊土社）
2. 配布資料

参 考 図 書

医学書院 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①

留 意 事 項

学習の理解度は、次回授業にて指名して確認する場合もあるので、スライドや資料で<ポイント>とした項目、キーワードについては、自己の言葉で論述できるようまとめておくこと。

オ フィ ス ア ワ ー 等

オフィスアワー：講義日昼休み。これ以外の時間帯を希望する場合は、メールにて事前連絡の上訪ねること。
 連絡先メール：配布資料に記載

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
鬼丸 満穂					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	病理学とは 細胞障害と再生1	病気の発生病因の内因と外因 適応と傷害、変性と細胞死、酸化ストレス、生体内色素、鉄代謝と赤血球、萎縮・肥大・化性、細胞・組織の形成 教科書14ページ～40ページ	鬼丸 満穂
2	細胞傷害と再生2	適応と傷害、変性と細胞死、酸化ストレス、生体内色素、鉄代謝と赤血球、萎縮・肥大・化性、細胞・組織の形成 教科書25ページ～40ページ	鬼丸 満穂
3	循環障害1	浮腫、充血・うっ血、出血、血栓・血栓症、塞栓・梗塞、ショック 教科書83ページ～97ページ	鬼丸 満穂
4	循環障害2	浮腫、充血・うっ血、出血、血栓・血栓症、塞栓・梗塞、ショック 教科書83ページ～97ページ 炎症の概念・原因・反応、炎症の分類、炎症の形態像	鬼丸 満穂
5	炎症1	炎症の概念・原因・反応、炎症の分類、炎症の形態像 教科書41ページ～59ページ	鬼丸 満穂
6	炎症2	炎症の概念・原因・反応、炎症の分類、炎症の形態像 教科書41ページ～59ページ	鬼丸 満穂
7	免疫1	免疫系の概要、アレルギー、自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全 教科書60ページ～82ページ メンデルの法則、先天異常	鬼丸 満穂
8	免疫2	免疫系の概要、アレルギー、自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全 教科書60ページ～82ページ	鬼丸 満穂
9	感染症1	感染症の概要、感染症の病原体・治療・予防 教科書111ページ～131ページ	鬼丸 満穂
10	感染症2	感染症の概要、感染症の病原体・治療・予防 教科書111ページ～131ページ	鬼丸 満穂
11	環境因子・栄養	化学因子・物理的因子・生物学的因子による疾病、栄養欠乏・過多による疾病 教科書132ページ～144ページ	鬼丸 満穂
12	腫瘍1	腫瘍の名称・形態的特徴・分類・種類、腫瘍の増殖 教科書145ページ～166ページ	鬼丸 満穂
13	腫瘍2	腫瘍に起因する病態、悪性度と病期、腫瘍の原因と発生メカニズム、腫瘍と臨床病理学 教科書145ページ～166ページ	鬼丸 満穂
14	先天異常・遺伝性疾患	メンデルの法則・先天異常の種類 教科書98ページ～110ページ	鬼丸 満穂

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
鬼丸 満穂					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	代表的疾患の病態	代表的な臓器疾患の病態概要	鬼丸 満穂

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学 I (総論、上肢)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦					演習	

授 業 概 要

作業療法で接することの多い運動機能障害の問題を解決するために、人の随意運動のメカニズムについて学修する。上肢、下肢、頭・頸部、体幹における各関節の構造と機能を解説した後、運動の力源である各筋の作用、さらに筋収縮時における腱、靭帯との関連性を疾患・障害を交えながら学修する。また、正常歩行と異常歩行、方向舵としての肩、伸縮装置としての肘、効果器としての手について作業療法の視点から学修する。本授業科目は豊富な臨床経験をもつ作業療法士が担当する。

到 達 目 標

1. 身体の構造（骨・関節・靭帯・筋・神経）と身体の姿勢保持・運動との関係が理解できる
2. 上肢の骨・関節・靭帯・筋の構造と実際の運動との関わりが理解できる
3. 脊柱・胸郭の構造と運動との関わり合いが理解できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：単元に該当する教科書を読み、わからない単語を調べる
 事後学修：配布資料の確認、専門用語の調べ学修をする

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の応用的動作能力または社会適応能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

評 価

筆記試験（70%）・小テスト（20%）・授業態度など（10%）を総合して評価する

教 科 書

筋骨格系のキネシオロジー 原著第2版 嶋田智明 編集 医歯薬出版株式会社

参 考 図 書

基礎運動学・身体運動学 関節の制御機構と筋機能 市橋則明 編集 Medical view社

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

木曜日 16時～18時

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学 I (総論、上肢)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論：運動学の基礎知識①	身体運動の基礎； 運動学とは、並進と回転、力の合成と分解、関節モーメントなど	近藤 昭彦
2	運動学の基礎知識②	関節構造と機能； 関節の基本構造、関節の分類、関節運動、靭帯の構造と機能など	近藤 昭彦
3	運動学の基礎知識③	筋の構造と機能； 骨格筋の基本構造、骨格筋の収縮の仕組み、骨格筋の種類、関節トルクなど	近藤 昭彦
4	各論：肩関節の運動学①	肩関節の骨構造・関節構造	近藤 昭彦
5	肩関節の運動学②	肩関節の受動的制御； 関節構造・関節包・靭帯による運動制御と肩関節能動的制御； 肩甲帯の筋	近藤 昭彦
6	肩関節の運動学③	肩関節の能動的制御； 肩甲上腕関節の筋による運動制御、肩関節周囲筋の筋断面積など	近藤 昭彦
7	肩関節の運動学④	肩関節の機能障害と運動学	近藤 昭彦
8	各論：肘関節の運動学①	肘関節の骨構造、肘関節の関節構造、肘関節の受動的制御（関節構造・関節包・靭帯による運動制御）	近藤 昭彦
9	肘関節の運動学②	肘関節の能動的制御と肘関節の機能障害と運動学	近藤 昭彦
10	各論：手関節の運動学①	手関節の骨構造、関節構造、受動的制御（関節構造・関節包・靭帯による運動制御）	近藤 昭彦
11	手関節の運動学②	手関節の能動的制御、手関節の機能障害と運動学	近藤 昭彦
12	各論：指関節の運動学①	指関節の骨構造、関節構造、受動的制御（関節構造・関節包・靭帯による運動制御）	近藤 昭彦
13	指関節の運動学②	指関節の能動的制御、指関節の機能障害と運動学	近藤 昭彦
14	各論：脊柱の運動学①	脊柱・胸郭の骨構造、関節構造	近藤 昭彦

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学 I (総論、上肢)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	脊柱の運動学②	脊柱の能動的制御と脊柱の機能障害と運動学	近藤 昭彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
公衆衛生学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
二宮 利治					講義	

授 業 概 要

医学・医療を通して疾病予防や健康増進を図るために必要な公衆衛生学の基礎知識について学ぶとともに、代表的な保健活動（環境保健・母子保健・学校保健・産業保健・高齢者保健・精神保健・国際保健）の概要を理解し、個人または社会における保健医療福祉を多面的視点で捉える。

到 達 目 標

1. 公衆衛生の理解に必要な基礎知識について説明することができる
2. 様々な対象の保健概要について説明することができる
3. 保健医療制度の概要について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

定期試験（100%）

教 科 書

配布資料

参 考 図 書

シンプル衛生公衆衛生学（南江堂）

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
公衆衛生学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
二宮 利治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論、公衆衛生活動のプロセス	公衆衛生と医療の歴史、公衆衛生活動、生命倫理と保健医療福祉の倫理 地域保健活動、保健医療行政の概要、保健所の役割	二宮
2	総論、公衆衛生活動のプロセス	公衆衛生と医療の歴史、公衆衛生活動、生命倫理と保健医療福祉の倫理 地域保健活動、保健医療行政の概要、保健所の役割	二宮
3	疫学	疫学調査の概要、疾病の分類、疾病量の把握、疫学の方法、スクリーニング	二宮
4	疫学	疫学調査の概要、疾病の分類、疾病量の把握、疫学の方法、スクリーニング	二宮
5	保健統計	健康の測定と健康指標、人口統計	石田
6	成人保健	疾病リスクと予防医学、健康管理と健康増進、健康日本21	石田
7	高齢者保健	高齢者の生活・健康・保健・医療、認知症と対策、介護保険と地域包括ケアシステム	二宮
8	感染症	感染経路、感染症予防	二宮
9	障害者保健	国際生活機能分類、障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法、障害者雇用促進法	石田
10	障害者保健	国際生活機能分類、障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法、障害者雇用促進法	石田
11	母子保健・学校保健	母子保健の水準と課題、母子保健活動と行政、子どもの健康、学校保健の概要、学校環境管理、学校保健教育	木村
12	国民栄養・食品衛生	国民栄養の現状、食事摂取基準、国民健康・栄養調査、食生活指針・食事バランスガイド、食育、栄養障害	木村
13	産業保健	労働者の健康、労働災害と事故、職業病、健康診断と健康増進、労働時間と余暇	吉田
14	環境保健	環境の把握と評価、物理的環境、化学的環境、生物的環境、大気汚染、水質汚濁、廃棄物、衣食住の衛生、公害	吉田

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
公衆衛生学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
二宮 利治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	試験	二宮

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
リハビリテーション医学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
稲川 利光					演習	

授 業 概 要

リハビリテーション医学・医療は多くの診療科に関係する疾患と障害を対象とするため、近年の高齢化に伴う疾病構造の変化（複合疾患等）を理解するとともに、代表的な疾患や障害（脳血管障害・頭部外傷・運動器疾患・脊髄損傷・神経筋疾患・切断・小児疾患・循環器疾患・呼吸器疾患・腎疾患・内分泌代謝性疾患・摂食嚥下障害・がん・その他）に対するリハビリテーション医療の概要について学ぶ。

到 達 目 標

1. リハビリテーション医学・医療の意義について理解する
2. 代表的な疾患に対するリハビリテーション医療の流れについて概説することができる
3. 障害や病期（急性期・回復期・維持期）に応じたリハビリテーションの重要性について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）

教 科 書

1. リハビリテーションビジュアルブック（学研メディカル秀潤社）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション医学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
稲川 利光					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論：リハビリテーションの理解	リハビリテーション医学・医療の概念、意義、現状、歴史、ICFに基づく考え方 活動・参加（復職・就労支援・障がい者スポーツ）	稲川 利光
2	診断と治療	各種検査（X線・エコー・CT・MRI・心電図など）と診断 リハビリテーション治療の概要（解剖・整理・運動・精神）	稲川 利光
3	脳血管障害・頭部外傷	脳卒中総論（脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血）、脳卒中へのアプローチ（急性期・回復期・生活期） 脳神経系の解剖と生理、高次脳機能障害など、水頭症	稲川 利光 作業療法士 甲斐 慎介
4	神経筋疾患	ALS、SCD、多発性硬化症、ギランバレー症候群、パーキンソン病、パーキンソニズム、などの病態・障害・リハビリの実際	稲川 利光 理学療法士 池田 健介
5	運動器疾患	上肢・下肢・脊柱の疾患と外傷（骨折・靭帯損傷・腱生障害・鍵盤断裂・半月板損傷・アキレス腱断裂・変形性関節症・椎間板ヘルニア・腰椎分離症と滑り症・関節リウマチ・末梢神経損傷・肩関節周囲炎脊柱管狭窄症）外傷性脊髄損傷、馬尾損傷	稲川 利光 理学療法士 東房 佑樹
6	脊髄損傷	疾患概要・障害像・アプローチの概要（急性期・回復期） リスク管理・復職・就労・社会参加	稲川 利光 理学療法士 松尾 幸徳
7	切断・小児疾患	上肢切断・下肢切断 脳性麻痺・筋ジストロフィー、二分脊椎、発達障害	稲川 利光 理学療法士 押条 未希
8	呼吸器疾患・循環器疾患	呼吸器の解剖と生理、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎 循環器の解剖と生理、虚血性心疾患、心不全、下肢閉塞性動脈疾患 開心術後（大動脈解離・心臓弁膜症）	稲川 利光 理学療法士 門脇 敬
9	内分泌代謝性疾患 腎疾患	糖尿病、肥満症、メタボリックシンドローム 腎臓の解剖と生理、腎不全	稲川 利光 理学療法士 矢坂 望
10	摂食嚥下障害 排泄管理	摂食嚥下の解剖と生理、嚥下障害の評価 摂食嚥下障害に対するリハビリテーション診療ジショニング 排泄管理（ポジショニング・環境改善）	稲川 利光 言語聴覚士 橋本 由貴
11	がん 廃用症候群	がんに対するリハビリテーション医療の意義と実際（各種のがんの特徴リスク管理） 廃用症候群の特徴と障害像・フレイル・サルコペニア・NST活動	稲川 利光 作業療法士 福永 梨香
12	スポーツ障害・外傷	スポーツ障害・外傷に対するリハビリテーション医療の意義と実際 障害予防	稲川 利光 理学療法士 渡口 龍太
13	骨粗鬆症・栄養・その他	骨粗鬆症に対するリハビリテーション医療の意義と実際 疾病予防・運動・栄養管理、転倒予防、その他	稲川 利光 作業療法士 谷岡 亮平
14	在宅支援・社会貢献 社会参加・復職就労支援	在宅復帰・環境設定（家屋評価・家屋改造） 障害者スポーツ、大規模災害リハビリテーション支援	稲川 利光 理学療法士 上田 厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション医学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
稲川 利光					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	リハビリテーションの展開 (先進医療とリハビリ)	ロボット、再生医療、BMI、電気刺激療法、痙縮治療、障害者の自動車運転	稲川 利光 理学療法士 根津 貴敏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
栄 養 学	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1単 位	15時 間	必 修	1年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
岩 本 昌 子					講 義	講 義

授 業 概 要

栄養素の種類と化学的性質、生理的機能、消化吸収、栄養素間の代謝における相互作用、栄養素を供給する食品について学ぶことにより、健康を維持増進し、疾病を予防するために適切な栄養摂取について理解する。また、リハビリテーション医療における栄養の重要性について理解する。

到 達 目 標

1. 栄養の意義や各栄養素の働きについて概説できる
2. 健康の保持・増進、疾病の予防における栄養の役割について理解する
3. リハビリテーション医療における栄養の重要性について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：当日テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- ◎ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

定期試験（80%）及び課題等（20%）

教 科 書

栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第4版（羊土社）

参 考 図 書

授業時に提示
 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能③ 医学書院

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
栄 養 学	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1 単 位	15 時 間	必 修	1 年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
岩 本 昌 子					講 義	講 義

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	オリエンテーション 総論	栄養の定義、栄養と健康・疾患、 食欲と満腹感・空腹感、食事のリズムとタイミング	岩本 昌子
2	消化・吸収と栄養素の体内 動態	消化・吸収と栄養、消化過程、 栄養素別の消化・吸収、栄養素の体内動態	岩本 昌子
3	炭水化物の栄養	炭水化物の概要、糖質の分類、 エネルギー源としての作用、血糖、体内代謝	岩本 昌子
4	脂質の栄養	脂質の概要、脂質の臓器間輸送と体内代謝、 貯蔵エネルギー作用、生理活性物質	岩本 昌子
5	たんぱく質の栄養	たんぱく質の概要、たんぱく質の合成と分解、 体内代謝、アミノ酸の臓器間輸送	岩本 昌子
6	ビタミンの栄養	ビタミンの概要、ビタミンの栄養学的機能、 ビタミンの生物学的利用度	岩本 昌子
7	ミネラルの栄養	ミネラルの概要、硬組織におけるはたらき、 生体機能の調節機構、酵素反応の賦活作用	岩本 昌子
8	水・電解質の栄養的意義	水の出納、脱水、浮腫、電解質代謝と栄養	岩本 昌子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小林 英幸					講義	

授 業 概 要

人体の構造と機能の講義と関連させながら、薬物がどのように人体に作用し吸収されるのか学ぶ。さらに具体的な個々の薬物について、その使用目的、作用、副作用、禁忌について学ぶ。

到 達 目 標

1. 人体(各器官)のしくみとそれに関連する薬物の種類について説明できる。
2. 薬の作用機序・薬理作用・有害作用についての知識を活用することができる。
3. リハビリテーション業務に必要な薬の作用・副作用等の知識について説明できる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義内容に関連する項目を予習して授業に臨む。
事後学修：講義資料を参照して復習・まとめをする。

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

筆記試験、授業態度及び出席状況等により総合的に判定する。100点中60点以上が合格

教 科 書

内山靖他【編】リハビリテーション薬理学・臨床薬理学 第1版 医歯薬出版 2021
講義資料を配付する

参 考 図 書

吉岡充弘他【著】系統看護学講座 専門基礎分野 『疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学』 第15版 医学書院2023

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問は随時受け付けます。口頭、メール等で質問して下さい。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小林 英幸					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	薬理学総論 1	薬理学を学ぶにあたって、薬が作用するしくみ	小林 英幸
2	薬理学総論 2	薬の体内挙動、薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性	小林 英幸
3	感染・炎症	感染と炎症の病態、抗炎症薬	小林 英幸
4	神経疾患	神経疾患の発生机序と薬物療法	小林 英幸
5	精神疾患	精神疾患の発生机序と薬物療法	小林 英幸
6	循環器系疾患	循環器系疾患の発生机序と薬物療法	小林 英幸
7	疼痛の制御と薬物療法	疼痛の発生机序と鎮痛薬	小林 英幸
8	頻用される薬物	代謝性疾患治療薬、血液凝固抑制薬、睡眠薬	小林 英幸

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
専門職連携教育 I (専門職連携の基礎)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子、玉利 誠、松本 典久、中山 広宣、江口 喜久雄					演習	

授 業 概 要

保健・医療・福祉の統合が進む社会状況にあつて、その場で働く職種には各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人的支援を行うには、関連職種連携が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性やチーム医療やチームケアについて学び、関連職種との協働に必要なコミュニケーション能力を身につけられるようにする。本科目では、専門職連携についての基本的な考え方を学ぶ。

到 達 目 標

1. チーム医療・チームケアの必要性や意義を説明できる
2. チームビルディングの理論と実際について説明できる
3. 各医療専門職の種類と機能について説明できる
4. 事例を通して、チーム形成について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の応用的動作能力または社会適応能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

評 価

課題レポート(100%)

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育 I (専門職連携の基礎)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子、玉利 誠、松本 典久、中山 広宣、江口 喜久雄					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	専門職連携に求められる心構え	専門職連携協働推進への誓いのつどい (別紙)	白石
2	専門職連携に求められる心構え	専門職連携協働推進への誓いのつどい (別紙)	白石
3	オリエンテーション IPEの基礎	<ul style="list-style-type: none"> なぜ関連職種連携教育を学ばなければならないか? 保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携 IPE展開のための基礎知識 	白石
4	国際疾病分類の理念	<ul style="list-style-type: none"> 専門職種間連携教育 (IPE) の展開のための基礎知識 1 国際疾病分類 (WHO ICF) の理念 	白石
5	チーム医療とチームビルディング	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療のあり方 チームビルディングの理論と実際 	白石
6	専門職連携に求められるコンピテンシー	<ul style="list-style-type: none"> なぜ専門職連携が必要なのか 専門職連携教育の重要性 専門職連携の定義 ・ 専門職連携の利点 他 	白石
7	リーダーシップ、メンバーシップ	リーダーシップ、メンバーシップ(講義) 8回以降の事前学習について説明	竹元
8	医療専門職の機能と連携 ①看護師：宮里邦子 助産師：寺岡祥子 保健師：猪狩明日香	(事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 看護師・助産師・保健師の体験 (教育制度、機能・役割 事例など) (講義)	池田 寺岡 竹元 玉利 中山 江口 松本
9	医療専門職の機能と連携 ②理学療法士 玉利誠 作業療法士 谷川良博	(事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 理学療法士、作業療法士の体験 (教育制度、機能・役割 事例など) (講義)	中山 竹元 池田 寺岡 中山 江口 松本
10	医療専門職の機能と連携 ③福岡和白病院 言語聴覚士	(事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 言語聴覚士の体験 (教育制度、機能・役割、事例等) (講義)	ST/玉利 竹元 池田 寺岡 玉利 江口 松本
11	医療専門職の機能と連携 ④福岡和白病院 薬局長薬剤師	(事前学習：薬剤師の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 薬剤師の体験 (教育制度、機能・役割、事例等) (講義)	薬剤師/江口 竹元 池田 寺岡 玉利 中山 松本
12	医療専門職の機能と連携 ⑤福岡和白病院看護部 管理栄養士	(事前学習：栄養士の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 管理栄養士の体験 (教育制度、機能・役割、事例等) (講義)	管理栄養士/池田 竹元 寺岡 玉利 中山 江口 松本
13	医療専門職と福祉専門職の連携 福岡和白病院入退院支援室 ソーシャルワーカー	(事前学習：ソーシャルワーカーの教育制度、機能・役割について調べる) <ul style="list-style-type: none"> 医療と福祉の専門職に関する知識 (種類、法・制度) 医療と福祉の接点 (連携) (講義) 	/寺岡 池田 竹元 玉利 中山 江口 松本
14	グループのまとめ	専門職について調べたことや体験談をきいて、実際との違い、新たに発見したことについてグループでまとめ、次週の発表の準備をする (GW)	白石 竹元 池田 寺岡 玉利 中山 江口 松本

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育 I (専門職連携の基礎)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子、玉利 誠、松本 典久、中山 広宣、江口 喜久雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	グループ発表 総括	グループのまとめを発表する (GW) 発表 : 5分/1G×15G(75分) 総括 : 15分	白石 竹元 池田 寺岡 玉利 中山 江口 松本

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業科学	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 伸吾					講義	

授 業 概 要

作業療法の基盤となる「作業」について研究する学問として作業科学が登場した。「人は作業をすることで健康になれる」は作業療法の信念である。「作業」の魅力や「作業ができるようになること」の意義を理解するために必要な知識を学修する。学修者自らの作業の歴史を振り返り、作業が人間の発達や環境に与える影響について学修し、さらに「作業」についてより深く学修するために、作業の広がりや深さや主観的意味、作業による成長と回復、作業による社会的課題の解決について学修する。本授業科目は豊富な臨床経験をもつ作業療法士が担当する。

到 達 目 標

1. 作業の概念について説明できる
2. 自身の作業の特性について説明できる
3. doing、being、becoming、belongingについて説明できる
4. 作業的不公正について説明できる
5. 作業を通して貢献できる社会的課題を挙げることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：配布資料や、該当する教科書のページを30分程度熟読すること
 事後学修：講義内容を踏まえて、教科書を30分程度読みなおし、理解を深めること

対 応 D P

◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

課題（100%）

教 科 書

吉川ひろみ 「作業」って何だろう 医歯薬出版 2017

参 考 図 書

佐藤剛・監訳 作業科学 三輪書店 1999

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業科学	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 伸吾					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	作業科学とは	作業科学の概要について講義する	山根 伸吾
2	作業科学の誕生（1）：作業の力について	作業のもつ力について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
3	作業科学の誕生（2）：正式な学問としての作業科学，作業科学の学問的性質	学問としての作業科学について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
4	作業科学の誕生（3）：作業の定義	作業の定義について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
5	作業の意味（1）：引き起こされる感情，世界とのつながり，自分らしさ	作業の意味について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
6	作業の意味（2）：生活の構造化，健康との関連性	作業の意味について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
7	作業の意味（3）：社会的意味，作業の類型化	作業の意味について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
8	自身と他者の作業について考える	事前学修をもとに、ディスカッションを行う	山根 伸吾
9	作業科学の諸概念（1）：作業の視点	作業の視点について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
10	作業科学の諸概念（2）：作業的存在	作業的存在について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
11	作業科学の諸概念（3）：作業的公正，作業科学に必要な視点	作業的公正について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
12	作業科学と作業療法(1)：作業療法を取り巻く状況の変化，発展，作業療法における作業科学の応用	作業科学と作業療法の関連について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
13	作業科学と作業療法（2）：作業中心の実践の普及	作業科学と作業療法の関連について講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾
14	作業科学の夢（健康と幸福の実現，理想社会の創造）	作業科学が貢献できることについて講義し、ディスカッションを行う	山根 伸吾

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業科学	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山根 伸吾					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	「作業科学」の文献を読む	事前学修で読んできた文献をもとに、ディスカッションを行う	山根 伸吾

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業学実習Ⅱ（レクリエーション・作業分析）	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
江口 喜久雄、吉田 和弘、太田 研吾					実習	実習

授 業 概 要

作業療法士では集団レクリエーションを企画する機会が多くある。年齢や障害を考慮しながらレクリエーションを企画する上で必要な技術を学ぶ。レクリエーションの意義からその目的、計画、実施についてその知識と技術について学ぶ。ゲーム、ソング、ダンス、スポーツ、観劇などさまざまなレクリエーションの実技を通して、グループダイナミクスや始動のポイント、サポーターの役割、注意事項について学修する。

到 達 目 標

1. レクリエーションの基本的理念を理解し、説明することができる
2. 治療的レクリエーションの技法を理解し、説明することができる
3. レクリエーション活動を計画・立案することができる
4. レクリエーション活動を実施することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：実習要項をよく読み、実習目的・目標や方法を理解しておく
 事後学修：実習の課程を振り返りレポートにまとめる。また、学修成果と自己の課題を確認する

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

レポート課題（50%） 授業への取組（50%）

教 科 書

レクリエーション 第3版 活動と参加を促すレクリエーション 三輪書店

参 考 図 書

留 意 事 項

グループ学修を主とした演習形式であるため、積極的に計画・立案および実施に取り組むこと

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

火・木曜日（13時～14時） 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業学実習Ⅱ（レクリエーション・作業分析）	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
江口 喜久雄、吉田 和弘、太田 研吾					実習	実習

回数	単 元	内 容	担当教員
1	レクリエーションの基本理念	レクリエーションの範囲と種類、人の発達段階とレクリエーション、レクリエーションと作業療法	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
2	作業療法におけるレクリエーションの技法	集団の意義、レクリエーションプログラムの立案方法、レクリエーションの実施と活用	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
3	レクリエーション活動	遊戯・ゲーム・スポーツの要素を取り入れたレクリエーションの計画立案1	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
4	レクリエーション活動	遊戯・ゲーム・スポーツの要素を取り入れたレクリエーションの計画立案2	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
5	レクリエーション活動	遊戯・ゲーム・スポーツの要素を取り入れたレクリエーションの計画立案3	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
6	レクリエーション活動	遊戯・ゲーム・スポーツの要素を取り入れたレクリエーションの計画立案4	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
7	レクリエーション活動	遊戯・ゲーム・スポーツの要素を取り入れたレクリエーションの計画立案5	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
8	レクリエーション活動	遊戯・ゲーム・スポーツの要素を取り入れたレクリエーションの計画立案6	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
9	レクリエーション活動	レクリエーション実施1	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
10	レクリエーション活動	レクリエーション実施1の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
11	レクリエーション活動	レクリエーション実施2	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
12	レクリエーション活動	レクリエーション実施2の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
13	レクリエーション活動	レクリエーション実施3	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
14	レクリエーション活動	レクリエーション実施3の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業学実習Ⅱ（レクリエーション・作業分析）	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
江口 喜久雄、吉田 和弘、太田 研吾					実習	実習

回数	単元	内 容	担当教員
15	レクリエーション活動	レクリエーション実施4	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
16	レクリエーション活動	レクリエーション実施4の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
17	レクリエーション活動	レクリエーション実施5	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
18	レクリエーション活動	レクリエーション実施5の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
19	レクリエーション活動	レクリエーション実施6	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
20	レクリエーション活動	レクリエーション実施6の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
21	レクリエーション活動	レクリエーション実施7	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
22	レクリエーション活動	レクリエーション実施7の振り返り	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾
23	レクリエーション活動	総括	江口喜久雄 吉田和弘 太田研吾

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年通年(前期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

授 業 概 要

本実習は、学生がまだ専門的知識のない中で行われる見学実習である。その目的とするところは、実際に作業療法士がやりがいをもって働いている姿に接することで、作業療法士になりたいというモチベーションを高め、今後の学修意欲を高める切っ掛けにすることにある。また、医療機関や施設を内側から眺めることで、医療職の責任や使命感について学ぶ。本科目は、実務経験のある教員及び実習施設指導者を中心とした実践的教育から構成される科目である。

到 達 目 標

1. 医療職を志す者としての常識的態度（挨拶、服装、言葉遣い）を身につける。
2. 地域における社会資源（環境、制度、資源）の現状について報告することができる。
3. 見学をまとめて発表ができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

見学予定の施設について、ホームページ等で調べる。見学施設の報告書を作成する。
集合時間厳守、見学先からの注意事項を確認する。

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をととして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

実習課題レポート20%、実習行動30%、実習後セミナーのディスカッション・発表50%

教 科 書

配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

感染症対策、守秘義務を遵守すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

要事前予約

実 務 経 験

担当教員は全員、豊富な作業療法の臨床経験を有している

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年通年(前期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

内 容

1. 実習前（準備）オリエンテーションを実施する。
 実習の目的の説明を受ける。
 実習施設の紹介、学生の配置、実習の進め方、日程や時間、課題、留意事項について説明を受ける。
 感染対策、守秘義務について手引きをもとにレクチャーを受ける。
2. 学生は配置された実習施設で見学を行う。
 学生は5日間の見学実習を行う。
 主たる実習施設を中心に、1施設につき1名～複数名（5名以下）で配置される。
 実習は、作業療法士が勤務している病院（医療提供施設）を基本に、老人保健施設、身体障害者福祉施設、児童福祉施設、指定障害サービス事業所、指定障害者支援施設、児童デイサービス等で行う。
 実習施設では実習指導者の指示に従う。
 実習施設では、施設概要、リハビリテーションと作業療法の内容及び、関連する職種の連携に関するレクチャーを受ける。
 作業療法士の役割、対象者との会話場面などを見学する。
 レクチャーや見学後、質疑の時間を設ける。
3. 実習終了後、学内にて報告会を実施する。
 実習施設での経験をまとめ、他者に対して伝える
 制限時間内に発表できるように準備を行う。
 資料を作成してグループ内発表を行う。発表後、質疑を行う。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年通年(後期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

授 業 概 要

本実習は、学生がまだ専門的知識のない中で行われる見学実習である。その目的とするところは、実際に作業療法士がやりがいをもって働いている姿に接することで、作業療法士になりたいというモチベーションを高め、今後の学修意欲を高める切っ掛けにすることにある。また、医療機関や施設を内側から眺めることで、医療職の責任や使命感について学ぶ。本科目は、実務経験のある教員及び実習施設指導者を中心とした実践的教育から構成される科目である。

到 達 目 標

1. 医療職を志す者としての常識的態度（挨拶、服装、言葉遣い）を身につける。
2. 地域における社会資源（環境、制度、資源）の現状について報告することができる。
3. 見学をまとめ発表ができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

見学予定の施設について、ホームページ等で調べる。見学施設の報告書を作成する。
集合時間厳守、見学先からの注意事項を確認する。

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

実習課題レポート20%、実習行動30%、実習後セミナーのディスカッション・発表50%

教 科 書

配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

感染症対策、守秘義務を遵守すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

要事前予約

実 務 経 験

担当教員は全員、豊富な作業療法の臨床経験を有している

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	1年通年(後期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

内 容

1. 実習前(準備)オリエンテーションを実施する。
 実習の目的の説明を受ける。
 実習施設の紹介、学生の配置、実習の進め方、日程や時間、課題、留意事項について説明を受ける。
 感染対策、守秘義務について手引きをもとにレクチャーを受ける。
2. 学生は配置された実習施設で見学を行う。
 学生は5日間の見学実習を行う。
 主たる実習施設を中心に、1施設につき1名～複数名(5名以下)で配置される。
 実習は、作業療法士が勤務している病院(医療提供施設)を基本に、老人保健施設、身体障害者福祉施設、児童福祉施設、指定障害サービス事業所、指定障害者支援施設、児童デイサービス等で行う。
 実習施設では実習指導者の指示に従う。
 実習施設では、施設概要、リハビリテーションと作業療法の内容及び、関連する職種の連携に関するレクチャーを受ける。
 作業療法士の役割、対象者との会話場面などを見学する。
 レクチャーや見学後、質疑の時間を設ける。
3. 実習終了後、学内にて報告会を実施する。
 実習施設での経験をまとめ、他者に対して伝える
 制限時間内に発表できるように準備を行う。
 資料を作成してグループ内発表を行う。発表後、質疑を行う。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
経営学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
加藤 佳奈					講義	

授 業 概 要

本科目では、企業や経営についての基本的知識を学修すると共に、現代社会におけるその役割と意味について考え、社会における経営の問題に興味・関心を抱き、専門学修へと展開していかれるような力を育成することを目的とする。経営について学修することで、経営的なものの見方・考え方を身につける。社会状況に応じた戦略的な考え方を学び、組織の基本形態とその特徴を学ぶことで、組織を機能させる思考や、資源をいかに活用するかなど、将来的に施設運営に参画できるような基礎的能力を養う。

到 達 目 標

1. 現代社会の重要な機関としての「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを理解する
2. 企業の存続と発展にとって不可欠な「経営」について説明できる
3. 経営の基礎理論について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

課題レポート (100%)

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

適宜紹介する。

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
経営学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
加藤 佳奈					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	イントロダクション 経営学とは何か	講義の目的、内容・範囲、進め方、評価、経営学の目的および意義	加藤佳奈
2	事業とは	「生産・営利」などの目的を伴う活動としての事業	加藤佳奈
3	企業とは	企業の役割、制度、形態	加藤佳奈
4	経営理論と 企業の諸形態	企管理論、企業・会社・病院・施設の諸形態	加藤佳奈
5	戦略とは 経営戦略	経営戦略の3つのレベル、企業戦略・事業戦略・機能戦略	加藤佳奈
6	組織とは 基本形態とその特徴	事務部制組織、職能別組織	加藤佳奈
7	経営資源とは ヒト・モノ・カネ・情報	人的資源(ヒト)、物的資源(モノ)、財務的資源(カネ)、情動的資源(情報)	加藤佳奈
8	復習・まとめ	全講義の復習を行う。	加藤佳奈

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語 I (日常会話)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
金 活 蘭、張 命 姫、趙 賢 眞					演 習	

授 業 概 要

2000年代の初め、韓流ブームが日本国内で沸騰し、2018年度には韓国人訪日客は約750万人、日本人訪韓客は約300万人に達した。韓国語を学ぶ人口も飛躍的に伸びた。韓国語を初めて学ぶ学生諸君を対象に、韓国語の基本である発音を身につけ、簡単な日常会話（挨拶等）ができるように韓国語に関する体系的な基礎知識を学ぶ。韓国語と日本語は基本的な語順が同一であるので、学生諸君はその修得スピードに驚くだろう。併せて、韓国文化の理解と共に、韓国語で簡単なコミュニケーションを可能にする。

到 達 目 標

1. 基本的な発音ルールを取得する
2. 韓国語であいさつができる
3. 韓国語で簡単な日常会話ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

評 価

筆記試験（60％）、毎回の小テスト（40％）

教 科 書

『ポイントレッスン韓国語』東方書店

参 考 図 書

『コスモス朝和辞典』白水社

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅰ（日常会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
金 活 蘭、張 命 姫、趙 賢 眞					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ハンゲルの仕組みと文の構造	授業ガイダンス、母音字と子音字 ①体言と語尾 ② 母音+子音 ③子音+子音	松原孝俊 李恩珠
2	合成母音字と終声字	合成母音字と終声字を学ぶ ①終声字とその発音、②2文字終声字の発音、③終声の初声化	松原孝俊 李恩珠
3	私は学生です。	①口音+平音 ②口音+激音もしくは濃音 ③口音 ④指定詞	松原孝俊 李恩珠
4	キムチが辛いです	①流音の鼻音化 ②Lの流音化 ③体言+体言語尾 ④存在詞	松原孝俊 李恩珠
5	これは何ですか	①3種類の語幹（母音語幹、己語幹、子音語幹）②指示代名詞③疑問詞名数詞 ②数詞につく接尾辞 ③意思=推量形	松原孝俊 李恩珠
6	今日は何月何日ですか	①漢字語数詞と固有語数詞、第1語基名数詞 ②数詞につく接尾辞 ③意思=推量形	松原孝俊 李恩珠
7	時間があるならば、一緒に行きましょう。	①第2語基、②仮定形「Ⅱ+면」③形容詞の連体形	松原孝俊 李恩珠
8	韓国に行きました。	①第3語基 ②過去形 ③さまざまな体言語尾	松原孝俊 李恩珠
9	話し言葉と書き言葉	①1+요 ② 있어요/없어요	松原孝俊 李恩珠
10	いくらですか	①生活用語 ②文化用語③願望形	松原孝俊 李恩珠
11	韓国語を教えてください	①依頼形②尊敬形③推量形	松原孝俊 李恩珠
12	昨日 学校へ行きませんでした	①肯定と否定 ②不可能形못 ~、~지 못 하다、~ㄹ 수 없다	松原孝俊 李恩珠
13	この本はよく売れます	①接尾辞「-이」、「-히」、「-리」、「-기」②語尾「-이/어지다」	松原孝俊 李恩珠
14	主な文法的な形	① 1 + 는 것 같다 ② Ⅱ + ㄴ 적이 없다③Ⅲ+서는 안 되다	松原孝俊 李恩珠

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語 I (日常会話)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
金 活蘭、張 命姫、趙 賢眞					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	これまでの学修項目のまとめ	これまでの学修項目のまとめ	松原孝俊 李恩珠

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
中国語 I (日常会話)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
黄 冬 柏					演 習	

授 業 概 要

アジア圏の中で中国のエネルギーはすさまじいものがある。人口も13億と多く、多くの人が世界中を旅したり、留学したりと、日常的に私たちが中国語を耳にする機会も増えてきている。福岡の地は中国からの旅行者も多くみられる。中国語の基本である発音を身につけ、会話を通して簡単な日常会話（挨拶 他）ができるように学ぶ。また日常会話を通して現代中国の文化や社会について理解できるように概説する。学修を通してお互いの文化や考え方の理解につながるように学ぶ。

到 達 目 標

1. 基本的な子音や母音が発音できる
2. 中国語であいさつができる
3. 中国語で簡単な日常会話ができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

評 価

- 1) 授業到達目標への到達努力の評価
- 2) 最終到達度の評価

教 科 書

黄 冬 柏『やさしい中国語10課』 中国書店

参 考 図 書

芦 益 平・黄 冬 柏『漢語生活会話』 白帝社

留 意 事 項

朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予習と復習を行うこと。中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。授業中は積極的に声を出して練習すること。

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅰ（日常会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
黄冬柏					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	ガイダンス	シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。	黄冬柏
2	発音（１）：声調と単母音	声調と単母音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p1-p3）	黄冬柏
3	発音（２）：子音	子音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p4-p5）	黄冬柏
4	発音（３）：複合母音	複合母音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p6-p7）	黄冬柏
5	発音（４）：発音の規則	発音の規則を説明し、挨拶の練習を行う。（教科書p8-p10）	黄冬柏
6	第1課：お名前は	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p12-p13）	黄冬柏
7	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p14-p16）	黄冬柏
8	復習と中間テスト	これまで勉強した内容を復習した後、中間テストを行う。	黄冬柏
9	第2課：私は日本からの留学生	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p17-p18）	黄冬柏
10	第3課：あなたは毎日何時に大学へ行くの	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p19-p21）	黄冬柏
11	中国のホテル	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p22-p23）	黄冬柏
12	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p24-p27）	黄冬柏
13	第4課：実家は福岡市にある	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p28-p29）	黄冬柏
14	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p30-p32）	黄冬柏

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語 I (日常会話)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黄 冬 柏					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	復習、まとめ	復習や質疑応答を行った後、まとめのテストを実施し、テストを解説する。	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動学Ⅱ（下肢、歩行）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 昭彦					演習	

授 業 概 要

作業療法で接することの多い運動機能障害の問題を解決するために、人の随意運動のメカニズムについて学修する。骨盤帯・下肢・歩行における各関節の構造と機能を解説した後、運動の力源である各筋の作用、さらに筋収縮時における腱、靭帯との関連性を疾患・障害を交えながら学修する。また、骨盤帯や下肢の関節の特徴と正常歩行と異常歩行について作業療法の視点から学修する。本授業科目は豊富な臨床経験をもつ作業療法士が担当する。

到 達 目 標

1. 骨盤帯・下肢の構造（骨・関節・靭帯・筋・神経）を理解し、各関節の運動のメカニズムが理解できる
2. 姿勢保持機構と正常歩行について理解する
3. 疾患と障害による運動学的特徴について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各単元の教科書を読み、わからない言葉については調べておく
 事後学修：授業資料や教科書を振り返り、説明できるようにまとめる

対 応 D P

評 価

筆記試験（70%）・小テスト（20%）・授業態度など（10%）を総合して評価する

教 科 書

身体運動学 関節の制御機構と筋機能 市橋則明 編集 Medical view社

参 考 図 書

基礎運動学・筋骨格系のキネシオロジー

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火曜日（11時～12時）・木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学Ⅱ（下肢、歩行）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	各論：股関節の運動学①	股関節の骨構造・股関節の関節構造について	近藤昭彦
2	股関節の運動学②	股関節の受動的制御と受動的制御の機能障害について	近藤昭彦
3	股関節の運動学③	股関節の能動的制御と能動的制御の機能障害について	近藤昭彦
4	各論：膝関節の運動学①	膝関節の骨構造・関節構造について	近藤昭彦
5	膝関節の運動学②	膝関節の受動的制御；関節構造・関節包・靭帯による運動制御について	近藤昭彦
6	膝関節の運動学③	膝関節の能動的制御；筋による運動制御について	近藤昭彦
7	膝関節の運動学④	膝関節の機能障害と運動学；変形性膝関節症などについて	近藤昭彦
8	各論：足関節と足部の運動学①	足関節・足部の骨構造, 肘関節の関節構造, 肘関節の受動的制御（関節構造・関節包・靭帯による運動制御）	近藤昭彦
9	足関節と足部の運動学②	関節・足部の能動的制御と肘関節の機能障害と運動学	近藤昭彦
10	各論：立位姿勢と姿勢制御①	立位姿勢と姿勢制御；力学的平衡・姿勢制御・運動器系, 感覚器系の役割について	近藤昭彦
11	立位姿勢と姿勢制御②	立位姿勢と姿勢制御；中枢神経系の役割・座位, 立位の姿勢制御について	近藤昭彦
12	各論：歩行①	歩行周期と歩行に関する各因子, 身体重心と床反力, 歩行における3つの機能などについて	近藤昭彦
13	歩行②	歩行時の各関節の運動と筋活動・力学的エネルギーなどについて	近藤昭彦
14	各論：呼吸の運動学	呼吸の運動学 胸郭の動き・横隔膜・呼吸筋についてについて	近藤昭彦

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学Ⅱ（下肢、歩行）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	各論：摂食・嚥下の運動学	咀嚼筋および嚥下に関するメカニズムについて	近藤昭彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					実習	

授 業 概 要

解剖学、生理学、運動学で学んだ基礎知識をもとに、身体運動のメカニズムについて実習を交えて理解する。人体における骨、関節、骨格筋の位置の確認および触診を行う。上肢（肩甲骨、肩、肘、前腕、手）、下肢（骨盤、股、膝、足）、体幹（頭部、顔面、頸部、胸部、腰部）の運動機能を自身と他人の身体を使って体験し理解する。人の基本的動作を運動学的に分析し、運動学の知識を日常生活活動との関連で理解する。本授業科目は豊富な臨床経験をもつ作業療法士が担当する。

到 達 目 標

1. 人体における、骨、関節、筋など触診可能ができる
2. 身体運動のメカニズムについて重心と支持基底面の関係を説明できる
3. 基本的動作介助法の力学的説明ができる
4. 床反力計や筋電計などを用いた運動学的分析の重要性を理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前配布資料および教科書の該当箇所を読み、専門用語については調べておく
 事後学修：授業資料を振り返り、実際に実技でやったことを確実に再現できるように練習をする

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

評 価

実技50% 筆記試験50%

教 科 書

「機能解剖学的触診技術 上肢」青木隆明 監修 MEDICAL VIEW

参 考 図 書

リハビリテーションの考え方をとり入れた介助のしかたー

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火曜日（11時～12時）・木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					実習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	上肢・体幹を構成する骨・筋 ①（肩甲骨・肩甲上腕関節）	触診の基礎・上肢帯を構成する骨と肩甲帯周囲筋の位置関係について理解し、骨のランドマークおよび、主要な筋の筋腹を触診することができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
2	上肢・体幹を構成する骨・筋 ②（肩甲骨・肩甲上腕関節）	上肢帯を構成する骨と肩甲帯周囲筋の位置関係について理解し、骨のランドマークおよび、主要な筋の筋腹を触診することができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
3	上肢・体幹を構成する骨・筋 ③（肘関節~手指）	上肢肘関節から指先にかけての骨と関連する筋の位置関係を理解し、骨のランドマークおよび主要な筋の筋腹を触診することができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
4	上肢・体幹を構成する骨・筋 ④（脊柱・胸郭）	脊柱・体幹の骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診することができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
5	上肢・体幹を構成する骨・筋 ⑤（頭頸部）	頭頸部における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診することができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
6	上肢・体幹を構成する骨・筋 ⑥（顔面）	顔面における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診できる。また、咀嚼・嚥下の運動に関連した部位の触診も行う	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
7	上肢・体幹を構成する骨・筋 ⑦（まとめ）	上肢・体幹・顔面を構成する骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診することができる。	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
8	上肢・体幹を構成する骨・筋 ⑧（確認テスト）	教員より指定された上肢・体幹・顔面を構成する骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診することができる。	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
9	骨盤・下肢を構成する骨・筋 ①	骨盤帯における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
10	骨盤・下肢を構成する骨・筋 ②	骨盤帯における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
11	骨盤・下肢を構成する骨・筋 ③	大腿骨における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
12	骨盤・下肢を構成する骨・筋 ④	脛骨・腓骨における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
13	骨盤・下肢を構成する骨・筋 ⑤	足関節・足部における骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
14	骨盤・下肢を構成する骨・筋 ⑥（まとめ）	骨盤・下肢を構成する骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診することができる。	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					実習	

回数	単元	内 容	担当教員
15	骨盤・下肢を構成する骨・筋⑦（確認テスト）	教員より指定された骨盤・下肢を構成する骨のランドマークの触診と主要な筋の筋腹を触診することができる。	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
16	ボディメカニクス①	基本的姿勢と支持基底面・重心の関係について立ち上がり動作などを実際に行いながら、説明できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
17	ボディメカニクス②	姿勢変化と立ち直り・平衡反応を実際に行いながら、姿勢制御について説明ができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
18	ボディメカニクス③	床反力計・動作解析装置を用いた分析方法を学ぶ	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
19	基本的動作介助法①	寝返り・起き上がり・立ち上がり動作における、正常動作の分析を行い、説明ができる 介助法について運動学的に分析し、介助法について説明できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
20	基本的動作介助法②	寝返り・起き上がり・立ち上がり動作における、介助法について運動学的に分析し、介助法について説明できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
21	基本的動作介助法②	寝返り・起き上がり・立ち上がり動作における、介助法について運動学的に分析し、介助法について説明できる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
22	基本的動作介助法③	歩行分析を基に、歩行介助方法の基礎ができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘
23	基本的動作介助法③	歩行分析を基に、歩行介助方法の基礎ができる	近藤昭彦 永井邦明 吉田和弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
内科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

授 業 概 要

代表的な内科疾患（循環器疾患、血液・造血器疾患、アレルギー疾患、膠原病、免疫不全、感染症）について、関連する解剖学・生理学・症候・検査法の基礎的な知識について学ぶ。また、各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に留意すべきことについて考える。

到 達 目 標

1. 各疾患に関連する器管の解剖と生理について説明することができる
2. 各疾患の代表的な症候について説明することができる
3. 各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に、留意すべきことについて考える

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深めること

対 応 D P

評 価

期末試験（100%）

教 科 書

1. PTOT標準理学療法学・作業療法学 内科学 第3版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
内科学Ⅰ（総論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	総論	病態・疾患の総論、内科的診断と治療、各種症候の総論①	有信 洋二郎
2	総論	病態・疾患の総論、内科的診断と治療、各種症候の総論②	有信 洋二郎
3	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論①	横山 拓
4	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論②	横山 拓
5	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論③	横山 拓
6	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論④	横山 拓
7	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、造血と分化、主要な症候、検査法、血液疾患各論①	森 康雄
8	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、造血と分化、主要な症候、検査法、血液疾患各論②	森 康雄
9	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、造血と分化、主要な症候、検査法、血液疾患各論③	森 康雄
10	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症	免疫系の働き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症①	有信 洋二郎
11	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症	免疫系の働き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症②	有信 洋二郎
12	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症	免疫系の働き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症③	有信 洋二郎
13	感染症	感染症総論（感染症とは、病原体、感染経路、感染部位、生体反応、臨床症状） 感染症各論（細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、寄生虫病、プリオン病）①	江里口 芳裕
14	感染症	感染症総論（感染症とは、病原体、感染経路、感染部位、生体反応、臨床症状） 感染症各論（細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、寄生虫病、プリオン病）②	江里口 芳裕

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
内科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	感染症	感染症総論 (感染症とは、病原体、感染経路、感染部位、生体反応、臨床症状) 感染症各論 (細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、寄生虫病、プリオン病) ③	江里口 芳裕

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

授 業 概 要

神経内科領域の臨床症候について、神経解剖学と神経生理学の観点から全般的に学ぶ。また、各症候とリハビリテーションに関連する事項について学ぶ。

到 達 目 標

1. 神経系の構造と機能について概説することができる
2. 神経学的診断の意義と検査法について説明することができる
3. 各症候の概念や特徴について説明することができる
4. 各症候とリハビリテーションに関連する事項について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

筆記試験 (100%)

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版 (医学書院)
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日 (15時～16時) 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
神経内科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	中枢神経系の解剖と機能	神経の発達と加齢、中枢神経・末梢神経の構造と機能、神経の再生と可塑性	山口浩雄
2	神経学的診断法	神経学的診断と評価、神経学的検査法	山口浩雄
3	神経症候学	意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神の概念・分類・特徴	山口浩雄
4	神経症候学	運動麻痺、錐体路徴候、筋萎縮の概念・分類・特徴	山口浩雄
5	神経症候学	錐体外路徴候、不随意運動の概念・分類・特徴	山口浩雄
6	神経症候学	運動失調、感覚障害の概念・分類・特徴	山口浩雄
7	神経症候学	高次脳機能障害（失語）の概念・分類・特徴	山口浩雄
8	神経症候学	高次脳機能障害（失認）の概念・分類・特徴	山口浩雄
9	神経症候学	高次脳機能障害（失行）の概念・分類・特徴	山口浩雄
10	神経症候学	高次脳機能障害（記憶障害）の概念・分類・特徴	山口浩雄
11	神経症候学	高次脳機能障害（注意障害）の概念・分類・特徴	山口浩雄
12	神経症候学	高次脳機能障害（遂行機能障害）の概念・分類・特徴	山口浩雄
13	神経症候学	構音障害、嚥下傷害の概念・分類・特徴	山口浩雄
14	神経症候学	頭蓋内圧亢進、脳浮腫、脳ヘルニア、髄膜刺激症状の特徴	山口浩雄

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
神経内科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	まとめ	山口浩雄

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
整形外科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
関矢 仁					演習	

授 業 概 要

運動機能や日常生活活動を障害する代表的な整形外科疾患の病因や病態生理、診断と治療の総論を学ぶことにより、整形外科疾患のリハビリテーションを行うために必要な基礎知識を修得する。

到 達 目 標

1. 運動器の構造と機能について説明することができる
2. 整形外科疾患に対する検査と診断の概要について説明することができる
3. 代表的な疾患の概要について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

対 応 D P

評 価

筆記試験 (100%)

教 科 書

1. 標準整形外科学 第14版 (医学書院)
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日 (15時～16時) 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	骨	骨の構造・生理・生化学・発生・成長・維持・病態・病理、骨の修復と再生	関矢仁
2	関節	関節の構造・生理・生化学・病態・病理、関節軟骨の修復と再生	関矢仁
3	筋骨格の構造と痛み	骨格筋および神経の構造と機能、痛みの定義・分類・生理学・評価・治療	関矢仁
4	検査と診断	視診、触診、四肢の計測と筋力評価、神経学的検査、機能評価、画像検査、検体検査、生体検査、他	関矢仁
5	保存療法と手術療法	保存療法の種類（安静、薬物療法、徒手整復、牽引法、固定法、他） 整形外科領域における手術の特徴、特殊な器具を用いた手術（関節鏡、内視鏡、他）	関矢仁
6	軟部組織・骨・関節の感染症	軟部組織感染症、骨髄炎、感染性関節炎、その他の骨関節感染症	関矢仁
7	関節リウマチと類縁疾患	関節リウマチ、脊椎関節炎、リウマチ性多発筋痛、突発性関節炎、線維筋痛症、他	関矢仁
8	変形性関節症と類縁疾患	変形性関節症、結晶誘発性関節炎、神経病性関節症、代謝異常症による関節疾患、他	関矢仁
9	四肢循環障害と阻血壊死性疾患	四肢循環障害をきたす疾患、外傷後血管障害、骨壊死、他	関矢仁
10	先天性骨系統疾患と先天異常症候群	先天性骨系統疾患の概要、先天異常症候群の概要	関矢仁
11	代謝性骨疾患	骨粗鬆症、くる病、骨軟化症、腎性骨ジストロフィー、甲状腺機能異常、成長ホルモン異常、他	関矢仁
12	骨腫瘍	骨腫瘍の分類、原発性良性骨腫瘍、骨腫瘍類似疾患、原発性悪性骨腫瘍、続発性悪性骨腫瘍、他	関矢仁
13	軟部腫瘍	軟部腫瘍の分類、良性軟部腫瘍、悪性軟部腫瘍	関矢仁
14	神経・筋疾患	中枢神経疾患、末梢神経障害、筋疾患	関矢仁

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの背景・定義・概念、評価と対策	関矢仁

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

授 業 概 要

精神疾患や精神障害を有する患者理解に必要な精神医学の基礎について学ぶ。特に臨床上頻度の多い疾患や障害を取り上げ、その症状・診断・治療・リハビリテーションの概要について理解するとともに、精神障害を有する対象者へのチーム医療の在り方について考える。

到 達 目 標

1. 精神障害を生じる代表的な疾患の症状・診断・治療の概要について説明することができる
2. 精神障害を有する対象者への医療的支援について、チーム医療の観点から説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

定期試験 (100%)

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 (医学書院)
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	精神医学の定義と歴史、精神障害の概念と成因、精神障害の分類	堀 輝
2	精神機能の障害と精神症状	各種障害（意識、注意、見当識、知能、性格、記憶、感情、欲動と意志、自我意識、知覚、思考、病識）、主な精神状態像、神経心理学的症状①	堀 輝
3	精神機能の障害と精神症状	各種障害（意識、注意、見当識、知能、性格、記憶、感情、欲動と意志、自我意識、知覚、思考、病識）、主な精神状態像、神経心理学的症状②	堀 輝
4	精神障害の診断と評価	身体的検査法、心理検査法、精神症状の評価、社会生活の評価、主観的QOL評価	堀 輝
5	脳器質性精神障害	認知症、大脳皮質の変性疾患、大脳基底核の変性疾患、感染症	堀 輝
6	脳器質性精神障害	外傷、中毒、腫瘍、脱髄性疾患、代謝障害、正常圧水頭症	堀 輝
7	症状性精神障害 精神作用物質	代謝および栄養障害、膠原病、内分泌障害、アルコール依存、薬物依存	堀 輝
8	てんかん	てんかんの発作床状と精神症状、てんかんの経過・予後・治療・リハビリテーション	堀 輝
9	統合失調症	精神症状の特徴、病型、病態、社会生活、経過・予後・治療・リハビリテーション	堀 輝
10	気分障害	うつ病・躁うつ病・持続性気分障害の経過・予後・治療・リハビリテーション	堀 輝
11	神経症性障害	不安・恐怖を中心とする障害、ストレス関連障害、解離、身体表現性障害	堀 輝
12	生理的障害および身体要因 関連障害	摂食障害、睡眠障害	堀 輝
13	パーソナリティ・行動・性 の障害	パーソナリティ障害の類型と治療、行動障害（賭博・放火・窃盗・抜毛）、性同一性障害、性嗜好障害	堀 輝
14	知的障害	精神遅滞の概念と分類、頻度の高い精神遅滞の概要・治療・リハビリテーション	堀 輝

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神医学 I (総論)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	心理的発達障害	特異的発達障害、広汎性発達障害	堀 輝

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児科学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

授 業 概 要

小児を取り巻く諸問題について、医学的および社会的な観点から学ぶ。胎児期から学童期までの成長と発達に関する基礎的事項を理解するとともに、神経・筋・骨格・循環器・呼吸器・消化器・腎泌尿器といった臓器および系統別に疾患の特徴を学ぶ。さらに、理学療法士や作業療法士が携わる機会が増えている重症心身障害児を対象とした療育制度について学ぶ。

到 達 目 標

1. 小児の発育および発達について説明できる
2. 小児と関係の深い疾患概要（症状、検査、発生頻度、要因、治療、その他）について説明できる
3. 療育の意義および体制について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

評 価

定期試験（100%）

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児科学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	小児の成長・発育と発達	大賀 正一
2	新生児・未熟児	新生児の評価と問題、早産児の神経学的所見、異常症状、中枢神経障害と疾患	李 守永
3	先天異常と遺伝病	遺伝と病気、染色体異常、先天奇型、先天代謝異常症	李 守永
4	神経・筋・骨系疾患	中枢神経疾患、てんかん、発達遅延を伴う疾患、発達障害、脊髄性疾患、末梢神経性疾患、筋疾患、骨・関節疾患①	李 守永
5	神経・筋・骨系疾患	中枢神経疾患、てんかん、発達遅延を伴う疾患、発達障害、脊髄性疾患、末梢神経性疾患、筋疾患、骨・関節疾患②	李 守永
6	循環器疾患	症状と検査、発症頻度と要因、先天性心疾患、後天性心疾患	李 守永
7	感染症	感染症の症状、診断と治療、周産期および新生児・乳児・幼児・学童期の感染症	李 守永
8	内分泌・代謝疾患	視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患、糖尿病、低血糖、肥満の症状・診断・治療	中山 秀樹
9	血液疾患	赤血球系の異常、白血球系の異常、出血性・血栓性疾患の症状・診断・治療	中山 秀樹
10	呼吸器疾患	症状と検査、治療と処置、上気道疾患、下気道疾患	本荘 哲
11	重症心身障害児	重症心身障害児の諸問題（運動障害・知的障害・神経学的障害）、療育体制	本荘 哲
12	免疫・アレルギー疾患、膠原病	免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患および自己炎症性疾患の症状・診断・治療	中山 秀樹
13	腫瘍性疾患、その他	悪性腫瘍の発生頻度、神経芽腫、網膜芽腫の症状・診断・治療	中山 秀樹
14	消化器疾患	口腔疾患、食道疾患、胃・腸疾患、肝・胆道系疾患、その他の疾患	李 守永

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児科学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	腎・泌尿器系、生殖器疾患	尿路感染症、血尿・蛋白尿を主とした腎疾患、生殖器疾患の症状・診断・治療	李 守永

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
臨床心理学概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					演習	

授 業 概 要

心に問題を有する人たちに対する心理学的援助の理論について学ぶ。また、具体的な事例を通して各種理論に基づいた実践方法を学ぶことにより、医療福祉の現場において対峙する対象者の心の問題について関心を深める。

到 達 目 標

1. 臨床心理学の基本的な理論と技法について説明することができる
2. 対人援助における臨床心理学の重要性について理解する
3. 医療福祉の現場で対峙する対象者が抱える心の問題について考える

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

ミニレポート（40％） 定期試験（60％）

教 科 書

1. 臨床心理学概論
2. 配布資料

参 考 図 書

授業中に適宜紹介する。

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
臨床心理学概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	臨床心理学の定義・構造・歴史・実践活動	山口 雄介
2	生物・心理・社会モデル	生物・心理・社会モデルの概要、メンタルヘルスの捉え方、チームアプローチ①	山口 雄介
3	生物・心理・社会モデル	生物・心理・社会モデルの概要、メンタルヘルスの捉え方、チームアプローチ②	山口 雄介
4	クライアント中心療法	クライアント中心療法の理論と実践、クライアント中心療法の適応と限界と発展①	山口 雄介
5	クライアント中心療法	クライアント中心療法の理論と実践、クライアント中心療法の適応と限界と発展②	山口 雄介
6	精神力動的アプローチ	精神分析学の概要、力動的心理療法の種類、精神力動的アプローチの実際①	山口 雄介
7	精神力動的アプローチ	精神分析学の概要、力動的心理療法の種類、精神力動的アプローチの実際②	山口 雄介
8	行動療法	行動主義の概要、学習の原理と行動療法、行動療法の実際	山口 雄介
9	認知行動療法	認知モデルの概要、認知の変容技法、認知療法・認知行動療法の実際①	山口 雄介
10	認知行動療法	認知モデルの概要、認知の変容技法、認知療法・認知行動療法の実際②	山口 雄介
11	システムアプローチ	システム論の概要、システムとしての家族、家族療法・カップルセラピーの実際①	山口 雄介
12	システムアプローチ	システム論の概要、システムとしての家族、家族療法・カップルセラピーの実際②	山口 雄介
13	コミュニティアプローチ	コミュニティ心理学の概要、コミュニティに必要な心理的援助の実際	山口 雄介
14	ナラティブアプローチ	社会構成主義の概要、物語のもつ力、ナラティブアプローチの実際	山口 雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
臨床心理学概論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	対人援助における臨床心理学の重要性	山口 雄介

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、田中 裕二、竹元 仁美、寺岡 祥子、松本 宗賢、池田 敏子、岩倉 真由美、永崎 孝之、溝田 勝彦、田中 真一、森下 元賀、古後 晴基、中山 広宣、小西 紀一、山根 伸吾、江口 喜久					演習	

授 業 概 要

保健・医療・福祉に携わる職種の専門性や関連性、チーム医療・ケアの理念と実践方法を理解し、各職種が連携して課題を解決し、患者・利用者中心の専門的サービスを提供する技能を修得する。ICFの概念を活用しチーム医療の中で自らの役割を発見し、メンバーとして協力の必要性を学ぶ。具体的には事例を通して、チームメンバーと協働し他職種のアプローチを尊重しながら、自職種としての意見やその根拠を明確に述べるとともに、各々の役割や責任についても学修する。

- 到 達 目 標**
1. ICFの概念を活用して事例の課題を抽出することができる
 2. 現実的・実践的な総合サービス計画が立案できる
 3. 事例の検討を通して、チームビルディングのステップを踏んでチームを形成できる
 4. チームにおける自らの役割を発見・理解し、メンバーシップを発揮できる
 5. 他職種の意見を尊重しながら、自職種の意見を根拠に基づいて述べるができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習し、まとめを行いレポートを作成する

- 対 応 D P**
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の応用的動作能力または社会適応能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

評 価

課題レポート（100%）

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日（17時～19時）・木曜日（17時～18時）研究室

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、田中 裕二、竹元 仁美、寺岡 祥子、松本 宗賢、池田 敏子、岩倉 真由美、永崎 孝之、溝田 勝彦、田中 真一、森下 元賀、古後 晴基、中山 広宣、小西 紀一、山根 伸吾、江口 喜久				演習		

回数	単元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス	授業の概要 グループワークの進め方	白石
2	レポート作成	レポートの書き方の基本 課題についてレポートを作成する	松原
3	チーム作りの基礎的知識	ICF（国際生活機能分類）について 講義と事例を用いた演習	白石 全員
4	チームビルディング演習①	チームビルディングの基本演習（役割の明確化）とリフレクション	白石 全員
5	チームビルディング演習②	チームビルディングの基本演習（役割の明確化）とリフレクション	白石 全員
6	チームビルディング演習③	コンフリクトマネジメントについて（講義と演習）	白石 全員
7	チームビルディング演習④	コンフリクトマネジメント演習のリフレクション	白石 全員
8	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討	白石 全員
9	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討	白石 全員
10	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討	白石 全員
11	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討についてのグループワーク レポート作成	白石 全員
12	チームビルディング演習⑤	コンセンサスビルディング（講義とゲームを用いた演習）	白石 全員
13	チームビルディング演習⑥	コンセンサスビルディング演習のリフレクション	白石 全員
14	チームビルディング演習まとめ	チームビルディング演習体験のまとめ	白石 全員

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
白石 裕子、田中 裕二、竹元 仁美、寺岡 祥子、松本 宗賢、池田 敏子、岩倉 真由美、永崎 孝之、溝田 勝彦、田中 真一、森下 元賀、古後 晴基、中山 広宣、小西 紀一、山根 伸吾、江口 喜久					演習	
回数	単 元	内 容			担当教員	
15	総合評価	全体発表会での優秀なグループを選出し、表彰する			白石 全員	

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法理論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 紀一					講義	

授 業 概 要

作業療法計画を立案する際に用いられる理論やモデルを学修する。作業療法独自に開発された感覚統合理論、人間作業モデル、カナダ作業遂行モデル、また理学療法等関連領域で開発された生体力学モデル、運動コントロールモデル、フロー理論、自己効力理論、そしてリハビリテーションモデル（代償、適応、コーピング、教育）について学修する。

到 達 目 標

1. 作業療法理論の開発に貢献した人・集団とそのモデル・理論を3つあげ簡潔に説明できる
2. 作業療法で使われている関連領域の実践理論を3つあげ簡潔に説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書の該当箇所について予習する
 事後学修：配布資料をファイル化し復習する

対 応 D P

◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

毎回の随時行う授業終了前の確認テスト100%

教 科 書

作業療法の世界 鎌倉矩子 三輪書店2004 978-4-89590-205-2

参 考 図 書

作業療法実践のための6つの理論 岩崎テル子 監訳 協同医書1995, 978-4-7639-2057-7
 作業療法理論 山田孝

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（15時～16時）・火、木曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法理論	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 紀一					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	理論の意義	なぜ理論を学ぶ必要があるのか？ 理論の開発に貢献した作業療法士達	小西紀一
2	感覚統合モデル	感覚統合モデルと事例	小西紀一
3	人間作業モデル	人間作業モデルと事例	小西紀一
4	カナダ作業遂行モデル	カナダ作業遂行モデルと事例	小西紀一
5	生体力学モデル	生体力学モデルと事例	小西紀一
6	運動コントロールモデル	運動コントロールモデルと事例	小西紀一
7	リハビリテーション・モデル	リハビリテーションモデル(代償・適応)と事例	小西紀一
8	自己効力理論	自己効力理論と事例	小西紀一

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法評価学	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
奈良 進弘					講義	

授 業 概 要

対象者の心身機能・身体構造、活動・参加、環境・個人因子についての情報に基づき、作業療法は、実施される。情報収集からそれらの情報を処理し、作業療法を計画するまでのプロセスが評価である。作業療法評価学では、作業療法の重要なプロセスである評価についての専門的な知識と技術の修得を目的とする。観察、面接、計測、検査などの様々な情報収集手段によって、対象者の機能・構造、活動・参加、環境のそれぞれについて、適切な情報を得て、処理するために必要なる知識と技術の修得を目指す。

到 達 目 標

1. 作業療法過程における評価について説明することができる
2. 心身機能についての情報を収集するための方法を列挙することができる
3. 身体構造についての情報を収集するための方法を列挙することができる
4. 活動・参加についての情報を収集するための方法を列挙することができる
5. 個人因子・環境因子についての情報を収集するための方法を列挙することができる
6. 作業療法評価のための情報収集において注意する点を列挙することができる
7. 収集された情報についての処理方法を具体的に述べるることができる
8. 収集された情報の信頼性と妥当性を検証する方法を具体的に述べるることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：学習支援システムを利用して単元毎に提示される事前学修についての課題を行い、それらを基にして行われる単元での学修に備えること
 事後学修：各単元の終了時に、まとめ課題と発展課題を提示する。まとめ課題の実施によって、各自の学修状況を自己評価し、必要に応じて補修を行うこと。十分な学修の基で、発展課題を行い、学修の定着と深化を測ること

対 応 D P

◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

総合的に判断する（筆記試験60%、課題や日常的学修40%）。

教 科 書

能登 真一，山口 昇，玉垣 努，新宮 尚人編 作業療法評価学 第3版（標準作業療法学 専門分野） 医学書院 2017

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（17時～18時）・火、木曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法評価学	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
奈良 進弘					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	作業療法と評価（オリエンテーション）	検査や測定、観察、面接などの手段によって得られた情報をもとに行われる作業療法評価を概観し、作業療法過程での役割を理解する	奈良進弘
2	評価尺度、信頼性、妥当性、検査計測	得られた情報の信頼性と妥当性、および精度について理解し、その検証方法を理解する	奈良進弘
3	情報収集、個人因子、背景因子	対象の個人因子と環境因子について情報を収集するための方法を整理し、それらの適応方法を理解する	奈良進弘
4	作業療法過程と評価	作業療法過程の様々なタイミングで行われる評価について、それぞれの意義や役割を理解する	奈良進弘
5	作業療法の効果判定・記録と報告	作業療法効果の判定の意義と実際を理解する	奈良進弘
6	面接・観察	作業療法の実践で行われる面接や観察の知識と技法を整理する	奈良進弘
7	意識の評価	作業療法対象者の全体的状態を理解するために不可欠な意識の評価の知識と技法を整理する	奈良進弘
8	バイタルサインと臨床検査値	バイタルサインと作業療法と関わりの深い臨床検査を整理し、実践場面での活用方法を理解する	奈良進弘
9	摂食嚥下の作業療法評価	摂食嚥下の評価法を学び、実践場面での活用方法を理解する	奈良進弘
10	心肺機能の作業療法評価	心肺機能の評価法を学び、実践場面での活用方法を理解する	奈良進弘
11	呼吸機能の作業療法評価	呼吸機能の評価法を学び、実践場面での活用方法を理解する	奈良進弘
12	悪性腫瘍の作業療法評価	悪性腫瘍等の作業療法で利用されている評価法を学び、実践場面での活用方法を理解する	奈良進弘
13	量的評価データとその処理	計測・測定によって得られたデータや尺度化された指標によって得られたデータの処理方法を整理し、適切な解釈を行うための知識と技術を学	奈良進弘
14	質的評価データとその処理	観察や面接などによって得られた記述データの分析技法を整理し、適切な解釈を行うための知識と技術を学ぶ	奈良進弘

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法評価学	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
奈良 進弘					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	作業療法と評価（まとめ）	作業療法の実践における評価のあり方について考える	奈良進弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
身体機能評価学演習Ⅰ（筋・骨格系）	2023年度	作業療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					演習	

授 業 概 要

作業療法評価法のなかで身体機能評価（運動器系）に用いられる形態測定（姿勢、上・下肢長、周径等）、関節可動域検査ROM-T、徒手筋力検査法MMT、粗大筋力（握力・ピンチ力）等の具体的技法について演習形式で学修する。身体機能領域における作業療法の基本となる評価技術であり、患者と作業療法士の役割を設定しながら学修し、レポートを作成する。

到 達 目 標

1. 作業療法評価の概要を理解し、基本的評価の技術・態度を身に付ける
2. 形態計測、関節可動域測定法（ROM-T）、筋力検査法（MMT、粗大筋力測定）についての基本的技術を獲得する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業テーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学修：技術修得のため、自己学修を行うこと

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

レポート50% テスト50%

教 科 書

新徒手筋力検査法 医歯薬出版株式会社 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 医学書院

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火曜日（11時～12時）・木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
身体機能評価学演習Ⅰ（筋・骨格系）	2023年度	作業療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	姿勢・形態計測1	形態計測の目的について学修する 姿勢の評価法について修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
2	姿勢・形態計測2	体位と構えについて修得する 臥位・座位の種類とその意義について修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
3	姿勢・形態計測3	体幹のランドマークの触診を行う	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
4	姿勢・形態計測4	四肢のランドマークの触診を行う	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
5	姿勢・形態計測5	周径と四肢長の測定方法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
6	姿勢・形態計測6	周径と四肢長の測定方法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
7	関節可動域検査1	関節の構造、運動の面と軸、運動方向、正常な関節可動域および関節可動域制限とその原因、関節可動域検査の手順、測定器具の使用法を学修する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
8	関節可動域検査2	ゴニオメーターおよびテープメジャーを使用して、肩甲帯、肩関節の関節可動域の測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
9	関節可動域検査3	ゴニオメーターおよびテープメジャーを使用して、肩甲帯、肩関節の関節可動域の測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
10	関節可動域検査4	ゴニオメーターおよびテープメジャーを使用して、肩甲帯、肩関節の関節可動域の測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
11	関節可動域検査5	ゴニオメーター等を使用して、肘関節、手関節、手指の関節可動域の測定法および測定の変法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
12	関節可動域検査6	ゴニオメーター等を使用して、肘関節、手関節、手指の関節可動域の測定法および測定の変法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
13	関節可動域検査7	ゴニオメーターおよびテープメジャー等を使用して、下肢、体幹の関節可動域の測定法および測定の変法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
14	関節可動域検査8	ゴニオメーターおよびテープメジャー等を使用して、下肢、体幹の関節可動域の測定法および測定の変法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
身体機能評価学演習Ⅰ（筋・骨格系）	2023年度	作業療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
15	筋力検査1	筋力とは何か、解剖生理・検査の意義、徒手筋力検査法の検査方法のルールを学修する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
16	筋力検査2	徒手筋力検査法に沿って肩甲帯・肩関節・肘関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
17	筋力検査3	徒手筋力検査法に沿って肩甲帯・肩関節・肘関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
18	筋力検査4	徒手筋力検査法に沿って肩甲帯・肩関節・肘関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
19	筋力検査5	徒手筋力検査法に沿って手関節・指関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
20	筋力検査6	徒手筋力検査法に沿って手関節・指関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
21	筋力検査7	徒手筋力検査法に沿って頸部・体幹の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
22	筋力検査8	徒手筋力検査法に沿って頸部・体幹の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
23	筋力検査9	徒手筋力検査法に沿って股関節・膝関節・足関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
24	筋力検査10	徒手筋力検査法に沿って股関節・膝関節・足関節の筋力測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
25	筋力検査⑥	測定機器を使用して、粗大筋力（握力・ピンチ力・背筋力など）の測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
26	疼痛の評価	疼痛とは何か、検査の意義や手順を学修する、痛みの臨床的評価尺度について知り、検査の一部を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
27	上肢機能評価1	簡易上肢機能検査法やDASHの測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
28	上肢機能評価2	簡易上肢機能検査法やDASHの測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
身体機能評価学演習 I (筋・骨格系)	2023年度	作業療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦、吉田 和弘、永井 邦明					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
29	上肢機能評価3	簡易上肢機能検査法やDASHの測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明
30	上肢機能評価4	簡易上肢機能検査法やDASHの測定法を修得する	近藤昭彦 吉田和宏 永井邦明

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神機能評価学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
江口 喜久雄、太田 研吾					演習	

授 業 概 要

精神機能評価の目的および情報収集・面接・観察・検査の目的や方法について学修する。また、作業療法評価法のなかで精神・認知機能評価に用いられる、意欲や行動に関する評価、思考の評価、社会適応に関する評価、知的機能検査、認知機能検査について学修する。

到 達 目 標

1. 精神機能作業療法における評価の目的を理解し、説明することができる
2. 精神機能作業療法における評価の方法を理解し、説明することができる
3. 精神機能作業療法における評価を実施することができる
4. 精神機能作業療法における評価結果をまとめることができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書等で予習し、事前に予備知識を取得しておくことが必要
 事後学修：理解困難な所は必ず教員に質問し解決する。また、レポートは迅速に対応する

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

定期テスト（80％）レポート課題（20％）

教 科 書

標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院

参 考 図 書

精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版 中央法規
 精神障害作業療法額 改定第2版 作業療法学ゴールドマスター メジカルビュー社
 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版 医学書院
 精神・心理機能評価ハンドブック 中山書店

留 意 事 項

グループ学修を主とした形式であるため、学生自身が能動的に取り組むこと。また、事前学修において各評価を予習し、特徴を捉えた上で講義に臨むこと。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

火・木曜日（13時～14時） 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神機能評価学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
江口 喜久雄、太田 研吾					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	精神機能作業療法評価学の基礎	導入, 精神 (機能) とは	江口喜久雄 太田研吾
2	精神機能作業療法評価学の基礎	精神機能評価の目的とは	江口喜久雄 太田研吾
3	精神機能作業療法における情報収集	情報収集の目的と方法とは	江口喜久雄 太田研吾
4	精神機能作業療法における情報収集	評価の項目とは①	江口喜久雄 太田研吾
5	精神機能作業療法における情報収集	評価の項目とは②	江口喜久雄 太田研吾
6	精神機能作業療法における面接法	面接の目的とは	江口喜久雄 太田研吾
7	精神機能作業療法における面接法	面接の方法とは①	江口喜久雄 太田研吾
8	精神機能作業療法における面接法	面接の方法とは②	江口喜久雄 太田研吾
9	精神機能作業療法における観察法	観察の目的とは	江口喜久雄 太田研吾
10	精神機能作業療法における観察法	観察の方法とは①	江口喜久雄 太田研吾
11	精神機能作業療法における観察法	観察の方法とは②	江口喜久雄 太田研吾
12	精神機能作業療法における観察法	観察の方法とは③	江口喜久雄 太田研吾
13	精神機能作業療法における検査法	検査・調査の目的とは	江口喜久雄 太田研吾
14	精神機能作業療法における検査法	検査の方法とは①	江口喜久雄 太田研吾

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神機能評価学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
江口 喜久雄、太田 研吾					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	精神機能作業療法における検査法	検査の方法とは②	江口喜久雄 太田研吾

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
日常生活支援学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山根 伸吾					講義	

授 業 概 要

日本人の生活様式・伝統的な価値観を踏まえながら、起居・移動、コミュニケーション、セルフケア等について、それがもつ意味や動作分析を行う。日常生活活動ADL、手段的ADL、また生活・人生の質QOLの評価法についても学修する。さらに作業療法で対象にすることの多い疾患を有するクライアントに対するADL・手段的ADLのポイントについて学修する。

到 達 目 標

1. BADL、IADL、QOLの概念について説明できる
2. 代表的なADL評価を挙げ、そこに含まれる項目について説明できる
3. ADLに含まれる諸活動の分析を通して、その特性と機能を説明できる
4. 作業療法士がADLに関わる意義を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当する教科書を熟読すること(30分)
 事後学修：講義内容を踏まえて、教科書を読みなおし、理解を深めること(30分)

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- ◎ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

筆記試験（100％）（授業内小テストを含む）

教 科 書

濱口編：標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 医学書院，2014

参 考 図 書

伊藤利之ら編 新版 日常生活活動（ADL） 第2版 評価と支援の実際，医歯薬出版 2020

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

作業療法士としての臨床経験を基に講義を行う。

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
日常生活支援学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
山根 伸吾					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	ADLの基礎、ADL評価	ADLの基礎的な概念、ADLの代表的な評価について講義する	山根伸吾
2	食事、整容	食事、整容がどういった特性、機能を持つ活動であるか講義する。	山根伸吾
3	更衣	更衣がどういった特性、機能を持つ活動であるか講義する。	山根伸吾
4	排泄	排泄がどういった特性、機能を持つ活動であるか講義する。	山根伸吾
5	入浴	入浴がどういった特性、機能を持つ活動であるか講義する。	山根伸吾
6	起居・移動	起居、移動がどういった特性、機能を持つ活動であるか講義する。	山根伸吾
7	IADL、QOLの概念と評価	IADLならびにQOLの概念と評価について講義する	山根伸吾
8	IADL	IADLがどういった特性、機能を持つ活動であるか講義する。	山根伸吾

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
リハビリテーション工学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
川原田 淳					講義	

授 業 概 要

障害児・者のリハビリテーションを支援する工学・技術に関する基本的な考え方、電子工学・人間工学・生体計測・バイオメカニクスなど関連する基礎技術およびこれらの実用的応用からの生活環境についても学修する。また、歩行介助や介護支援機器、ロボット等近年注目されている技術についても学修する。

到 達 目 標

1. リハビリテーション工学の基本的概念・定義について理解する
2. 生活支援のためのリハビリテーション工学を実践するための基礎知識を身につける
3. 高齢者・障害者のためのバリアフリーやリハビリテーションのあり方について理解し、今後の工学的アプローチを考究できる素養を身につける
4. 身体の機能低下や代替が必要となった生体臓器に対する究極的な工学技術のサポートである人工臓器について、種々の臓器に対する各種人工臓器に目を向け、医工融合の具体例についての詳細な内容を理解する
5. リハビリテーションや介護におけるロボット等の活用と、その今後の可能性について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：学習支援システムを利用して単元毎に提示される事前学修についての課題（リーディング課題と調査型課題）を行い、それらを基にして行われる単元での学修に備えること

事後学修：各単元の終了時に、まとめ課題と発展課題を提示する。まとめ課題の実施によって、各自の学修状況を自己評価し、必要に応じて補修を行うこと。十分な学修の基で、発展課題を行い、学修の定着と深化をはかること

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- ◎ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

総合的に判断する（筆記試験60%、事前課題15%、まとめ課題15%、発展課題10%）

教 科 書

テキスト（教科書）は特に指定しない。
別途資料を提示する。

参 考 図 書

- ・ 嶋津秀昭他『医用工学概論』コロナ社 2007<ISBN: 9784339071061>
- ・ 山口昌樹他『人間科学と福祉工学』コロナ社 2007< ISBN: 9784339070934>

留 意 事 項

事前学修・事後学修は非常に大切ですが、授業中に疑問を生じた場合はそのまませず、積極的に質問を行うなど、なるべくその場で解決するようにしてください

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、金曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション工学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
川原田 淳					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	ガイダンス（総論）	医療・保健・福祉の分野において利用されている工学技術に焦点をあて、その現状と応用分野について学ぶ	川原田淳
2	リハビリテーション工学	①リハビリテーションとは、②リハビリテーションの目標、③リハビリテーション工学の目指すもの、④障害を理解する、⑤障害の克服に向けての心理作用、⑥リハビリテーション工学の位置づけ、などの項目について学ぶ	川原田淳
3	福祉工学	①福祉工学とは、②高齢者のための福祉工学、③福祉機器による自立支援と介護支援、④生活環境と共用品、⑤先端技術と福祉工学、などの項目について学ぶ	川原田淳
4	在宅医療技術	①超高齢社会の到来、②ホームケアテクノロジー、③在宅医療とは、④在宅医療の意義と内容、⑤介護との違い、⑥対象となる患者と療法、などの項目について学ぶ	川原田淳
5	在宅生体計測（ホームヘルスマonitoring）	①在宅生体計測とは、②健康度と健康の制御の概念、③在宅生体計測のステージ、④トイレを利用した生体計測、⑤浴槽を利用した生体計測、⑥ベッドを利用した生体計測、⑦在宅生体計測の現状と今後の課題、などの項目について学ぶ	川原田淳
6	生活支援工学	①生活支援工学の概念、②支援機器による生活支援、③アクセシブルデザイン、④人にやさしい生活環境、などの項目について学ぶ	川原田淳
7	人工臓器（生体機能代行装置）	①人工臓器とは何か、②臓器移植か人工臓器か、③人工臓器の意義、④人工臓器の分類、⑤人工臓器の種類、⑥人工臓器に要求される条件、などの項目について学ぶ	川原田淳
8	まとめ（今後の課題と展望）	ロボットを活用した歩行練習や脳活動をリアルタイムで表示するブレイン・マシン・インターフェイスの機能回復効果など、近年注目されつつある機器と人とのかかわりを通したリハビリテーションについて学ぶ	川原田淳

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
趙 賢 眞					演 習	

授 業 概 要

韓国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との韓国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。韓国語の場合は平音・濃音・激音の発音トレーニングが重要なので、発音練習の中で、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

到 達 目 標

1. 韓国語で症状に関する会話ができる
2. 韓国語で入院中の生活に関する会話ができる
3. 韓国語で退院の案内と留意点が説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

評 価

筆記試験（50％）、リスニング試験（50％）

教 科 書

講師資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ (医療会話)	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
趙 賢眞					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	郭 路鶯
2	心配しないで걱정하지 마세요	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
3	どうしましょうか 어떻게 도와 드릴까요?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
4	いかがですか 기분이 어때요?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
5	いくつかの診察の質問 이 의료 설문지를 작성해 주시겠습니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
6	エレベーターでどうぞ 엘리베이터를 타십시오	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
7	何か症状はありますか 증상이 무엇입니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
8	どこが痛いですか 어디가 아픈니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
9	どれくらい症状が続いてま すか 이러한 증상이 얼마나 오래 있었습니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
10	How long have you had these symptoms? 你什么时候开始头痛?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
11	採血します 혈액 샘플을 채취하려고 해 요	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
12	あした手術です 수술은 내일이 될것입니 다。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
13	3種類の薬があります 약에는 세 종류가 있습니다	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
14	心配事がありますか걱정거 리가 있나요	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
趙 賢 眞					演 習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	뭔가 걱정거리가 있나요 총 정리	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 鶯

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
黄冬柏					演習	

授業概要

中国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との中国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。中国の場合は四声の発音が重要なので、発音練習の中でアクセント、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。健康課題がある人に対し、医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

到達目標

1. 中国語で症状に関する会話ができる
2. 中国語で入院中の生活に関する会話ができる
3. 中国語で退院の案内と留意点が説明できる

事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

対応DP

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評価

- 1) 授業到達目標への到達努力の評価
- 2) 最終到達度の評価

教科書

黄冬柏『やさしい中国語10課』 中国書店

参考図書

芦益平・黄冬柏『漢語生活会話』 白帝社

留意事項

朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予習と復習を行うこと。中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。授業中は積極的に声を出して練習すること。

オフィスアワー等

実務経験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
黄 冬 柏					演 習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	黄 冬 柏
2	心配しないで 別緊張	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
3	どうでしょうか 你需要帮忙吗？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
4	いかがですか 你哪儿不舒服？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
5	いくつかの診察の質問 请您填一下问诊表	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
6	エレベーターでどうぞ 乘坐电梯去到诊断室吧。	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
7	何か症状はありますか 你有什么症状？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
8	どこが痛いですか 你那儿痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
9	どれくらい症状が続いてま すか 这种状况有几天了？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
10	いつから頭痛がしています か 你什么时候开始头痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
11	採血します 抽血检查一下	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
12	あした手術です 明天要做手术	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
13	3種類の薬があります 有三种药	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
14	心配事がありますか 你还有什么不明白的地方？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黄 冬 柏					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ 総合練習	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動生理学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 昭彦					講義	

授 業 概 要

ヒトが身体運動を行う際の生理機能の適応的变化について説明する。本講義では人体の正常な構造と機能について理解し、健康維持と疾患回復の過程を学修する。運動における中枢機能、末梢機能、筋機能、呼吸と循環機能、代謝機能などの変化を理解するとともに、刺激と興奮、末梢神経細胞の分類と特性、接合部と受容器、脊髄反射、脳幹・小脳・視床下部と大脳辺縁系、視覚と聴覚、感覚投射系、皮膚感覚と平衡感覚、高次中枢機能についても学ぶ。脳の構成と機能局在や神経伝導と情報伝達などについて十分に理解を深め、これらの生理学的機能についての知識を、評価技術や運動療法、リスク管理など作業療法に生かせるよう学修する。本授業科目は豊富な臨床経験をもつ作業療法士が担当する。

到 達 目 標

1. 運動の功罪を理解したうえで、運動を処方することの重要性を理解できる
2. 運動処方をするうえで身体的な変化がどのようにして起こるのかを理解できる
3. 不動や加齢によっておこる身体的な変化を理解することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：単元に該当する教科書を読み、わからない単語を調べる
 事後学修：配布資料の確認、専門用語の調べ学修をする

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

筆記試験（70%）・小テスト（20%）・授業態度など（10%）を総合して評価する

教 科 書

入門運動生理学 第4版 株式会社杏林書院

参 考 図 書

人体の正常構造と機能 日本医事新報社

留 意 事 項

オフィスアワー等

月曜日（15時～16時）・火、木曜日（11時～12時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動生理学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
近藤 昭彦					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション・総論	リハビリテーションが必要な疾患、加齢の影響を知り、栄養及び運動の必要性を理解する また、運動に功罪があることを理解する	近藤昭彦
2	運動と筋	筋の収縮の仕組みとATP産生について理解する また、収縮様式の違いを理解する	近藤昭彦
3	運動と神経	伸張反射のメカニズムなど運動に必要な神経系の基礎を理解する	近藤昭彦
4	運動と循環	運動時の循環器の変化及びそのメカニズムについて理解する	近藤昭彦
5	運動と呼吸	運動時の呼吸変化およびそのメカニズムについて理解する	近藤昭彦
6	運動と栄養	3大栄養素の消化と吸収及びそれらの役割について理解する	近藤昭彦
7	運動量の測定と運動処方	運動量を測定する指標について理解し、運動強度を考えた処方ができる	近藤昭彦
8	加齢と廃用症候群、生活習慣等の影響と予防	加齢および廃用症候群、生活習慣等が体に及ぼす影響とその予防の基礎を理解する	近藤昭彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
内科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
北園 孝成					演習	

授 業 概 要

代表的な内科疾患（呼吸器疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、代謝性疾患、内分泌疾患、腎臓泌尿器疾患）について、関連する解剖学・生理学・症候・検査法などの基礎的な知識について学ぶ。また、各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に、留意すべきことについて考える。

到 達 目 標

1. 各疾患に関連する器管の解剖と生理について説明することができる
2. 各疾患の代表的な症候について説明することができる
3. 各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に、留意すべきことについて考える

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深めること

対 応 D P

評 価

期末試験（100%）

教 科 書

1. PTOT標準理学療法学・作業療法学 内科学 第3版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フ ィ ス ア フ ー 等

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
内科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
北園 孝成					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、主要な症候、検査所見、呼吸器疾患各論①	山岡 賢俊
2	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、主要な症候、検査所見、呼吸器疾患各論②	山岡 賢俊
3	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、主要な症候、検査所見、呼吸器疾患各論③	山岡 賢俊
4	消化管疾患	消化管の解剖と生理、主要な症候、検査法、消化管疾患各論①	川崎 啓祐
5	消化管疾患	消化管の解剖と生理、主要な症候、検査法、消化管疾患各論②	川崎 啓祐
6	消化管疾患	消化管の解剖と生理、主要な症候、検査法、消化管疾患各論③	川崎 啓祐
7	肝胆膵疾患	肝臓・胆道・膵臓の解剖と生理、検査法、肝胆膵疾患各論①	蒲地 浩文
8	肝胆膵疾患	肝臓・胆道・膵臓の解剖と生理、検査法、肝胆膵疾患各論②	蒲地 浩文
9	肝胆膵疾患	肝臓・胆道・膵臓の解剖と生理、検査法、肝胆膵疾患各論③	蒲地 浩文
10	代謝性疾患	代謝調節の仕組み、代謝性疾患各論①	大隈 俊明
11	代謝性疾患	代謝調節の仕組み、代謝性疾患各論②	大隈 俊明
12	内分泌疾患	内分泌系とホルモンの解剖と生理、検査法、内分泌疾患各論①	石井 正夫
13	内分泌疾患	内分泌系とホルモンの解剖と生理、検査法、内分泌疾患各論②	石井 正夫
14	腎疾患	腎臓の解剖と生理、主要な症候、検査法、腎疾患各論	恒吉 章治

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
内科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
北園 孝成					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	泌尿器疾患	泌尿器の解剖と生理、主要な症候、検査法、泌尿器疾患各論	吉田 毅

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

授 業 概 要

神経内科領域の疾患について理解を深めることを目的に、神経内科学Ⅰで学んだ知識に基づき、各神経疾患の病因・症状・診断・治療・予後について学ぶ。また、各疾患とリハビリテーションに関連する事項について学ぶ。

到 達 目 標

1. 各疾患に関係する神経系の構造と機能について説明することができる
2. 各疾患の病因・病状・診断・治療・予後について説明することができる
3. 各疾患とリハビリテーションに関連する事項について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする
事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

筆記試験（100%）

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	脳血管障害	脳血管障害の病因・症状・診断・治療・予後①	山口浩雄
2	脳血管障害	脳血管障害の病因・症状・診断・治療・予後②	山口浩雄
3	認知症	認知症の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
4	脳腫瘍	脳腫瘍の病因・症状・診断・治療・予後	福山幸三
5	外傷性脳損傷	外傷性脳損傷の病因・症状・診断・治療・予後	福山幸三
6	脊髄疾患	脊髄疾患の病因・症状・診断・治療・予後	整形外科医
7	変性疾患と脱髄疾患	変性疾患と脱髄疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
8	錐体外路の変性疾患	錐体外路の変性疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
9	末梢神経障害	末梢神経障害の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
10	てんかん	てんかんの病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
11	筋疾患	筋疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
12	感染性疾患	感染性疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
13	中毒性疾患と栄養欠乏	中毒性疾患および栄養欠乏による神経疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
14	小児神経疾患	脳性麻痺、二分脊椎、ダウン症候群、先天性代謝異常の病因・症状・診断・治療・予後	小児科医

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
神経内科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	合併症	廃用症候群、誤用症候群、排尿障害、性機能障害	山口浩雄

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
整形外科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
関矢 仁					演習	

授 業 概 要

整形外科学Ⅰ（総論）で学んだ知識を踏まえ、人体の各関節における代表的な疾患や外傷に関する病態や診断、治療方法についてより詳細に学ぶ。また、各関節疾患のリハビリテーションを行うにあたり、留意すべき事項について理解する。

到 達 目 標

1. 各関節における代表的な疾患の病態について説明することができる
2. 各関節疾患における検査および治療について説明することができる
3. 各関節疾患のリハビリテーションを行う際に留意すべき事項について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

対 応 D P

評 価

筆記試験（100%）

教 科 書

1. 標準整形外科学 第14版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
整形外科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	肩関節	肩関節の機能解剖、診察・検査法、肩関節の疾患（先天異常、不安定症、変性疾患、関節症、スポーツによる障害、他）	半仁田 勉
2	肘関節	肘関節の機能解剖、診察・検査法、肘関節の疾患（小児に好発する疾患、成人以降に好発する疾患、先天異常、他）	半仁田 勉
3	股関節	股関節の機能解剖、診察・検査法、股関節の疾患（小児・成人の疾患）と手術	半仁田 勉
4	手関節と手	手の機能解剖、診察・検査法、手の疾患（外傷、拘縮と変形、炎症性疾患、骨壊死、神経麻痺、循環障害、CRPS、腫瘍、先天異常、他）	関矢 仁
5	頸椎	脊柱の機能解剖、診察・検査法、頸椎疾患（斜頸、先天異常、変性疾患、炎症性疾患、破壊性疾患）	関矢 仁
6	胸郭・胸椎・腰椎	胸郭・胸椎・腰椎の機能解剖、診察・検査法、疾患（先天異常、変形、変性疾患、分離症、すべり症、炎症性疾患、腫瘍、他）	半仁田 勉
7	外傷総論	外傷の概要、捻挫と脱臼、骨折	半仁田 勉
8	軟部組織損傷	皮膚・皮下組織損傷、筋・腱損傷、血管損傷、靭帯損傷、区画症候群、捻挫症候群	半仁田 勉
9	膝関節	膝関節の機能解剖、診察・検査法、膝関節の疾患（半月板損傷、靭帯損傷、膝外大腿関節障害、関節症、炎症性疾患、腫瘍、他）	関矢 仁
10	足関節と足	足関節の機能解剖、診察・検査法、足関節の疾患（足部変形、麻痺、過剰骨障害、絞扼性神経障害、骨端症、無腐生壊死、外傷後足障害、他）	関矢 仁
11	骨折・脱臼	肩関節・上腕骨骨幹部・肘関節・前腕部・手の骨折と脱臼	半仁田 勉
12	骨折・脱臼	胸郭・骨盤・股関節・大腿骨骨幹部・膝関節・下腿骨・足関節・足部の骨折と脱臼	半仁田 勉
13	脊椎・脊髄損傷	脊椎と脊髄の解剖、脊髄損傷、脊椎損傷	半仁田 勉
14	末梢神経損傷	末梢神経損傷の病態・原因・診断・治療、代表的な末梢神経損傷	関矢 仁

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	スポーツと整形外科	代表的なスポーツ外傷とスポーツ障害	関矢 仁

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西村 良二					演習	

授 業 概 要

精神医学Ⅰで学んだ精神疾患や精神障害に関する基礎的知識に基づき、ライフサイクルも含めたより広い社会的支援の観点から精神障害を有する対象者へのアプローチについて学ぶ。また、医療施設のみならず、学校や地域社会における近年のメンタルヘルス問題について学ぶ。

到 達 目 標

1. 精神障害を有する対象者への医療的支援および社会的支援の概要について説明することができる
2. ライフサイクルにおける精神医学の特徴について説明することができる
3. 学校や社会におけるメンタルヘルスの問題について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

対 応 D P

評 価

レポート(20%) 定期試験 (80%)

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西村 良二					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	コンサルテーション・リエゾン精神医学	西村 良二
2	心身症	心身医学の概念、心身症の定義と概要、心身症の診断と治療①	
3	心身症	心身医学の概念、心身症の定義と概要、心身症の診断と治療②	
4	ライフサイクルにおける精神医学	小児期・青年期の精神医学	
5	ライフサイクルにおける精神医学	成人期の精神医学	
6	ライフサイクルにおける精神医学	初老期および老年期の精神医学	
7	精神障害の治療とリハビリテーション	治療とリハビリテーションの目標・方法・種類・場・流れ	
8	精神障害の治療とリハビリテーション	薬物療法（向精神薬療法）	
9	精神障害の治療とリハビリテーション	身体療法と精神療法、社会的治療とリハビリテーション	
10	精神科保健医療と福祉	精神障害者の処遇の歴史、精神保健福祉法、障害者総合支援法	
11	精神科保健医療と福祉	精神科医療の現状と課題	
12	精神科保健医療と福祉	職業リハビリテーション、障害者雇用・就労の形態、雇用政策	
13	社会・文化とメンタルヘルス	精神の病と社会、学校におけるメンタルヘルス、職場のメンタルヘルス	
14	社会・文化とメンタルヘルス	家庭のメンタルヘルス、社会現象とメンタルヘルス	

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神医学Ⅱ（各論）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西村 良二					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	定期試験テスト	

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
老年学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
大中 佳三					演習	

授 業 概 要

加齢による身体の各系および器官の機能的変化について学ぶとともに、高齢者に多い疾患や症候の概要を理解し、健康長寿のための医療的および社会的アプローチの重要性について学ぶ。

到 達 目 標

1. 加齢による身体機能の変化について説明することができる
2. 高齢者に多い疾患の概要について説明することができる
3. 高齢者を取り巻く社会福祉について説明することができる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと

事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うとともに、各回の講義終了時に指示される課題についてまとめること

対 応 D P

評 価

定期試験（80%）、各回の課題レポート（20%）

教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

参 考 図 書

留 意 事 項

--

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
大中 佳三					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	老化と老年病の考え方	老化の定義と機序、高齢者の定義と分類、平均寿命・平均余命・健康寿命、老年病の成り立ち	大中 佳三
2	加齢に伴う生理機能の変化	高齢者の生理機能の特徴、感覚機能・自律機能・高次脳機能の加齢変化	大中 佳三
3	加齢に伴う運動機能の変化	高齢者の運動機能の特徴、神経系・骨格筋の加齢変化	大中 佳三
4	高齢者に多い症候と老年症候群	老年症候群の概念、代表的な老年症候群（各種症候と障害）	大中 佳三
5	老化と循環器疾患	血圧異常、不整脈、虚血性心疾患、弁膜症、心筋・心疾患、心不全、フレイルと循環器疾患、高齢者の血管疾患	山口 浩雄
6	老化と呼吸器疾患	呼吸器感染症、誤嚥性肺炎、肺癌、閉塞性肺疾患、間質性肺炎	山岡 賢俊
7	老化と消化器疾患	消化器癌、上部・下部消化管疾患、肝疾患、胆道・膵疾患	寺坂 禮治
8	老化と神経疾患	脳血管障害、パーキンソン病、びまん性Lewy小体型認知症、血管障害性パーキンソニズム、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、末梢神経障害	山口 浩雄
9	老化と内分泌疾患	糖尿病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、原発性副腎不全	石井 正夫
10	老化と血液・免疫疾患	血液疾患（AML・MDS・リンパ腫・他）、膠原病（RA・PMR・GCA・他）	田口 文博
11	老化と運動器疾患	骨粗鬆症、変形性関節症、腰部脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、関節リウマチ	半仁田 勉
12	老化と感染症	感染症の特徴と原因、各臓器の特徴的な感染症	鄭 湧
13	老化と眼疾患	加齢白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、網膜動脈閉塞症、加齢黄斑性症	村田 浩司
14	高齢者福祉と社会資源	高齢者医療の特徴と諸問題、高齢者のリハビリテーションを取り巻く社会資源	大中 佳三

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年学	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
大中 佳三					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	まとめ 老年医学とリハビリテーション	大中 佳三

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
救急救命医学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
角 秀 秋					講義	

授 業 概 要

救急医療に関する基礎的な知識（救急医療体制、医学的処置）について理解を深めるとともに、救急疾患の概要（病態、診断および治療）を学ぶ。また、救急医療の現場における理学療法士・作業療法士の役割について学ぶ。

到 達 目 標

1. 救急医療体制と法的諸問題、リハビリテーションの役割について説明することができる
2. 救急初療で行われる各種処置の概要について理解する
3. 救急疾患の病態、治療の概要について理解する
4. 患者急変時の初期対応、理学療法士・作業療法士が関わる救急救命処置について理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に示された資料を予習する
 事後学修：学修した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

筆記試験（100%）

教 科 書

配布資料

参 考 図 書

1. 標準救急医学（医学書院）、2. リハベーシック安全管理学・救急医療学（医歯薬出版）、3. リハビリテーションリスク管理ハンドブック（medical view）

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
救急救命医学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
角 秀秋					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	救急救命医学の概要、救急医療体制、法的諸問題 救急・集中医療におけるリハビリテーション総論、医療安全	角 秀秋
2	救急初療に必要な処置	一次・二次救命処置、気道確保、静脈路確保、中心静脈・動脈カニューレ ション、胃チューブ、SBチューブ、尿道カテーテル、心嚢穿刺、胸腔穿刺、 輸液、輸血、救急医薬品	角 秀秋
3	症状・兆候からみた救急疾患①	救急診断、バイタルサイン、緊急度・重症度評価、トリアージ、治療 緊急検査、画像検査	角 秀秋
4	症状・兆候からみた救急疾患②	ショック、呼吸困難、意識障害、頭痛、胸痛、腹痛、腰背部痛、嘔吐、吐 血、下痢、脱水、下血、尿異常	角 秀秋
5	重症救急患者の管理	生体侵襲と生体反応、循環管理、呼吸管理、意識障害患者の管理、体液管 理、血液浄化	角 秀秋
6	内因性の救急疾患	中枢神経系、呼吸器系、循環器系、消化器系、内分泌代謝系、腎泌尿器系 産婦人科	角 秀秋
7	外傷、災害医療	外傷、熱傷、急性中毒、熱中症 災害医療総論、医療体制、自然災害	角 秀秋
8	小児の救急疾患 リハビリテーション安全管理 ICUリハビリテーション	小児救急の全身評価、小児の心肺蘇生、発熱、けいれん、腹痛、呼吸障害、 血糖異常、小児虐待 安全管理・推進のガイドライン、ICU早期リハ	角 秀秋

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法研究法	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
奈良 進弘					演習	

授 業 概 要

作業療法実践を検証し、エビデンスを蓄積するための研究は、作業療法実践の質と効率を高めるために重要である。作業療法学科の課程で修得した知識や技術の深化・統合を基盤として、実践上の課題や疑問の中から研究疑問を導き、その解決に向けて、適切な方法を考え、検証するための知識と技術の修得することが、作業療法研究法の目的である。作業療法研究を進めるために必要な文献資料検索法や整理の方法、研究疑問、研究の実施における倫理、作業療法で用いられる研究技法、量的および質的研究データの処理法、研究成果のまとめ方と発表の仕方などについて学修する。

到 達 目 標

1. 科学の発展に研究が果たした貢献を説明できる
2. 作業療法実践における研究の意義を説明できる
3. 作業療法の研究実施に際して必要となる倫理的配慮を説明できる
4. 主題を設けて研究論文の検索を効率的に行うことができる
5. 作業療法研究で用いることのできる研究技法について説明することができる
6. 事例を基にした研究の方法を説明できる
7. 研究データの処理方法を説明できる
8. 研究成果の発表の方法を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：学習支援システムを利用して単元毎に提示される事前学修についての課題（リーディング課題と調査型課題）を行い、それらを基にして行われる単元での学修に備えること
 事後学修：各単元の終了時に、まとめ課題と発展課題を提示する。まとめ課題の実施によって、各自の学修状況を自己評価し、必要に応じて補修を行うこと。十分な学修の基で、発展課題を行い、学修の定着と深化を測ること

対 応 D P

◎ 自己実現を成し遂げるために、生涯にわたって人格の涵養に努め、作業療法の本質を主体的に探究する素養を有している。

評 価

総合的に判断する（筆記試験60%、事前課題15%、まとめ課題15%、発展課題10%）

教 科 書

山田 孝，長谷 龍太郎（編） 作業療法研究法（標準作業療法学 専門分野） 医学書院 2011

参 考 図 書

留 意 事 項

授業については講義と演習を組み合わせる効果的に実施する。着任前の教員の担当単元の開講日時は、時間割と異なる可能性がある：その場合は掲示等で連絡する。

オ フィ ス ア フ ー 等

奈良進弘 月曜日・火（13:00-18:00）、木曜日（13:00-18:00）研究室

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法研究法	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
奈良 進弘					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	科学と研究	人間の生活を豊かにした科学とその発展に、研究がどのように貢献してきたかを概観し、将来の医療福祉専門職としてどのように取り組むべきかを考える	川原田淳
2	作業療法研究の意義	作業療法研究の意義を考え、様々な作業療法実践に対して、どのような研究が必要とされるのかを考える	奈良進弘
3	根拠に基づく実践と研究	根拠に基づく作業療法の実践を支える研究のあり方と進め方を整理する	田中悟郎
4	研究計画と倫理	作業療法研究の計画を立案するために必要となる研究倫理を学び、そのための手順を理解する	田中悟郎
5	研究疑問と研究デザイン	研究疑問を導き、その疑問を解決するために必要となる研究デザインを考える手順を整理する	川原田淳
6	文献検索	膨大な研究成果が記録されている文献を効率的に、そして機能的に探索し、知見を整理する方法を学ぶ	奈良進弘
7	研究方法の種類	作業療法研究で用いられる方法の種類の特徴を整理し、それぞれの適応を学ぶ	奈良進弘
8	システマティック・レビュー	異なる複数の論文で報告されている結果を、新たな枠組みの上で取り纏めることで、より質の高い結果を導き出すシステマティック・レビューの方法を学び、作業療法研究での適用について考える	奈良進弘
9	調査研究	質問紙や聞き取りなどの手段を利用する調査研究の実施方法について学び、作業療法研究での適用について考える	奈良進弘
10	実験研究	研究対象や研究試行についての条件を統制し、それらの異なる条件間での試行成績の比較する実験研究の実施方法について学び、作業療法研究での適用について考える	奈良進弘
11	実践事例研究	実践対象について、実施した介入と対象の状態の経過を取り纏め、介入と経過の関連について検討する実践事例研究について学び、作業療法研究での適用について考える	奈良進弘
12	シングルシステムデザイン法	単一あるいは少数事例に対する介入において、ベースライン期と介入実施期の間で収集された情報の比較によって介入の影響を検討するシングルシステムデザイン法について学び、作業療法研究での適用について考える	奈良進弘
13	質的研究	ナラティブや観察などの定量化されない情報を基に行われる質的研究について学び、作業療法研究での適用について考える	奈良進弘
14	データ処理法	研究結果として得られたデータを処理する方法を学び、作業療法研究における活用法を考える	奈良進弘

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法研究法	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
奈良 進弘					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	研究成果の発表	研究成果の発表の手順について学び、それぞれで必要となる方法を学ぶ	奈良進弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
身体機能評価学演習Ⅱ（中枢神経系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 伸吾、永井 邦明					演習	

授 業 概 要

作業療法評価法のなかで身体機能評価（中枢神経系）に用いられる協調性検査、感覚検査、上肢機能検査、高次脳機能評価、医用画像評価等の具体的技法について演習形式で学修する。身体機能領域における作業療法の基本となる評価技術であり、患者と作業療法士の役割を設定しながら学修し、レポートを作成する。

到 達 目 標

1. 学生は身体機能評価（中枢神経系）に用いられる検査の枠組みを説明できる
2. 学生は身体機能評価（中枢神経系）に用いられる検査間の関連性を説明できる
3. 学生は身体機能評価（中枢神経系）に用いられる検査に必要な器具、実施手順、リスク管理について説明できる
4. 学生は医用画像評価から、起こりうる症状について列挙することができる
5. 学生は片麻痺機能テスト（BRS, 上田式）、高次脳機能評価（MMSE）を適切に実施できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

対 応 D P

◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

レポート課題（20%）、実技試験（40%）、筆記試験（40%）

教 科 書

能登真一ら編：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版，医学書院，2017

参 考 図 書

能登真一編：標準作業療法学 専門分野 高次脳機能障害作業療法学 第2版，医学書院2019

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

作業療法士としての臨床経験を基に講義を行う。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
身体機能評価学演習Ⅱ（中枢神経系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 伸吾、永井 邦明					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション、上肢機能検査（一般的な上肢機能検査）	一般的な上肢機能検査について説明し、演習形式で学修する（STEF, Purdue Pegboard Test等）	山根伸吾 永井邦明
2	筋緊張検査	筋緊張検査について説明し、演習形式で学修する	山根伸吾 永井邦明
3	反射検査、姿勢反射検査	反射検査、姿勢反射検査について説明し、演習形式で学修する	山根伸吾 永井邦明
4	上肢機能検査（脳卒中片麻痺を対象とする検査）1	脳卒中片麻痺を対象とする上肢機能検査について説明し、演習形式で学修する（MFT, 片麻痺機能テスト, SIAS, WMFT, MAL等）	山根伸吾 永井邦明
5	上肢機能検査（脳卒中片麻痺を対象とする検査）2	脳卒中片麻痺を対象とする上肢機能検査について説明し、演習形式で学修する（MFT, 片麻痺機能テスト, SIAS, WMFT, MAL等）	山根伸吾 永井邦明
6	感覚検査	感覚検査について説明し、演習形式で学修する	山根伸吾 永井邦明
7	協調性検査、脳神経検査	協調性検査、脳神経検査について説明し、演習形式で学修する	山根伸吾 永井邦明
8	脳卒中片麻痺の方を対象とした評価のまとめ	脳卒中片麻痺の方を対象とした評価のまとめを行う	山根伸吾 永井邦明
9	高次脳機能の評価（包括的評価）	高次脳機能評価について説明し、演習形式で学修する（MMSE, HDS-R, レーヴン色彩マトリシス検査, WAIS-IV, コース立方体組み合わせテスト, MoCA-J等）	山根伸吾 永井邦明
10	高次脳機能の評価（記憶障害、注意障害）	高次脳機能評価について説明し、演習形式で学修する（RBMT, WMS-R, ベントン視覚記憶力検査、レイの複雑図形検査、三宅式記憶力検査、PASAT, AMM, CAT等）	山根伸吾 永井邦明
11	高次脳機能の評価（失語、失行）	高次脳機能評価について説明し、演習形式で学修する（SLTA, SPTA等）	山根伸吾 永井邦明
12	高次脳機能の評価（失認、半側空間無視）	高次脳機能評価について説明し、演習形式で学修する（VPTA, CBS, BIT等）	山根伸吾 永井邦明
13	高次脳機能の評価（遂行機能障害、社会行動障害）	高次脳機能評価について説明し、演習形式で学修する（Stroop test, TMT, WCST, BADS, FAB, Fluency test, CAS, ハノイの塔, 仮名ひろいテスト等）	山根伸吾 永井邦明
14	高次脳機能の評価のまとめ	高次脳機能の評価のまとめを行う	山根伸吾 永井邦明

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
身体機能評価学演習Ⅱ（中枢神経系）	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山根 伸吾、永井 邦明					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	脳血管障害・頭部外傷の評価	左記の疾患を例に挙げ、これまで説明してきた評価がどのように使用されているのか統合的にディスカッションする	山根伸吾 永井邦明

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
発 達 期 評 価 学 演 習	2023年 度	作 業 療 法 学 科	1 単 位	30 時 間	必 修	2 年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小 西 紀 一、角 田 孝 行					演 習	

授 業 概 要

作業療法評価法のなかで発達期の評価に用いられる、発達のスクリーニング検査（DDST等）、運動発達検査（粗大運動、微細運動、口腔機能、姿勢反射、運動年齢検査、立ち直り反応、平衡反応、ADL検査等）、知覚・認知機能検査（知的能力検査、視知覚発達検査、感覚統合能力検査、日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査JMAP）、遊び・社会性の発達検査等の具体的技法について演習形式で学修する。また、発達期のこどもの評価のポイントや評価室の環境についても学修する。

到 達 目 標

1. 発達障害を生じる代表的疾患における基本的な作業療法評価について理解する
2. 発達障害を生じる代表的疾患における評価について説明できる
3. 疾患ごとの作業療法評価について模擬実践できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各講義において事前に準備物や配布物がある場合があります。目を通しておいてください
事後学修：教科書、配布資料を元に復習をしておくこと

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。

評 価

提出物30%、随時行う小テスト70%にて判定する

教 科 書

矢谷令子 他 標準作業療法学専門分野作業療法評価学 医学書院

参 考 図 書

1. 矢谷令子, 他. 標準作業療法学専門分野発達過程作業療法学, 医学書院
2. Eva Bower, 脳性麻痺児の家庭療育, メジカルビュー社
3. 土田玲子, 子供の理解と援助のために感覚統合Q&A, 協同医書出版

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（11時～12時）・木曜日（17時～18時）・金曜日（15時～16時）研究室
メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
発達期評価学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 紀一、角田 孝行					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 発達期の評価について	オリエンテーションと発達期の作業療法評価の特徴	小西 紀一 角田 孝行
2	発達障害の評価 自閉スペクトラム症（1）	自閉症スペクトラム症における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
3	発達障害の評価 自閉スペクトラム症（2）	自閉症スペクトラム症における理解と評価法の実践	小西 紀一 角田 孝行
4	発達障害の評価 注意欠如/多動症	注意欠如/多動症における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
5	発達障害の評価 発達性協調運動障害	発達性協調運動障害における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
6	発達障害の評価 情緒障害/不登校	情緒障害/不登校における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
7	感覚統合療法の概念と基礎的評価（1）	感覚統合療法の基本的概念と評価	小西 紀一 角田 孝行
8	感覚統合療法の概念と基礎的評価（2）	感覚統合療法の基本的概念と評価の実践	小西 紀一 角田 孝行
9	発達障害の評価 新生児疾患	新生児疾患における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
10	発達障害の評価 脳性麻痺（1）	脳性麻痺における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
11	発達障害の評価 脳性麻痺（2）	脳性麻痺における理解と評価の実践	小西 紀一 角田 孝行
12	発達障害の評価 重症心身障害児	重症心身障害児における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
13	発達障害の評価 骨関節疾患・二分脊椎症	骨関節疾患・二分脊椎症における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行
14	発達障害の評価 進行性筋ジストロフィー	進行性筋ジストロフィーにおける理解と評価	小西 紀一 角田 孝行

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
発達期評価学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 紀一、角田 孝行					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	発達障害の評価 知的発達障害	知的発達障害における理解と評価	小西 紀一 角田 孝行

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法臨床推論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
奈良 進弘					講義	

授 業 概 要

人々に対して専門性の見地から助言や支援を行う専門職の「専門知」の構築過程を明らかにし、それぞれの専門職がその過程について行っている省察を探究した文化人類学の研究を医療専門職に拡大したものが、臨床推論である。作業療法の臨床推論は、80年代から始まり、作業療法士の専門知についての「メタ認知」の解明は、様々な作業療法の実践や教育分野で実施され、実践方法の改善や考え方の整理、熟練者の考え方を初心者に伝える教育方法への知見などがもたらされている。作業療法臨床推論では、様々な観点から情報を捉え、実践を導くプロセスとそのプロセスそのものの「メタ認知」について、探究し、作業療法とその発展の基盤となる知識を学修する。

到 達 目 標

1. 作業療法実践における臨床推論の役割を説明できる
2. 作業療法における科学的推論、手続き的推論、プラグマティック推論、相互的推論、ナラティブ推論、および条件的推論について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：単元毎に提示される事前学修についての課題（リーディング課題と調査型課題）を行い、それらを基にして行われる単元での学修に備えること

事後学修：各単元の終了時に、まとめ課題と発展課題を提示する。まとめ課題の実施によって、各自の学修状況を自己評価し、必要に応じて補習を行うこと。十分な学修の基で、発展課題を行い、学修の定着と深化を図ること

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- ◎ 価値のある作業をととして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

総合的に判断する（筆記試験60%、事前課題15%、まとめ課題15%、発展課題10%）

教 科 書

参考図書として提示した書籍の解説資料を開講前にMoodle上で配布する

参 考 図 書

Barbara A. Boyt Schell & John W. Schell. Clinical and Professional Reasoning in Occupational Therapy (2nd Ed). Walters Kluwer, Philadelphia, 2018

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（15時～16時）・火、木曜日（11時～12時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
作業療法臨床推論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
奈良 進弘					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	臨床推論：セラピストは何を考えているか	臨床推論について、その基本的概念を理解するために、代表的な実践場面で推論を具体的に紹介する	奈良進弘
2	作業療法臨床推論	作業療法実践についての臨床推論が、どのように探求され、構造化されてきたか、これまでの経過を整理する	奈良進弘
3	生態学的モデルによる作業療法臨床推論	対象、作業療法士、及び実践文脈という観点から作業療法臨床推論を考える生態学的モデルについて学ぶ	奈良進弘
4	作業療法臨床推論の様相	多様な作業療法実践を反映した作業療法臨床推論を多層的に概観し、それぞれの様相の紹介と相互関係性について整理する	奈良進弘
5	科学的臨床推論	仮説検定、パターン認識、理論に基づく意思決定、統計学的証拠などの論理的および科学的手法を使用する科学的臨床推論について学び、セラピストの認識がどのように判断や決定に結びつくかを検討する	奈良進弘
6	手続き的臨床推論	検査・評価方法や介入手段などの選択根拠などについての推論を行う手続き的臨床推論について学び、セラピストの認識がどのように判断や決定に結びつくかを検討する	奈良進弘
7	プラグマティック臨床推論	サービスを提供するための支援制度や支援者の役割などの情報を基に援助するための推論を行うプラグマティック臨床推論について学び、セラピストの認識がどのように判断や決定に結びつくかを検討する	奈良進弘
8	相互的臨床推論	対象者やその周囲の人たち、そしてセラピストの相互関係性についての情報をもとに推論を行う相互的臨床推論について学び、セラピストの認識がどのように判断や決定に結びつくかを検討する	奈良進弘
9	ナラティブ臨床推論	対象者やその周囲の人たちのナラティブの分析をもとに推論を行うナラティブ臨床推論について学び、セラピストの認識がどのように判断や決定に結びつくかを検討する	奈良進弘
10	倫理的臨床推論	各職能団体による倫理綱領などの倫理原則に基づき推論を行う倫理的臨床推論について学び、セラピストの認識がどのように判断や決定に結びつくかを検討する	奈良進弘
11	医療場面での実践における作業療法臨床推論	様々な医療場面における作業療法実践において、熟練程度の異なるセラピストの実践判断を具体的な実践文脈の中で比較し、医療場面での臨床推論について検討する	奈良進弘
12	在宅支援における作業療法臨床推論	様々な在宅支援における作業療法実践において、熟練程度の異なるセラピストの実践判断を具体的な実践文脈の中で比較し、在宅支援での臨床推論について検討する	奈良進弘
13	作業療法教育と臨床推論	臨床推論の学修過程をサポートする教育理念と作業療法実践教育との関係性の整理し、作業療法臨床推論の学修と深化について検討する	奈良進弘
14	作業療法実践マネジメントと臨床推論	様々な場面での作業療法実践マネジメントの比較を通じて、作業療法臨床推論のあり方について検討する	奈良進弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
作業療法臨床推論	2023年度	作業療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
奈良 進弘					講義	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	作業療法臨床推論と作業療法学の発展	これまでの学修を基に、改めて作業療法臨床推論の全体像を俯瞰し、作業療法実践の展開と発展の視点から作業療法臨床推論について検討する	奈良進弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生活行為向上マネジメント	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
谷川 良博					講義	

授 業 概 要

生活行為向上マネジメントは作業療法士が対象とする方々の生活行為を中心に、アセスメントの手法やマネジメントを駆使して生活を支援する方法の一つである。特に、生活行為向上マネジメントは、①活動から参加までを包括的にとらえる視点、②過去から現在、将来まで連続している包括的視点、③作業の広がりを含む包括的視点が含まれている。講義と演習を経験して、これらの包括的視点を養うことを目標とする。

到 達 目 標

1. 生活行為と生活行為の障害について説明できる
2. 生活行為向上マネジメントのプロセスについて説明できる
3. 生活行為向上マネジメントの各シートの使用方法と目的を説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：次回範囲のテキスト読書
 事後学修：配布資料および各シートの理解

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- ◎ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

講義内発表（40%）、筆記試験（60%）

教 科 書

日本作業療法士協会 監：作業の捉え方と評価・支援技術，医歯薬出版，2012

参 考 図 書

日本作業療法士協会 編：作業療法マニュアル66 生活行為向上マネジメント 改訂第3版，2018

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火曜日（15時～16時）・金曜日（11時～12時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活行為向上マネジメント	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
谷川 良博					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	生活行為向上マネジメントの背景	生活行為向上マネジメントを活用するために、背景、理論的位置づけ、用語の理解について学ぶ。	谷川良博
2	生活行為向上マネジメントの考え方1	生活行為の分類と内容について理解し、その連続性について学ぶ。	谷川良博
3	生活行為向上マネジメントの考え方2	生活行為の障害について、国際生活機能分類（ICF）を中心に整理し、作業療法との関連について学ぶ。	谷川良博
4	生活行為向上マネジメントのプロセス	生活行為向上マネジメントのプロセスでは、インテーク、アセスメント、プランニングに移行する。これらの過程におけるマネジメントの重要性について学ぶ。	谷川良博
5	評価指標	生活行為向上マネジメントで用いられる評価指標について、各評価の活用方法、内容について学ぶ。	谷川良博
6	模擬事例を用いた演習1	提示された事例をもとに、生活行為向上マネジメントの各種シートを用いて演習を進める。生活行為聞き取りシートか、興味関心チェックシート等を使用する。	谷川良博
7	模擬事例を用いた演習2	提示された事例をもとに、生活行為向上マネジメントの各種シートを用いて演習を進める。生活行為アセスメント演習シート、生活行為課題分析シート等を使用する。	谷川良博
8	模擬事例を用いた演習3	提示された事例をもとに、生活行為向上プラン演習シートを用いてグループ発表する。	谷川良博

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
日常生活支援学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山根 伸吾、永井 邦明					演習	

授 業 概 要

代表的なADLやQOLの評価とADLへの介入について演習形式で学修する。片麻痺や対麻痺・四肢麻痺者の移動(歩行、車いす)や起居(寝返り、起き上がり、座位)の実演と演習を行う。また、作業療法で関わることが多い疾患を有するクライアントの食事や排泄、更衣、入浴、整容、コミュニケーションの自立をサポートする自助具を体験し製作する。

到 達 目 標

1. ADL支援のプロセスを説明できる
2. ADLへの基本的な支援方法について説明できる
3. 疾患特性とADL上の障害の関連性を説明できる
4. 基本的な起居動作・移乗の技術を身につけている
5. 自助具が代償する機能を説明できる
6. 作業療法士のADL支援の特徴について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当する教科書のページを30分程度熟読すること
 事後学修：講義内容を踏まえて、教科書を30分程度読みなおし、理解を深めること

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- ◎ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

実技試験 (40%) , 福祉用具発表 (30%) , 筆記試験 (30%)

教 科 書

濱口編 標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 医学書院 2014

参 考 図 書

伊藤利之ら編 新版 日常生活活動 (ADL) 第2版 評価と支援の実際 医歯薬出版 2020

留 意 事 項

オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日 (13時~14時) 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

作業療法士としての臨床経験を基に授業を行う

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
日常生活支援学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
山根 伸吾、永井 邦明					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	ADLを支援するために、ADLの治療理論	ADL支援の流れと、治療理論について講義する	山根伸吾 永井邦明
2	食事、整容（脳血管障害を中心に）	食事、整容について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
3	更衣（脳血管障害を中心に）	更衣について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
4	排泄（脳血管障害を中心に）	排泄について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
5	入浴（脳血管障害を中心に）	入浴について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
6	基本動作とADL（寝返り、起き上がり）（脳血管障害を中心に）	寝返りと起き上がりについて、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
7	基本動作とADL（立ち座り、移乗）（脳血管障害を中心に）	立ち上がりと移乗について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する。	山根伸吾 永井邦明
8	基本動作とADL（移乗、床上動作、歩行）（脳血管障害を中心に）	移乗と床上動作について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
9	基本動作とADL（移乗、床上動作、歩行）（脳血管障害を中心に）	移乗と歩行について、実演と演習を行う 疾患特性による左記の活動についても説明する	山根伸吾 永井邦明
10	基本動作まとめ	基本動作に関するまとめを行う	山根伸吾 永井邦明
11	運動器障害・整形外科疾患のADL	運動器障害・整形外科疾患のADLについて説明する	山根伸吾 永井邦明
12	運動器障害・整形外科疾患のADL	運動器障害・整形外科疾患のADLについて説明する	山根伸吾 永井邦明
13	福祉用具の発表	ADLに用いる福祉用具について、事前に調べ、その機能や特徴について、プレゼンテーションを行い、ディスカッションを行う	山根伸吾 永井邦明
14	IADL支援	IADLに関する介入について、ディスカッションを行う	山根伸吾 永井邦明

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
日常生活支援学演習	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山根 伸吾、永井 邦明					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	在宅でのADL支援	在宅におけるADL支援例を提示し、ディスカッションを行う	山根伸吾 永井邦明

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
高次脳機能作業療法学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 伸吾					講義	

授 業 概 要

基礎作業療法学や作業療法評価学で学んだ知識・技術をもとに作業療法の特性を生かした介入法を学修する。脳血管障害や頭部外では、人が生活行為を遂行していく上で、その行為を困難にする高次脳機能障害が出現することが多く、その機序や具体的な対応方法を学んでおく必要がある。この授業では、失語、失行、失認の特性や作業療法の介入方法の具体例を学修する。

到 達 目 標

1. 高次脳機能障害の各症状の概要を説明できる
2. 高次脳機能障害の特性と生活上の障害の関連性を説明できる
3. 高次脳機能障害を有する方への作業療法介入について説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当する教科書のページを30分程度熟読すること
 事後学修：講義内容を踏まえて教科書を参照しながら、30分程度復習すること

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- ◎ 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

筆記テスト100%（授業内小テストを含む）

教 科 書

能登真一編 標準作業療法学専門分野高次脳機能障害作業療法学 医学書院 2019

参 考 図 書

鎌倉矩子 高次脳機能障害の作業療法 美輪書店 2010
 鈴木孝治 他 高次脳機能障害マエストロシリーズ 医歯薬出版 2006

留 意 事 項

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

火曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

高次脳機能障害のある方への作業療法士としての臨床経験を基に授業を行う。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
高次脳機能作業療法学	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 伸吾					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	高次脳機能障害の概要、高次脳機能障害の方への作業療法評価・介入について	高次脳機能障害の概要と、高次脳機能障害の方への作業療法プロセスについて説明する	山根伸吾
2	注意障害、失認	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾
3	記憶障害	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾
4	半側空間無視	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾
5	コミュニケーションの高次脳機能障害	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾
6	運動/動作の障害（失行）	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾
7	空間性認知と操作、身体意識の障害	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾
8	遂行機能障害、社会的行動障害	左記の障害の概要を説明し、特性の応じた作業療法について説明する	山根伸吾

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生活環境論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
川原田 淳、谷川 良博					演習	

授 業 概 要

地域リハビリテーションや訪問作業療法において、クライアントや家族の安心・安全、そして自立した生活を実現するためには、自宅のリフォームをはじめ住環境の改善が必要となる場合が多い。この授業では、そのために必要な知識や技術を学修する。また、ハード面だけでなく、そこに住む人の意向を重視することも学修する。

到 達 目 標

1. 生活環境の概念と障害児・者や高齢者に関連する法制度に関して理解する
2. 住宅改修を中心に福祉用具の利用も併せて、生活環境調整のための評価と実際を理解する
3. 地域環境も含めた生活環境整備における作業療法士の役割を理解する

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：学習支援システムを利用して単元毎に提示される事前学修についての課題（リーディング課題と調査型課題）を行い、それらを基にして行われる単元での学修に備えること

事後学修：各単元の終了時に、まとめ課題と発展課題を提示する。まとめ課題の実施によって、各自の学修状況を自己評価し、必要に応じて補修を行うこと。十分な学修の基で、発展課題を行い、学修の定着と深化をはかること

対 応 D P

◎ 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

評 価

総合的に判断する（筆記試験60%、事前課題15%、まとめ課題15%、発展課題10%）

教 科 書

配布資料

参 考 図 書

- ・野村敏、他『OT・PTのための住環境整備論（第2版）』三輪書店 2012<ISBN: 9784895904254>
- ・木村哲彦（監）『生活環境論 生活支援の視点と方法（第6版）』医歯薬出版 2010<ISBN: 9784263213452>
- ・日本作業療法士協会（監）『作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方、住環境整備』協同医書出版社 2009<ISBN: 9784763921277>
- ・伊藤利之他（編）『新版 日常生活活動（ADL）評価と支援の実践』医歯薬出版 2010<ISBN: 9784263213445>

留 意 事 項

事前学修・事後学修は非常に大切ですが、授業中に疑問を生じた場合はそのまませず積極的に質問を行うなど、なるべくその場で解決するようにしてください。授業については講義と演習を組み合わせ効果的に実施する。

オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火曜日（15時～16時）・木曜日（11時～12時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生活環境論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
川原田 淳、谷川 良博					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	住環境整備の意義①	①住環境とは、②我が国の住宅事情と住宅施策、③高齢者・障害者の住宅事情と住宅施策、などについて学ぶ	川原田淳
2	住環境整備の意義②	介護保険制度における住環境整備について学ぶ	川原田淳
3	住環境整備の進め方①	住環境整備の手法・過程・留意点について学ぶ	川原田淳
4	住環境整備の進め方②	①情報収集・評価、②多職種連携・作業療法士の役割、などについて学ぶ	川原田淳
5	建築知識の基本	①住環境整備に必要な建築用語、②図面の見方と見取図の書き方、などについて学ぶ	川原田淳
6	住環境整備の基本的配慮①	住宅部位や各室における住環境整備の配慮点について学ぶ	川原田淳
7	住環境整備の基本的配慮②	住宅の平面計画・インテリア・照明・冷暖房・非常時の対応・経費と維持管理などの住宅全般の配慮点について学ぶ	川原田淳
8	住環境整備と建築関連法規	住環境整備の際の建築制限について学ぶ	川原田淳
9	移動用福祉用具	リフト・段差解消機・階段昇降機・住宅用エレベーターなどの移動用福祉用具の機能・条件について学ぶ	川原田淳
10	福祉のまちづくり	福祉のまちづくりに関する取り組みの過程及び課題について学ぶ	川原田淳
11	都市構造の実態と課題	高齢者・障害者のまちの移動における歩道の特徴や機能に対し具体的な課題及び対策について学ぶ	川原田淳
12	住環境整備の実態把握①	住環境整備における他職種の役割、連携について学ぶ	川原田淳
13	住環境整備の実態把握②	住環境整備の実践例を通して、障害像等に合わせた手すりや福祉用具の適応について学ぶ	川原田淳
14	住環境整備の実態把握③	実際に手すりや福祉用具を使用し、住環境整備の一部を体験する	川原田淳

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活環境論	2023年度	作業療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
川原田 淳、谷川 良博					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	住環境整備の実態把握④	グループワークを通して、障害像等に合わせた住環境整備の方法について検討する	川原田淳

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
職業リハビリテーション	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中山 広宣					講義	

授 業 概 要

障害者の就労支援は作業療法士の重要な役割である。人生に働くことがどのような価値をもつのかという視点で、障害者の職業リハビリテーションを考える。身体障害者や精神障害者に関する、就労支援関連法規、就労移行支援事業所、障害者職業支援センター、地域包括支援センター、リワークプログラムなど、近年の障害者施策と福祉を理解して就労支援、地域支援のあり方を学ぶ。

到 達 目 標

1. 職業リハビリテーションの基本理念と概略を説明できる
2. 職業リハビリテーションに関する法規と施設を述べることができる
3. 身体障害者、精神障害者の職業リハビリテーションを説明できる

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書、配付資料等で予習し、疑問点を整理しておくこと。
事後学修：解決できなかった疑問点は教員に質問し解決すること。

対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の応用的動作能力または社会適応能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

評 価

筆記試験60点 レポート40点、 60点以上を合格

教 科 書

就労支援の作業療法 ー基礎から臨床実践までー 医歯薬出版, ISBN;978-4-263-26663-2C3047)

参 考 図 書

標準作業療法学 作業療法評価学第3版 医学書院,

留 意 事 項

グループ学習ではアクティブラーニング形式とするので、主体的・協力的に取り組むこと。レポートは期限を守ること。
3回の遅刻は1回の欠席とする。

オ フィ ス ア ワ ー 等

在室時は随時対応します。

実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
職業リハビリテーション	2023年度	作業療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
中山 広宣					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	職業リハビリテーション総論	職業リハビリテーションの概念と関連理論， ノーマライゼーション，バリアフリー，ユニバーサルデザイン， 自立生活運動，エンパワーメント，リカバリー，SDGsなど	中山広宣
2	職業リハビリテーション各論1	就労支援プログラム 援助付き雇用，過渡的雇用，カスタマイズ就業	中山広宣
3	職業リハビリテーション各論2	就労支援に関する法制度 障害者総合支援法，障害者雇用促進法	中山広宣
4	職業リハビリテーション各論3	就労支援に係る社会資源 生活支援機関，就労支援を担う私的・公的機関	中山広宣
5	職業リハビリテーション各論4	就労支援における評価と流れ 就労に伴う各種職業能力評価	中山広宣
6	職業リハビリテーション各論5	就労支援と作業療法（精神障害，身体障害）	中山広宣
7	職業リハビリテーション各論6	個別就労支援（IPS）の実際	中山広宣
8	職業リハビリテーション各論7	現状の問題点と課題（グループによる文献レビュー）	中山広宣

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
地域臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年通年(前期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

授 業 概 要

通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションにおいて作業療法士が実施する作業療法について見学を中心とした実習を行う。実習を通して、地域における作業療法の役割について学ぶ。

到 達 目 標

1. 対象者および指導者や関係職種とのコミュニケーションが行える。
2. 地域における社会資源（環境、制度、資源）の現状について報告することができる。
3. 地域リハビリテーションの作業療法の役割について報告することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

実習施設について、ホームページ等で調べる。実習の報告書を作成する。
集合時間厳守、実習施設からの注意事項を確認する。

対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとおして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

実習課題レポート20%、実習行動30%、実習後セミナーでの発表・ディスカッション50%

教 科 書

大熊明/加藤朋子 編：標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 医学書院 2017

参 考 図 書

田仁史 著 地域リハビリテーション言論Ver.7
池田由里子他 著 REHABILITATION LIFE

留 意 事 項

感染症対策、守秘義務を遵守すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

担当教員は、豊富な作業療法の臨床経験を有している。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
地域臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年通年(前期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

内 容

1. 実習前(準備)、オリエンテーションを実施する。
実習施設の紹介、学生の配置、実習の進め方、日程や時間、課題、留意事項について説明を受ける。
2. 学生は、配置された施設で実習を行う。
 - 1) 訪問リハビリテーション施設では、学生は実習指導者が担当する対象者宅に同行訪問する。
訪問リハビリテーションにおける実習指導者の対象者および家族とのコミュニケーションと指導を観察・見学する。
指導者を通じて、生活行為の回復を目標とした作業療法介入について理解する。
訪問する前には、禁忌事項や個人情報の保護等に関する説明を受ける。
 - 2) 通所リハビリテーション施設では、実習指導者が担当する対象者を中心に観察・見学をする。
実習指導者の指導を受けながら他の利用者ともコミュニケーションを図る。
実習指導者の指導を受けながら、集団レクレーションをチームの一員として参加する。
指導者を通じて、通過施設としてのリハビリテーション施設での作業療法の役割を理解する。
3. 実習終了後、学内にて報告会を実施する。
 - 1) 到達目標に示した内容を網羅して報告書(パワーポイント)にまとめる。
 - 2) 制限時間内で発表できるように準備を行う。
 - 3) 発表後の質疑を行う。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
地域臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年通年(後期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

授 業 概 要

通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションにおいて作業療法士が実施する作業療法について見学を中心とした実習を行う。実習を通して、地域における作業療法の役割について学ぶ。

到 達 目 標

1. 対象者および指導者や関係職種とのコミュニケーションが行える。
2. 地域における社会資源（環境、制度、資源）の現状について報告することができる。
3. 地域リハビリテーションの作業療法の役割について報告することができる。

事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

実習施設について、ホームページ等で調べる。実習の報告書を作成する。
集合時間厳守、見学先からの注意事項を確認する。

対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく作業療法を実践する能力を有している。
- 価値のある作業をとらして、人々を健康にできる作業療法が実践できる。

評 価

実習課題レポート20%、実習行動30%、実習後セミナーでの発表・ディスカッション50%

教 科 書

大熊明/加藤朋子 編：標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 医学書院 2017

参 考 図 書

田仁史 著 地域リハビリテーション言論Ver.7
池田由里子他 著 REHABILITATION LIFE

留 意 事 項

感染症対策、守秘義務を遵守すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー 等

メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

実 務 経 験

担当教員は、豊富な作業療法の臨床経験を有している。

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
地域臨床実習	2023年度	作業療法学科	1単位	45時間	必修	2年通年(後期)
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
近藤 敏、中山 広宣、奈良 進弘、小西 紀一、山根 伸吾、谷川 良博、近藤 昭彦、江口 喜久雄、 角田 孝行、吉田 和弘、太田 研吾、永井 邦明					実習	

内 容

1. 実習前(準備)、オリエンテーションを実施する。
実習施設の紹介、学生の配置、実習の進め方、日程や時間、課題、留意事項について説明を受ける。
2. 学生は、配置された施設で実習を行う。
 - 1) 訪問リハビリテーション施設では、学生は実習指導者が担当する対象者宅に同行訪問する。
訪問リハビリテーションにおける実習指導者の対象者および家族とのコミュニケーションと指導を観察・見学する。
指導者を通じて、生活行為の回復を目標とした作業療法介入について理解する。
訪問する前には、禁忌事項や個人情報の保護等に関する説明を受ける。
 - 2) 通所リハビリテーション施設では、実習指導者が担当する対象者を中心に観察・見学をする。
実習指導者の指導を受けながら他の利用者ともコミュニケーションを図る。
実習指導者の指導を受けながら、集団レクレーションをチームの一員として参加する。
指導者を通じて、通所施設としてのリハビリテーション施設での作業療法の役割を理解する。
3. 実習終了後、学内にて報告会を実施する。
 - 1) 到達目標に示した内容を網羅して報告書(パワーポイント)にまとめる。
 - 2) 制限時間内で発表できるように準備を行う。
 - 3) 発表後の質疑を行う。